

2019年度 学事日程

春学期 4月1日～9月21日

(授業期間：4月6日～7月23日)

	月	火	水	木	金	土	日
4月	1	2	3	4	5	6	7
	入学式	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	補講日	
	8	9	10	11	12	13	14
	① ① ②	① ① ②	① ① ②	① ① ②	① ① ②	補講日	履修申告 4月10日13時～13日13時
	15	16	17	18	19	20	
	② ③ ④	② ③ ④	② ③ ④	② ③ ④	② ③ ④	補講日	
22	23	24	25	26	27	28	
③ ⑤ ⑥	③ ⑤ ⑥ 開校記念日	③ ⑤ ⑥	③ ⑤ ⑥	③ ⑤ ⑥	補講日		
5月	29	30	1	2	3	4	5
	昭和の日				憲法記念日	みどりの日	こどもの日
	6	7	8	9	10	11	12
	④ ⑦ ⑧ 振替休日	④ ⑦ ⑧	④ ⑦ ⑧	④ ⑦ ⑧	④ ⑦ ⑧	補講日	履修申告修正期間 5月7日・8日
	13	14	15	16	17	18	19
	⑤ ⑨ ⑩	⑤ ⑨ ⑩	⑤ ⑨ ⑩	⑤ ⑨ ⑩	⑤ ⑨ ⑩	補講日	履修取消期間 (通年科目、春学期科目、春学期前半科目) 5月15日10時～16日16時45分
20	21	22	23	24	25	26	
⑥ ⑪ ⑫	⑥ ⑪ ⑫	⑥ ⑪ ⑫	⑥ ⑪ ⑫	⑥ ⑪ ⑫	補講日		
6月	27	28	29	30	31	1	2
	⑦ ⑬ ⑭	⑦ ⑬ ⑭	⑦ ⑬ ⑭	⑦ ⑬ ⑭	⑦ ⑬ ⑭	補講/試験日 野球早慶戦	
	3	4	5	6	7	8	9
	補講/試験日	⑧ ① ②	⑧ ① ②	⑧ ① ②	⑧ ① ②	補講日	
	10	11	12	13	14	15	16
	⑧ ① ②	⑨ ③ ④	⑨ ③ ④	⑨ ③ ④	⑨ ③ ④	補講日	
17	18	19	20	21	22	23	
⑨ ③ ④	⑩ ⑤ ⑥	⑩ ⑤ ⑥	⑩ ⑤ ⑥	⑩ ⑤ ⑥	補講日		
24	25	26	27	28	29	30	
⑩ ⑤ ⑥	⑪ ⑦ ⑧	⑪ ⑦ ⑧	⑪ ⑦ ⑧	⑪ ⑦ ⑧	補講日	履修取消期間(春学期後半科目) 6月24日10時～25日16時45分	
7月	1	2	3	4	5	6	7
	⑪ ⑦ ⑧	⑫ ⑨ ⑩	⑫ ⑨ ⑩	⑫ ⑨ ⑩	⑫ ⑨ ⑩	七夕祭(予定)	
	8	9	10	11	12	13	14
	⑫ ⑨ ⑩	⑬ ⑪ ⑫	⑬ ⑪ ⑫	⑬ ⑪ ⑫	⑬ ⑪ ⑫	補講日	
	15	16	17	18	19	20	21
	⑬ ⑪ ⑫ 海の日	⑭ ⑬ ⑭	⑭ ⑬ ⑭	⑭ ⑬ ⑭	⑭ ⑬ ⑭	補講日	
22	23	24	25	26	27	28	
⑭ ⑬ ⑭	補講日	試験	試験	試験		春学期末試験 7月24日～31日	
8月	29	30	31	1	2	3	4
	試験	試験	試験 ピンングセレモニー				夏季休校 8月1日～9月20日
	5	6	7	8	9	10	11
							春学期末追加試験 8月6日・7日
	12	13	14	15	16	17	18
	振替休日						山の日
19	20	21	22	23	24	25	
9月	26	27	28	29	30	31	1
	2	3	4	5	6	7	8
				成績表送付			
	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	
敬老の日		ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	補講日		
23	24	25	26	27	28	29	
① ① ② 秋分の日	① ① ②	① ① ②	① ① ②	① ① ②	補講日	履修申告 9月26日13時～10月1日11時	
30							
② ③ ④							

看護医療学部

秋学期 9月22日～3月31日 (授業期間：9月23日～1月21日)

※○数字は2学期制科目の、●■数字は4学期制科目の各曜日の授業回数を表します。

月	火	水	木	金	土	日	
10月	1 ② ③ ④	2 ② ③ ④	3 ② ③ ④	4 ② ③ ④	5 補講日	6	
7 ③ ⑤ ⑥	8 ③ ⑤ ⑥	9 ③ ⑤ ⑥	10 ③ ⑤ ⑥	11 ③ ⑤ ⑥	12 補講日 秋祭(予定)	13 履修申告修正期間 10月10日・11日	
14 体育の日	15 ④ ⑦ ⑧	16 ④ ⑦ ⑧	17 ④ ⑦ ⑧	18 ④ ⑦ ⑧	19 補講日	20	
21 ④ ⑦ ⑧	22	23 ⑤ ⑨ ⑩	24 ⑤ ⑨ ⑩	25 ⑤ ⑨ ⑩	26 補講日	27 履修取消期間 (秋学期科目、秋学期前半科目) 10月24日10時～25日16時45分	
11月	28 ⑤ ⑨ ⑩	29 ⑤ ⑨ ⑩	30 ⑥ ⑪ ⑫	31 ⑥ ⑪ ⑫	1 ⑥ ⑪ ⑫	2 補講日 野球早慶戦	3 文化の日
4 ⑥ ⑪ ⑫ 振替休日	5 ⑥ ⑪ ⑫	6 ⑦ ⑬ ⑭	7 ⑦ ⑬ ⑭	8 ⑦ ⑬ ⑭	9 補講日	10	
11 ⑦ ⑬ ⑭	12 ⑦ ⑬ ⑭	13 補講/試験日	14 補講/試験日	15 ⑧ ① ②	16 補講日	17	
18 ⑧ ① ②	19 補講/ 試験	20 三田祭準備(20日午後～)	21 三田祭	22 三田祭	23 勤労感謝の日 三田祭	24 三田祭	
12月	25 三田祭片付	26 ⑧ ① ②	27 ⑧ ① ②	28 ⑧ ① ②	29 ⑨ ③ ④	30 補講日	1
2 ⑨ ③ ④	3 ⑨ ③ ④	4 ⑨ ③ ④	5 ⑨ ③ ④	6 ⑩ ⑤ ⑥	7 補講日	8	
9 ⑩ ⑤ ⑥	10 ⑩ ⑤ ⑥	11 ⑩ ⑤ ⑥	12 ⑩ ⑤ ⑥	13 ⑪ ⑦ ⑧	14 補講日	15 履修取消期間(秋学期後半科目) 12月12日10時～13日16時45分	
16 ⑪ ⑦ ⑧	17 ⑪ ⑦ ⑧	18 ⑪ ⑦ ⑧	19 ⑪ ⑦ ⑧	20 ⑫ ⑨ ⑩	21 補講日	22	
23 ⑫ ⑨ ⑩	24 ⑫ ⑨ ⑩	25 ⑫ ⑨ ⑩	26 ⑫ ⑨ ⑩	27 ⑬ ⑪ ⑫	28	29 冬季休校 12月28日～1月4日	
1月	30	31	1 元旦	2	3	4	5
6 ⑬ ⑪ ⑫	7 ⑬ ⑪ ⑫	8 ⑬ ⑪ ⑫	9 ⑬ ⑪ ⑫	10 福澤先生誕生日	11 補講日	12	
13 成人の日	14 ⑭ ⑬ ⑭	15 ⑭ ⑬ ⑭	16 ⑭ ⑬ ⑭	17 ⑭ ⑬ ⑭	18 補講日	19	
20 ⑭ ⑬ ⑭	21 補講日	22 試験	23 試験	24 試験	25	26 秋学期末試験 1月22日～29日	
2月	27 試験	28 試験	29 試験	30	31	1	2
3 秋学期末追加試験 2月4日・5日 ※信濃町科目については、 上記日程と異なる可能性があります。	4	5	6	7	8	9	
10	11 建国記念日	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	
3月	24 振替休日	25	26	27	28	29	1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10 卒業発表 成績表送付	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20 春分の日	21	22	
23 卒業式	24	25	26	27	28	29	
30	31						

慶應義塾の目的

慶應義塾は単に一所の学塾として
自ら甘んずるを得ず。其目的は我日本国中に
於ける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、
之を實際にしては居家、処世、立国の
本旨を明にして、之を口に言ふのみにあらず、
躬行実践以て全社会の先導者たらんことを
欲するものなり。

福澤諭吉

* 授業時間帯 *

【SFC】

1時限	9:25 ~ 10:55
2時限	11:10 ~ 12:40
3時限	13:00 ~ 14:30
4時限	14:45 ~ 16:15
5時限	16:30 ~ 18:00
6時限	18:10 ~ 19:40

【信濃町】

1時限	9:00 ~ 10:30
2時限	10:45 ~ 12:15
3時限	13:00 ~ 14:30
4時限	14:45 ~ 16:15
5時限	16:30 ~ 18:00
6時限	18:10 ~ 19:40

は し が き

本書『看護医療学部ガイド』は、看護医療学部学生諸君のための「学生生活」と「学習指導」のガイドブックとして編集されたものです。特に新入生諸君にとっては、一日も早くキャンパスライフに慣れ親しむための実用的案内書となることでしょう。

慶應義塾には、三田、日吉、矢上、信濃町、湘南藤沢、芝共立の6つのキャンパスがあります。看護医療学部の諸君は1・2年次は湘南藤沢キャンパス(SFC)、3年次は信濃町キャンパス、4年次はSFCおよび信濃町キャンパスで学生生活を過ごすこととなります。

大学において、諸君は一人前の大人として行動することが期待されています。本書を手引きとして、疑問のある場合、さらに詳細な事項を知りたい場合は、進んで事務室などの窓口をたずねたり、学習指導教員、アドバイザーをはじめ授業・プロジェクトの担当者など各教員に相談してください。そして、諸君が「独立自尊」の精神を涵養し、慶應義塾の学生としての自覚と誇りを持たれることを期待しています。

また新入生諸君には、本書のほかに入学にあたって配布される『入学後の行事と諸手続きについて』などいくつかの手引書がありますので、あわせて参考にさせていただきたいと思います。

最後になりましたが、諸君が本書を十分に活用し、有意義なキャンパスライフを過ごされるよう願っています。

自由な気風と多様な学び
 あなたの挑戦を応援しています
 看護医療学部の理念とそれに基づく人材育成
 塾生、保護者・保証人の方々にかかわる個人情報の取扱い

学部紹介

I. 教育と研究

1. 共通
 - (1) アドバイザリー制度 13
 - (2) オフィスアワー 13
 - (3) 学習指導教員・Student Life 委員 13
 - (4) 授業調査 13
2. SFC
 - (1) 校舎 14
 - (2) シャトルバスの運行 14
 - (3) キャンパスネットワークシステム (CNS) 14
 - (4) 看護医療学図書室 14
3. 信濃町
 - (1) 校舎 15
 - (2) キャンパスネットワーク 15
 - (3) 信濃町メディアセンター(北里記念医学図書館) 15
4. 重要な Web サイト 16

II. 健康と心身トレーニング

1. 共通
 - (1) 定期健康診断・実習前諸検査 17
 - (2) 感染症の予防 17
 - (3) 感染症の届出 17
 - (4) 急病・事故の際の連絡 17
 - (5) BLS 講習 18
2. SFC

心身ウェルネスセンター 18

 - (1) 学生相談部門 18
 - (2) 保健管理センター・湘南藤沢診療所 18
 - (3) 体育部門 18
3. 信濃町

重要：実習期間中の感染対策 19

 - (1) 保健管理センター (信濃町分室) 19
 - (2) ストレス・マネジメント室 20
 - (3) キャンパス内運動施設 20
- COLUMN 21

- (5) 通学証明書 25
- (6) 体育会定期 25
- (7) 学生証 26
- (8) IC カード 26
- (9) 実習用名札 26
- (10) 英字氏名 26
- (11) 住所変更/保証人変更/改姓改名 27
- (12) 学費等の納入 27
- (13) 授業料等延納申請 27
- (14) 学生団体組織届 27
- (15) 学生団体公認申請 27
- (16) 学外行事届 28
- (17) 海外活動届 28
- (18) 団体旅行申込書 (団体割引) 28
- (19) 証明書 28
- (20) 塾外諸施設 28
2. SFC
 - (1) 事務室 29
 - (2) 看護医療学部校舎の利用可能期間 29
 - (3) 教室利用申込 29
 - (4) キャンパス内の夜間残留 30
 - (5) 総合政策・環境情報学部ゾーンの特別教室 30
 - (6) 学生ラウンジの団体利用 30
 - (7) 車両入構 30
 - (8) 駐車場・駐輪場の利用 30
 - (9) イベントの実施、校内撮影などの手続 30
 - (10) 物品の貸出 31
3. 信濃町
 - (1) 学生課(学事担当、学生生活担当) 31
 - (2) 学生課(学事担当、学生生活担当)の窓口取扱い時間 31
 - (3) 施設利用 31
 - (4) 学生の入退室時間 31
 - (5) 自習室 31
 - (6) キャンパス内の夜間残留 31
 - (7) 自転車の駐輪 31

学生生活と課外活動

I. 奨学金制度 35

II. 学生健康保険 37

III. 課外活動 38

IV. 就職 40

事務手続

I. 事務手続

1. 共通
 - (1) 掲示板 25
 - (2) 掲示板の利用 25
 - (3) 落とし物 25
 - (4) 施設利用上の注意 25

履修案内

I. 授業について

- (1) 学事日程 43
- (2) 休校日 43
- (3) 時間割・シラバス 43
- (4) 実習科目の日程 43
- (5) 休講・補講 43
- (6) 緊急時における授業の取扱い 44
- (7) 全塾的行事における授業の取扱い 44
- (8) 欠席届 44
- (9) 裁判員候補者に選定された場合の取扱い 44

II. 履修について

1. 履修申告とは 45
2. 2019年度履修申告日程 45
3. 履修申告方法 45
4. 注意事項 45
5. 分野 46
6. 履修申告科目確認と履修申告修正期間 46
7. 履修取消期間 46
8. 学習相談 47
9. 他学部設置科目履修上の注意 47
10. 科目の再履修 48
11. 「体育2」、「体育3」 48
12. 他学部他研究科学生の履修を制限する科目 49

III. 試験・成績について

- (1) 定期試験 50
- (2) 追加試験 50
- (3) レポートの提出 50
- (4) 不正行為 51
- (5) 成績評価体系 51
- (6) GPA 51
- (7) 成績評価基準 51
- (8) 実習科目の出席日数 51
- (9) 学業成績表 52
- (10) 成績質問制度 52
- (11) 単位認定 52

IV. 休学・就学・退学・留学 53

V. 国際センター設置短期海外研修プログラム 55

12学則カリキュラム

I. カリキュラムの基本的な考え方 61

1. ディプロマポリシー 61
2. カリキュラムポリシー 62

II. カリキュラムの基本構成 63

III. 学習指導要項

1. 進級・卒業の条件 65
2. 必修科目の履修前提条件 66
3. 選択科目の履修 67
4. 保健師選択コース、助産師選択コース 67
5. 保健師選択コース 67
6. 助産師選択コース 68
7. 第2学年学士編入学生カリキュラム 69
(2013～2019年度入学者)

IV. 科目一覧 71

19学則カリキュラム

I. カリキュラムの基本的な考え方 79

1. ディプロマポリシー 79
2. カリキュラムポリシー 80

II. カリキュラムの基本構成 81

III. 学習指導要項

1. 進級・卒業の条件 83
2. 必修科目の履修前提条件 84
3. 選択科目の履修 85
4. 保健師選択コース、助産師選択コース 85
5. 保健師選択コース 85
6. 助産師選択コース 86
7. 第2学年学士編入学生カリキュラム 87
(2020年度以降入学者)

IV. 科目一覧 89

歌集 94

施設案内図 97



自由な気風と多様な学び

慶應義塾長 長谷山 彰

新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これからの慶應義塾の塾生としての生活が実り多いものであることをお祈りします。

慶應義塾は、1858（安政5）年に福澤諭吉によって創立された小さな私塾を出発点とし、民間有志の協力によって経営される義塾の伝統を守りながら、現在では、10学部、14研究科、そして研究所・研究センター、一貫教育校、病院を擁する大きな総合大学に発展しています。

創立以来、世の中の流行に惑わされず、主体的に物事の本質を考え、社会の進むべき方向を考える独立自尊の人材を社会のあらゆる分野に送り出してきました。

慶應義塾の教育目標は、広く浅く知識を習得することではなく、正課と課外、教養と専門のバランスのとれた教育によって、社会のさまざまな分野で活躍できる総合力を備えた人材を育成することです。

「学校は人にもものを教えるところにあらず。ただその天資の発達を妨げずして、よくこれを発育するための具なり」（福澤諭吉『文明教育論』）。変化の激しい時代の転換期には知識を習得するだけではなく、予想外の事態を乗り切る突破力を備えた人材が必要です。21世紀における独立自尊の人材とは、未知の課題に遭遇した時に問題の本質を見極める洞察力、解決法を発見できる創造力、さらに異文化を理解し、自国の歴史や伝統を正確に語り、違いを乗り越えるコミュニケーション能力と、民族や・宗教を超える普遍的な倫理観を備えた人材です。

このような能力を身につけるためには多様な学びが必要です。慶應義塾には、それぞれの学部が設置する専門教育科目、外国語科目などに加えて、学部を超えて履修が可能な総合教育科目や自由科目、研究所・センターが設置する講座、課外学習プログラムが用意されています。また、国際化の進展を見据えて、海外の協定校との交換留学プログラム、二つの大学から学位を取得できるダブルディグリー・プログラム、外国語による履修が可能なコースなどが多数設置されています。さらに、国内からも多様な人材が集まる開かれた大学をめざして、地方出身者を対象とする『学問のすゝめ奨学金』を創設し、宿舍の整備も進めています。

課外活動が盛んなことも慶應義塾の特色です。公認団体だけでも文化・芸術、スポーツなどさまざまな分野にわたる約 500 の団体があり、その中には共済部や学生健康保険委員会、慶早戦支援委員会など塾生自身が塾生の福利厚生を増進を目的として活動している福利厚生団体もあります。教室外での課外学習は先輩や卒業生との交流の中で社会的な経験を積み、新しい人間関係を作り上げる能力を養う上で大切な機会です。慶應義塾には「義塾社中」という伝統があります。在学生である「塾生」と卒業生である「塾員」、そして教職員が一体となって「義塾社中」を構成し、慶應義塾の社会的使命を達成すべく一致協力するという事です。今日の慶應義塾の伝統は長い年月にわたる社中一丸となった努力によって築かれてきたものであり、皆さんもその一員として在学中のみならず、これからの一生において、色々な局面で多くの塾員と巡り会い、「義塾社中」の伝統と有り難さを実感することになるでしょう。

「世の中にて最も大切なるものは人と人との交わり付き合いなり。これ即ち一つの学問なり」(福澤諭吉「豊前豊後道普請の説」)。他者を知ることは自己を知ることに通じます。課外活動の中で、さまざまな生い立ちや考えをもつ塾生が協力して目標を達成することで、大学生活がより豊かなものになります。

しかし、それと同時に皆さんには、孤独を恐れず、一人の時間を大切にしたいと思えます。学生時代は、人類の英知が生み出してきたさまざまな学問分野の真髄に触れ、難解な学理の解読に挑戦し、学問を通じて物事の本質について深く考えることのできる知力を養う貴重な時期です。自分の個性や適性を知り、社会と自分との関係、社会における自分の位置に気づくのも大学生時代です。皆さんがさらに成長を続けるためには、仲間と過ごす時間も大事ですが、思考に沈潜する孤独な時間も大切にしてください。

慶應義塾は、皆さんが慶應義塾の自由な雰囲気の中で、多様な学びを経験し、多様な個性をもって社会に飛び出してゆくことを期待しています。



あなたの挑戦を 応援しています

看護医療学部長 小松 浩子

慶應義塾における看護教育の歴史は長く、2018年に「慶應看護100年」を迎え、新たな100年のスタートが切られました。慶應看護の源は、1918年（大正7年）、初代医学部長である北里柴三郎博士が「医療における看護師の役割」を高く評価した卓見に基づき看護婦養成所を設置したことに始まります。その後、厚生女子学院、看護短期大学へと、福澤諭吉の建学の精神である「独立自尊」と「実学」を重んじる看護教育が連綿と継承され、2001年4月の看護医療学部の誕生につながりました。看護医療学部は、まさに21世紀のはじまりとともに、これからの変動の大きな時代において幅広い視野を持った看護医療の先導的役割を果たす人材を育成することを目的として開設されました。「慶應看護100年」を迎え、これまでの慶應看護の礎の上に、これからの100年を視野に入れ、健やかな社会の形成に尽力できる人材の輩出をめざします。

わが国は、「少子高齢多死化」という類例のない社会変動を迎えています。急性期疾患に対する〈治す医療（cure）〉のみならず、慢性疾患や生活習慣病など治すことが難しい病に対し、〈暮らしや生き方を支え・促すケア（care）〉の開発が急務となっています。誰しもが健やかで安全・安心を保証された未来を描けるよう、新たな英知と技術の結集・融合・創生が求められています。看護学は実践科学としてそのあり方を探究しようとするものです。そのために、人間尊重の精神と豊かな人間性、深い知性と倫理観に基づく判断力と実践力を備えることが必要です。また、他の学問分野と相互交流して実学としての看護医療の発展に寄与できるよう、生涯にわたって研鑽を続けることも求められています。そして、変動する未来社会を見据え、起こりうる問題を予測し世界レベルでの健やかさをめざすには、グローバルな視点から変革を起こす力が必須となっています。

看護医療学部では、このような人間性と能力をもった人材を育成することをめざしています。多様な文化への造詣、人とのつながり、新たな体験やチャレンジを通して、自分を見つめ、自身の可能性を見出し、その可能性を引き出すための学びの意義を見出して下さい。看護医療の学び舎は、個々人の個性を大切にし、自らの関心や主体性を尊重することをめざしています。自分を大切にすることは、他の個性も思いやり尊重することでもあります。つまり、社会の中で責任ある行動を自らとれるようになることも含まれます。また、自分とは異なる状況にある人を理解しようとし、その人の痛みや苦しみに寄り添い、支えるというケアの難しさと魅力についても見出してほしいと思います。

慶應義塾においてさまざまな学問分野の学びや交流を深め、自分を豊かに磨いてください。

あなたの挑戦を応援しています。

看護医療学部の理念とそれに基づく人材養成

慶應義塾の建学精神にある「躬行実践を以って全社会の先導者たらん」とする理念に基づき、看護医療における実践をもって先導できる能力を備えた人材を育成することを目的としている。社会からのニーズに対応し教育カリキュラム改正を進め、現在は次のような教育目標を定めている。すなわち、「生命・人間尊重の精神の涵養と看護の判断能力、問題解決能力、実践力の養成」、「看護活動の創造と保健・医療・福祉の発展、および、看護学の体系化を図り、他の学問分野と相互交流して実学としての看護の発展に寄与する人材の育成」を教育目標としている。

そのような理念に基づく人材養成にあっては、以下のような資質を涵養することを目標とする。

1. 基本倫理としての生命・人間尊重の精神を身につけ、人間的に調和の取れた人格を備え、社会人として成長しうる素地を培う。
2. 看護の判断能力、問題解決能力、実践力を身につける。
3. 看護の知識・技術を駆使して新しい看護活動の場を創造し、保健・医療・福祉の発展に寄与する基礎能力を養う。
4. 看護学の実践・研究を通して看護学の体系化を図り、さらに他の学問分野と相互交流して実学としての看護の発展に寄与する人材を育成する。

塾生、保護者・保証人の方々にかかわる個人情報の取扱い

- 1 義塾の学生・生徒・児童等の主な個人情報は、次のとおりです。
 - ① 塾生本人の氏名・住所・電話番号・生年月日・出身校等
 - ② 保護者・保証人の氏名・住所・電話番号（自宅および緊急連絡先）・本人との続柄等
 - ③ 塾生等の学籍・成績・健康診断・在学中のその他の活動履歴情報、寄付金・慶應カードの申し込みデータなど

- 2 個人情報を取り扱うに当たっては、あらかじめ利用目的を特定し、明示いたします。特定した利用目的以外には利用しません。また、利用目的を変更する場合は、本人に通知するか、義塾のホームページへの掲載、所定掲示板への掲示等により公表いたします。

- 3 個人情報は、以下の諸業務遂行のために利用します。
 - ① 入学手続および学事に関する管理、連絡および手続
 - ② 学生生活全般に関する管理、連絡および手続
 - ③ 大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続
 - ④ 寄付金、維持会・慶應カードの募集等に関する書類発送およびその他の連絡
 - ⑤ 本人および保護者・保証人に送付する各種書類の発送
 - ⑥ 卒業後の刊行物の発送、評議員選挙および寄付金・維持会・慶應カードの募集等に関する各種書類送付とこれらに付随する事項

- 4 上記3の業務のうち、一部の業務を慶應義塾から当該業務の委託を受けた受託業者において行います。業務委託に当たり、受託業者に対して委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、個人情報を提供することがあります。

- 5 三田会または同窓会から要請があったときは、当該三田会または同窓会に所属する者の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲で提供することがあります。

- 6 慶應義塾は、上記3～5の利用目的の他には、特にお断りする場合を除いて個人情報を利用もしくは第三者への提供をいたしません。ただし、法律上開示すべき義務を負う場合や、塾生本人または第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供することがあります。

- 7 慶應義塾の個人情報保護の取扱いについては、URL (<https://www.keio.ac.jp/ja/privacy-policy/>) でご覧頂くことができます。

学部紹介

I. 教育と研究

1. 共通

(1) アドバイザー制度

看護医療学部には「アドバイザー」と呼ばれる担当者がいます。担当の教員は、1・2年次をとおしてみなさんのアドバイザーとして、学習上の助言にとどまらず、個人的な問題・悩みなどについても相談にのってくれます。積極的にこの制度を活用するようにしてください。

2019年度のアドバイザーは以下のとおりです。

	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	2編生
1年生	福井 里佳	宮川 祥子	深堀 浩樹	金子 仁子	
2年生	小池 智子	藤井千枝子	永田 智子	石川 志麻	

(2) オフィスアワー

教員は、原則として週に一度「オフィスアワー」という学生のための時間帯を設けています。この時間には、教員は研究室で学生の質問や個人的な指導、相談にあたることになっていますので、アドバイザーの教員のみならず、授業を受けている教員、あるいは受けていない教員でも気軽に訪れて、個人的な指導を受けたり、相談をもちかけたりすることができます。オフィスアワーは以下のWebサイトから確認できます。

教員プロフィール（「SFC」→「教員検索」）

http://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty_profile/

(3) 学習指導教員・ Student Life 委員

授業の履修や進級などの学習面での相談・指導は「学習指導教員」が担当し、学生生活、課外活動などは「Student Life 委員」が担当します。質問や相談などがある場合には、事前に連絡を取ってから各担当教員を訪ねてください。

各担当教員は、掲示で確認してください。

(4) 授業調査

看護医療学部では、授業について学生諸君の意見を求めるための調査を、学期末に実施しています。

この調査は、授業に関わる諸問題を履修者・教員・スタッフの3者が一緒に考え、意見を出し、より優れた教育環境の構築や講義内容の充実を目指すことを目的としています。

履修者は全員回答必須となっていますので、ご協力をお願いします。

2. SFC

<p>(1) 校舎</p>	<p>湘南藤沢キャンパス (SFC) は、総合政策学部・環境情報学部ゾーン (大学院政策・メディア研究科、湘南藤沢中高等部を含む) と、公道を隔てて隣合う看護医療学部ゾーン (大学院健康マネジメント研究科を含む) のふたつのゾーンから構成されています。総合政策学部・環境情報学部ゾーンの概要については、別ページの地図および建物平面図を参照してください。</p> <p>看護医療学部ゾーンの校舎は、以下のような割振りになっています。</p> <p>1 F 事務室、ロッカー室、実習室、学生ラウンジ (食堂、売店含む)</p> <p>2 F 教室、情報処理室、図書室</p> <p>3 F 教員研究室、会議室、教室</p> <p>また、1 F の渡り廊下を介して、別棟の在宅看護実習棟があります。</p>
<p>(2) シャトルバスの運行</p>	<p>総合政策・環境情報学部ゾーンと看護医療学部ゾーンを結ぶシャトルバス (鴨池急行 Sokankan) が運行しています (無料)。バス停については、巻末のキャンパスマップを参照してください。休校期間中は運休となります。時刻表は事務室入口を確認してください。</p>
<p>(3) キャンパスネットワークシステム (CNS)</p>	<p>SFC では、1,000 台を越えるコンピュータがキャンパス LAN に接続され、研究・教育の場で利用されています。これらが形づくるネットワークシステムは、キャンパスネットワークシステム (CNS) と呼ばれ、SFC の生活になくしてはならないものとなっています。皆さんは、この CNS に自分専用のファイル空間 (情報の格納場所) を所有し、教室などに設置されたパソコンを使って、様々な活動を行うことができます。電子メールで友人や先生と情報交換したり、インターネット上の Web ページを閲覧したり、写真・動画・音像を組み込んだ魅力的な Web ページを自分で作成して情報発信することもできます。CNS 上で提供されているさまざまな商用データベースやアプリケーションソフトは、学習を進めていく上での強い味方となります。</p> <p>また、教室、研究室、メディアセンターでは情報コンセントや無線 LAN を通じて自分のノート PC を接続して CNS を利用することができます。さらに自宅から CNS に接続する機能も提供されています。</p> <p>この CNS を管理運用している「湘南藤沢インフォメーションテクノロジーセンター (ITC)」はトラブル時の相談窓口も用意しています。また、CNS の使い方に関しては、ITC の Web サイト (http://www.sfc.itc.keio.ac.jp/) で情報提供しています。</p>
<p>(4) 看護医療学図書室</p>	<p>看護医療学図書室では、主に看護や医療、健康科学をテーマとした図書や雑誌、視聴覚資料を所蔵しています。また塾内メディアセンターで契約している多種多様なデータベースや電子ジャーナル、電子ブックも利用できます。図書室内には、授業やシラバスで紹介された図書や、レポートや論文の作成に役立つ図書のコーナーもありますので、ぜひご利用ください。資料の探し方やデータベースの使い方などは、インフォメーションデスクまでお気軽にご相談ください。また、図書室にない資料については、塾内外からの取り寄せや購入希望を受け付けています。</p> <p>そのほか、図書室内には、映像資料の視聴や編集ができる機器もあり、ビデオカメラやデジタルカメラの貸出サービスも行っています。</p> <p>※詳しいサービスについては、以下の Web サイトを参照してください。</p> <p>http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/nmc/</p> <p><開室時間></p> <p>授業期間 平日 9:15 ~ 21:00 土曜 10:15 ~ 16:00</p> <p>休校期間 平日 9:15 ~ 18:00 土曜 休室</p> <p>休室日 日曜日、祝日、福澤先生誕生記念日 (1月10日)、開校記念日 (4月23日)</p> <p>※授業日となる場合は開室します</p> <p>夏季一斉休業期間、年末年始</p> <p>※最新の開室日程は Web サイトでご確認ください。</p>

3. 信濃町

<p>(1) 校舎</p>	<p>信濃町キャンパスの概要については、巻末の施設案内図および孝養舎平面図を参照してください。</p> <p>なお、看護医療学部生諸君が主に学ぶことになる孝養舎は以下のような割り振りとなっています。</p> <p>地下 ロッカー室（医学部学生と共用）</p> <p>1階 教員研究室、学生課、掲示板</p> <p>2階 教室（202）、マルチメディアカンファレンスルーム、学生ホール、自習室</p> <p>3階 教員研究室、教室（301、302、実習室）</p> <p>4階 教室（401、PC教室（403・404）、405）</p> <p>5階 体育室</p>
<p>(2) キャンパスネットワーク</p>	<p>信濃町キャンパスでは、他キャンパスと同様にキャンパスの特色に合わせたネットワークシステムが構築され、キャンパス間ネットワークを通して他キャンパスと結ばれています。このキャンパスネットワークの管理・運用を行っているのが信濃町ITC(Information Technology Center)です。信濃町ITCではこの他に利用者向けのシステムの設置やサービスの提供を以下のとおりに行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITCシステム…Microsoft Windows を搭載したPCでソフトウェアの利用やWebページの閲覧、リモートアクセスによるUNIX系OSの利用など ・認証付情報コンセント/認証付無線LANサービスの提供 ・ノートPCの貸出し など <p>※信濃町ITCのシステムは、三田ITC・日吉ITC・理工学ITC・芝共立ITC共通のITCシステムのアカウントで利用できます。SFC-CNSとは異なりますのでシステム利用の際には予め最寄りのITCの受付で利用手続きを行ってください。湘南藤沢ITCでも手続きは可能です。</p> <p>信濃町ITCは北別館1階にサービスカウンターがあり、受付時間は平日の9:00～16:30となっています。また、信濃町メディアセンター1階カウンター並びに信濃町ITCヘルプデスクがありますので、困ったときにはお気軽にご相談ください。</p> <p>信濃町ITCならびに信濃町キャンパスネットワークに関する詳しい情報はWebサイト http://www.sc.itc.keio.ac.jp/ を参照してください。</p>
<p>(3) 信濃町メディアセンター (北里記念医学図書館)</p>	<p>医学、看護学、関連分野の図書約133,000冊、雑誌（冊子）約1,000タイトル、視聴覚資料約1,900タイトルを所蔵し、電子ジャーナル15,000誌以上を購読しています。図書・雑誌とも貸出可能です。看護医療学図書室や他のメディアセンターとの間で資料の相互取寄せもできます。</p> <p>データベースや電子ジャーナル、電子ブックは、看護医療学図書室と同様に利用できます。一部を除き、共通認証システム（keio.jp）を使ってキャンパス外からアクセスすることも可能です。</p> <p>データベースの検索方法については医中誌Web、PubMedを中心に電子リソース活用講座/ミニ講座で説明しています。そのほか資料の探し方などでわからないことがありましたらレファレンスカウンターに（平日8:45～17:00）お気軽にご相談ください。</p> <p>〈開館時間〉 平日 8:45～21:00 土曜日 8:45～18:00 日曜日 13:00～18:00 ※8月中の平日は8:45～20:00</p> <p>〈休館日〉 国民の祝日 開校記念日（4月23日）/ 福澤先生誕生日（1月10日） 年末年始（12月30日から1月4日まで） 夏季休業中の一週間</p> <p>※看護医療学図書室と貸出規則など一部異なる部分もあります。 詳しいサービスや臨時休館、開館時間についてはWebサイトを参照してください。 http://www.med.lib.keio.ac.jp/</p>

4. 重要な Web サイト

慶應義塾大学「塾生の皆様へ」Web サイト (塾生 HP)	
URL	http://www.gakuji.keio.ac.jp/
主な提供サービス	◆定期試験時間割、学事日程等大学全体の情報

看護医療学部在学生向けページ	
URL	http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/nmc/
主な提供サービス	◆履修案内、講義要綱、時間割 ◆奨学金、国家試験、就職・進路支援

SFC-SFS	
URL	https://vu.sfc.keio.ac.jp/sfc-sfs/
ID/Password	CNS アカウント / パスワード 再発行窓口：看護医療学図書室の ITC 窓口
主な提供サービス	◆学事 Web システム / 教育支援システムへのリンク ◆学業成績表閲覧 (慶應 ID / パスワードも必要) ◆keio.jp アクティベーション ◆MY 時間割登録・選抜エントリー・シラバス検索 (総合政策・環境情報学部設置科目履修用) ◆緊急連絡先登録

学事 Web システム/教育支援システム		
URL	SFC-SFS にアクセス・ログインすると、学事 Web システムおよび教育支援システムへアクセスできます。	
ID/Password		
主な提供サービス	学事 Web システム	◆履修申告 ◆履修取消申告 ◆登録済科目確認 ◆本人現住所変更
	教育支援システム	◆学生時間割 ◆講義要綱・シラバス・時間割の検索 ◆履修中科目の試験時間割
	共通	◆休講・補講情報 ◆学生証暗証番号 4 桁、事務室からのお知らせの表示 (ログインすると画面の上に表示されます)

慶應義塾共通認証システム (keio.jp)	
URL	http://keio.jp/
ID/Password	慶應 ID / パスワード 再発行窓口：湘南藤沢 ITC
主な提供サービス	◆授業支援 ◆Google Apps for Education (メール、カレンダー、ドライブ等) ◆KOSMOS My Library (図書利用状況の照会) ◆就職・進路支援システム

Ⅱ. 健康と心身トレーニング

1. 共通

(1) 定期健康診断・ 実習前諸検査	<p>定期健康診断は学校保健安全法に基づいて全学年を対象に年1回実施しています。毎年必ず受診してください。未受診の場合には、体育実技の履修および健康診断証明書、学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）の発行はできません。また、実習ができなくなる場合もありますので、注意してください。</p> <p>なお、看護医療学部学生には入学時に血液検査など独自の項目についても実施します。これらは実習科目の履修の前提条件となります。</p>
(2) 感染症の予防	<p>2012年秋から成人を中心に風疹（三日はしか）が流行し、2013年には近年最多の患者数が報告されています。また2007年には高校生や大学生を中心に麻疹（はしか）が流行し、多くの学校が休講措置をとる事態となりました。</p> <p>大学内における風疹や麻疹の集団感染を予防するために、麻疹・風疹混合ワクチン（MR ワクチン）予防接種を今までに2回実施していない方は追加接種を受けることをお勧めします。また、水痘（みずぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）などの感染症予防についても医療機関でご相談ください。</p> <p>なお、介護施設、病院での臨床実習、教育実習などの際、ワクチン未接種でかつ罹患したことのない方については、実習ができなくなる場合がありますので、各自早めに確認のうえ、ご対応ください。</p>
(3) 感染症の届出	<p>学校保健安全法では、風疹、麻疹等の学校感染症と診断された場合、出席停止（登校禁止）とされています。診断後は学校に登校せず、罹患したことを保健管理センターに連絡してください。なお、学校感染症と診断された場合は、保健管理センター Web サイト（http://www.hcc.keio.ac.jp/）から罹患の届出が可能です。</p> <p>また、学校感染症で出席停止後の登校時には登校許可証明書の提出が必要です。保健管理センター Web サイトにある「感染症登校許可証明書」をプリントアウトして医療機関で記載してもらい、登校初日に保健管理センターへ提出してください。</p> <p>なお、インフルエンザに関しては、2014年10月より「感染症登校許可証明書」に必要事項をご自身で記入し、罹患日を示す書類等（処方の説明書や薬袋等）を保健管理センターに持参いただければ、従来必要であった治療した医師による治癒証明書の提出は不要になりました（信濃町キャンパス在籍中を除く）。インフルエンザ以外の感染症に罹患した場合（信濃町キャンパス在籍中はインフルエンザを含む）は、現行どおり登校に際して治療した医師が記載した「感染症登校許可証明書」を持参してください。</p> <p><参考：主な学校感染症の出席停止期間について></p> <ul style="list-style-type: none"> 麻疹（はしか）：解熱後3日を経過するまで 風疹（三日はしか）：発疹が消失するまで 水痘（みずぼうそう）：全ての発疹が痂皮化するまで 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）：耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで インフルエンザ：発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで <p>学内集団感染予防のため、ご協力ください。</p>
(4) 急病・事故の際の連絡	<p>事故が起こった場合、平日 9:00～17:30 は事務室看護医療学部担当 (0466-49-6200) へ、受付時間外および休日は看護医療学部警備室 (0466-49-6201) へ連絡してください。家族への連絡、医療機関・救急車の手配など必要な措置がとられます。</p>

(5) BLS 講習	<p>保健管理センター（心身ウェルネスセンター内）では、45分程度の実習ができるBLS講習を行っています。受講をご希望の方は、保健管理センター Web サイトで日程をご確認のうえ、保健管理センターまでご予約ください。サークル、研究室単位などの団体申し込みについてもお気軽にご相談ください。</p>
------------	--

2. SFC

心身ウェルネスセンター	<p>心身ウェルネスセンターは、総合政策・環境情報学部ゾーンの本館（A館）2階にあります。 「ただ生きることでなく、より良く生きる。知識や技術の習得だけで終わりたくない。これらを駆使する自己を十分に発揮できるようになりたい。」本センターはこの目標の実現を願っています。</p>
(1) 学生相談部門 ① 学生相談	<p>学生生活の中でのどんな問題についても気軽に相談においでください。キャンパスライフについてはもちろん、個人的なこと、心の悩みについてもどうぞ。専門のカウンセラーが相談に応じます。英語での相談も可能です。もちろん相談の秘密は厳守されます（相談は予約制です）。</p> <p>相談受付時間：月～金曜日 9：00～12：00・13：00～16：00 ※曜日によって異なります</p> <p>相談受付：A館2階 心身ウェルネスセンター受付 0466-49-3411 メールアドレス gakuseisoudan@sfc.keio.ac.jp</p> <p>担当者：平野学・松本智子・貞安元・小野田直子・加藤佑昌 北村麻紀子・志村優子・黒川隆徳・佐藤綾子・山田一子</p>
② 臨床心理学の集い	<p>各学期に1～2回、臨床心理学関係のさまざまなトピックをとりあげ、勉強会を行っています。誰でも参加できます。詳しくは随時予定をお知らせします。</p>
(2) 保健管理センター・ 湘南藤沢診療所	<p>保健管理センター（心身ウェルネスセンター内）では、学生・教職員の健康管理、保健教育、環境衛生などを行っています。健康相談や応急処置も無料で受けられます。また保健管理センターには湘南藤沢診療所を併設しており、医師による診療が受けられます。診療所を利用した際の費用は、学生健康保険互助組合との契約に従って、診療費の半額を負担していただくことになっています。</p> <p>保健管理センター受付時間 月～金 9：00～17：30 湘南藤沢診療所診療時間 月～金 9：15～12：00・13：00～16：15 ※医師の診察日については保健管理センター Web サイトを確認してください。</p>
(3) 体育部門 ① フィジカル・フィットネス・プログラム	<p>有意義なキャンパスライフをエンジョイするためには、偏りのない心身の調和がとれた「ウェル」な状態であることが大切です。体育教員に相談の上、個人の体力・ライフスタイルに合った無理のないフィジカル・フィットネス・プログラムの作成や、実施方法等についてアドバイスします。その他、スポーツに関する諸問題（競技力の向上や食事法など）がありましたら、気軽に相談に訪れてください。</p>
② キャンパス内スポーツ施設	<p>体育施設（総合政策・環境情報学部ゾーン）の利用は、授業時間以外は所定の手続きを取ったうえで使用してください。</p> <p>体育館1階には、ウェイトトレーニング（マシン、フリーウェイト、心肺機器）を主体とするトレーニングジム、柔道場、剣道場などの設備が整っています。2階はアリーナ（バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球ほか）とフィットネスルーム（ダンス）になっています。その他、シャワー室、更衣室が備わっていますので、仲間と集い合い、気持ちのいい汗をかいてください。</p> <p>また、屋外の多目的グラウンドでは、サッカー、ラグビー、ソフトボールをはじめ、ニュースポーツと言われるアルティメットやタッチフットボール等が実施可能</p>

となっています。テニスコートも7面あり、サークルの学生だけでなく個人的に利用する学生や教職員にも広く利用されています。

利用手続きは総合政策・環境情報学部ゾーンのSFC学生生活担当窓口に所定の申込書を提出のうえ、許可を得てください。利用目的によっては許可できない場合もあり個人利用ができない施設もありますのでご注意ください。また、トレーニング方法については体育教員に気軽に相談してください。

体育担当教員（専任）：村林裕・加藤貴昭・牛山潤一

東海林祐子・永野智久・水鳥寿思

3. 信濃町

重要：実習期間中の感染対策

信濃町キャンパスは感染対策を厳重に行っています。1回/年の胸部X線検査を必ず受けること、および麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘の免疫がない方は1年秋学期の大学病院実習前にワクチン接種を受けておくことをキャンパスの方針で強く推奨しています。対応していない場合は、実習に支障がでることがあります。

また、発熱、咳嗽、喀痰、発疹、目の充血や掻痒感、下痢や嘔吐などの感染症が疑われる症状がある場合は、担当教員に相談の上、速やかに近隣の医療機関を受診し、登校・実習が可能かどうかの判断を受けてください。インフルエンザ、感染性腸炎、流行性角結膜炎、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘などの感染症と診断（疑い含む）された場合、担当教員、保健管理センターに連絡してください。治癒後、登校する際には保健管理センターで登校許可を受ける必要があります。担当医から「感染症登校許可証明書」を記入してもらるか、登校許可日の記載された診断書を登校許可面接の際にお持ちください。面接後、書類は学生課に提出してください。

感染症登校許可証明書は、保健管理センター HP から印刷できます。

<http://www.hcc.keio.ac.jp/japanese/information/infection/shinano-gk.pdf>

(1) 保健管理センター 信濃町分室 (学部3年生および大学 病院実習中の1・2・4 年生のみ利用できます)

大学病院中央棟地下1階にあり、軽い病気の診療やけがの応急処置、健康相談などを行っています。SFCで実施途中の結核接触者健康診断は、信濃町分室で継続して受けられますのでご相談ください。各種案内は、保健管理センター掲示板やHP、学生課掲示板をご覧ください。

なお、大学病院実習中の1・2・4年生は、①・③・④のみ利用が可能です。

①診療（内科・精神神経科（予約制）・紹介状・診断書の発行（有料）

内科は月曜8:45～11:15、火曜～金曜13:00～16:00（慶應病院の外来休診日を除く）の診療時間内に、大学病院診察券（作成したことがある方のみ）、健康保険証、学生証および医療証を持参のうえ、受診してください。必要に応じて慶應病院の外来を紹介する場合があります。

精神神経科は予約制ですので、ご希望の場合は事前に保健管理センターへご相談ください。

②インフルエンザワクチン接種（有料）※学部3年生のみ

毎年11月頃に実施している教職員、学生対象のワクチン接種を利用できます。院内感染対策のため、大学病院の方針で接種を強く推奨しています。なお、指定期間外の受付はできません。

③血液曝露対応（月～土8:30～17:00 第一・第三土曜、祝日を除く）

④応急処置（平日8:30～17:00）

応急処置のみ、他学年も利用できます。

<p>(2) ストレス・マネジメント室 (学部3年生のみ利用できます)</p>	<p>皆さんが慶應義塾大学内での学生生活を送っていく中で出会う様々な問題について、カウンセラーと一緒に話し合っていきます。 一人で思い悩まずに、困ったときは気軽にいらしてください。相談内容については、固く秘密を守りますのでご安心ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用対象者：学部3年生 ・相談日：毎週 火・木曜日 11:00～18:00 ・予約受付時間：毎週 火・木曜日 11:00～18:00 ・電話番号：03-5363-3214 ・内線：64328 ・場所：総合医科学研究センター4階 4N7
<p>(3) キャンパス内運動施設</p>	<p>信濃町キャンパス孝養舎5階の体育室の使用については、学生課学事担当にお問い合わせください。</p>

< COLUMN >

人として、学生として、地域の1人として

1. 飲酒強要とイッキ飲み =自分と友人を守るために=

近年、本塾の学生が、所属していた学生団体の懇親会における多量の飲酒が原因で亡くなるという悲痛な事故が起きています。この団体では、集団で盛り上げながらイッキ飲みを煽る、いわゆる「コール」を繰り返しながら多量に飲酒するという激しい飲み方が常態化していました。この事故により当該団体は解散処分となりました。しかし、失われた命は戻ってはきません。

この事故以外にも、昨今は飲酒にかかわる事故が多発しています。大学生活においては、サークルやゼミの懇親会に参加する機会が少なくないと思いますが、飲酒事故が多発する中、大学生の飲酒に対する社会の目は大変厳しくなっています。**誤った飲酒により、これまで築いてきた人生が失われることを認識し、飲酒に対する見識をしっかりと身につけてください。**

もとより、未成年での飲酒は違法行為です。決してしてはならないし、他人にもさせてはなりません。飲酒を勧められることがあっても断りましょう。断っても相手に失礼にはなりません。むしろ、断る勇気をもってください。未成年者の飲酒が発覚した場合、飲んだ本人のみならず、その会合を企画した幹事および団体の責任が問われます。「未成年であることを知らなかった」という言い訳は通用しません。

飲酒は、その量とスピードによって**急性アルコール中毒**を引き起こします。

「コール」によるイッキ飲みなど、遊び感覚の飲酒が大変危険な行為であることをじゅうぶんに認識し、決して行わないようにしてください。症状は、**ほろ酔い⇒酩酊⇒泥酔⇒昏睡⇒致死**と進行していきます。

近年起こった大学生がかかわる深刻な飲酒事故の多くは、「サークルの伝統」のうちに行われた飲酒が原因となっています。酔いつぶすことを前提に、嘔吐するための袋やバケツ、また「つぶれ部屋」を用意して飲み会を開催することなどが実例として挙げられますが、これらは**意図的な傷害行為**です。また、明示的な飲酒の強要はもちろんのこと、そのような習慣が黙認される状況や、断りづらい雰囲気の中で飲酒をすすめることは、事実上の「飲酒の強要」であり、アルコール・ハラスメントです。このような飲酒行為は断じて許されることではなく、発覚した場合、慶應義塾大学は厳格な姿勢で臨みます。

不幸にして飲酒事故がおこってしまった場合は、**決して隠蔽してはなりません。**最悪の事態を招かないように節度ある飲酒を心がけるのはもちろん、それでも事故が起きた場合にはすみやかに病院に連れて行く、あるいは救急車を要請するなど、しかるべき対応をとってください。塾生にあるまじき隠蔽行為が発覚した際には、大学はその悪意に対して厳しく追求し、場合によっては処分を検討します。

2. 薬物について =恐ろしさを知って！=

麻薬や覚せい剤などの薬物が、薬本来の目的から離れて不正に用いられることを**薬物乱用**といいます。大麻、MDMA、LSD、有機溶剤そして一部の医薬品も乱用される薬物として指摘されています。特に、近年大麻所持による検挙者は増加しており、10～20歳代の若者の増加が顕著です。過去には、一部の塾生が大麻所持容疑で逮捕され、有罪判決を受けたこともあります。「大麻は害がない」といった情報が氾濫しているようですが、現在乱用が増えている種子から栽培されたものは、以前の大麻に比べて主成分（テトラヒドロカンナビノール）を6～30倍も多く含有し、依存性があり、その乱用によって薬物精神病をきたします。

依存性は薬物の恐ろしい特徴で、使用を繰り返すとだんだんそれまでの量では効かなくなってきました。この性質を耐性といいます。軽い気持ちで薬物に手を出しても、強い依存性と耐性のために、常用することから抜け出すことが困難になってしまうのです。その結果、心身ともにボロボロになって、人生そのものを台無しにしてしまいます。薬物乱用の恐ろしさをじゅうぶんに認識し、絶対に使用しないという強い意思を持つことが重要です。

3. 喫煙マナーを守る =迷惑は吐き出さない、捨てない=

喫煙は、喫煙者自身だけではなく、タバコを吸わない周囲の人たちの健康にも少なからず悪い影響を与えてしまいます。指定された場所以外での喫煙は、厳に慎んでください。もとより、**未成年者の喫煙は法律で固く禁止されています。**

タバコの問題点に、**習慣化すると簡単にやめられなくなる**ことが挙げられます。軽い気持ちで始めても、精神的・肉体的にニコチンに支配されていってしまうのです。

社会においては、喫煙、受動喫煙等に関する規制が厳格化され、地方自治体ごとに受動喫煙防止条例が施行され、様々な対策が講じられるようになりました。また、罰則もあります。**指定場所以外での喫煙や吸殻のポイ捨ては、神奈川県を受動喫煙条例でも禁止されています。**

4. 通学の足として =バスはSFC生だけものではありません=

通学にバスを利用する人は多いと思います。しかし、**塾生の乗車マナー**に関する一般の方々からの苦情があとを絶ちません。車内において大声で騒いでいたとか派手に飲食をしていたとかいったものです。もとよりバスに乗車しているのは、塾生だけではありません。慶應義塾大学の学生としての品位を肝に銘じ、周りの人にもじゅうぶん配慮し、節度をもって乗車してください。

同じようなことは、中・高等部の生徒についても言えるかもしれませんが、大学生である皆さんは、その**手本となるべきマナー**をもってバスに乗車し、目に余る行為があった場合には、進んで注意をすくらしいの気持ちでいてほしいと思います。

5. 盗難の防止 =自らの注意を怠りなく=

昨今、残念なことに**様々な場所で盗難が多発**しています。学生イベントにおいても発生してしまいましたし、一方でお財布等の落とし物はよく学事の窓口に届きます。また、PCの盗難も大変目立っています。自分の持ち物、特に貴重品の管理には、各自じゅうぶんに気を配るようにしてください。特に教室やメディアセンターおよび生協食堂などにおいて、**貴重品や荷物を置いたまま席を立つことは、盗難を誘発する行為であることを認識してください。**

盗難は、貴重品だけのことではありません。例えば、最近では駐輪場に止めておいた自転車が被害にあってしまうといった事例も多発しています。常日頃から自分の所有物の管理については、自らの責任において怠らないようにお願いします。

事務手続

I. 事務手続

看護医療学部のみなさんの事務手続は、原則として SFC 看護医療学部事務室で行います。ただし、3 年生は信濃町学生課で行います。以下に詳しく説明します。

1. 共通

(1) 掲示板	大学から学生のみなさんへの伝達は、掲示によって行われます。掲示を見過ごす、みなさんの大学生活に思いがけない重大な支障をきたすことにもなりかねません。登下校の際、必ず掲示を見る習慣をつけてください。
(2) 掲示板の利用	学生団体による掲示物は、事務室で受付印を受け、指示された掲示板上に掲示してください。詳細はキャンパスにより異なりますので、窓口で相談してください。なお、許可印のない掲示物は撤去します。
(3) 落とし物	学内での拾得物は事務室（閉室時は警備室）に届けてください。届けられた拾得物は3ヶ月事務室で保管します。名前がわかるものは、掲示板上で呼び出します。 <ul style="list-style-type: none">学生証・ICカードを紛失した場合は、思わぬ不正のおそれがありますので事務室に申し出てください。教室等に放置してあるものは処分します。学内における盗難には十分注意し、荷物の管理には個人ロッカーを使用してください。なお、ロッカーの施錠は初期設定のままにせず、各自番号を設定してください。
(4) 施設利用上の注意	SFC 看護医療学部敷地内と信濃町キャンパス敷地内はすべて禁煙です。中庭や校舎内などの体育施設外での球戯等のスポーツは、他人の迷惑になるばかりではなく、器物破損や事故にもつながります。このような場所での球戯・スポーツはやめましょう。
(5) 通学証明書	所属キャンパス以外の授業を履修する場合、キャンパスに通学するための通学定期券購入には通学証明書が必要です。履修申告完了後、学事 Web システムの「登録済科目確認」画面をプリントアウトしたもの持参し、事務室で通学証明書の交付を受けてください。発行区間は、自宅最寄駅からキャンパス最寄駅の最も経済的な経路による区間に限ります。
(6) 体育会定期	体育会に所属している学生は、東急沿線の区間であれば練習場までの定期券を購入することができます。体育会事務室より発行される「体育会名簿」に基づき看護医療学部事務室・信濃町学生課学事担当窓口で通学証明書を発行します。この名簿に登録するには各部のマネージャーへの申請が必要です。登録が完了するまでに1ヶ月程度要します。

(7) 学生証

学生証は「カード」「在籍確認シール」「カードケース」の3点で1セットです。この3点は常にセットで携帯してください。「在籍確認シール」は毎年4月に更新が必要です。更新しない場合、証明書等が発行できなくなります。

また、学生証は他人に貸与または譲渡することはできません。

※定期券、銀行カード、スマートフォンなどと一緒になると磁気破損の原因になりますので注意してください。

〔通学区間〕

通学定期券の発売区間は、「自宅最寄駅」から「学校最寄駅」の最も経済的な経路による区間に限ります。学生証裏面シールの通学区間欄は、必ず「自宅最寄駅」から「学校最寄駅」を明記してください。住所変更に伴い通学区間が変わった場合は、必ず事務室窓口にて区間変更手続きを行ってください。なお、通学区間が適正でない場合、通学定期券の発売が停止されます。

〔更新手続〕

毎年4月1日から4月30日までに事務室窓口で手続きをしてください。更新には学生証カードが必要です。その際前年度の在籍確認シールを貼りつけたまま提示してください。新年度のシール交付後に、必ず前年度のシールをはがしてから新しいものを貼付してください。5月1日以降、裏面シール未交換者は証明書の発行ができなくなります。必ず期間内に手続きを済ませてください。

〔再交付〕

カード、在籍確認シールの紛失・破損などにより再交付を受ける場合は、所定の「再交付願」にて申請してください。カードの再交付には、写真1枚（タテ4cm×ヨコ3cm、枠なし、光沢仕上げ、カラー、上半身正面脱帽背景なし、最近3か月以内に撮影したもの）および手数料2,000円が必要です。再交付には数日要することがありますので注意してください。

〔返却〕

再交付後に、紛失したカードなどが見つかった場合には、ただちに古いものを事務室に返却してください。退学、卒業などで学籍を離れる時も同様です。

(8) ICカード

看護医療学部校舎の1階学生用ロッカー（男子用、女子用）および2階205教室に入るためにはICカードが必要です。紛失した場合は、事務室で再交付を受けてください。再交付には、手数料3,000円がかかります。

(9) 実習用名札

実習科目の一部では実習用名札の携帯が必要です。紛失などにより再交付を受ける場合は、所定の「再交付願」にて申請してください。名札の再交付には700円の手数料がかかります。

再発行には数日要しますので注意してください。

(10) 英字氏名

入学手続時に記入した英字氏名は公式に登録され、英文証明書の氏名欄に記載されます。

登録されている英字氏名は、学生証更新の際、学生証裏面シール上部に表示されますので入学年度の春学期開始から春学期履修申告期間終了日までの間に、表示されているものが正しいかどうかを確認し、間違いがある場合は事務室窓口にて変更してください。

(11) 住所変更／保証人変更／ 改姓改名	<p>〔住所変更〕</p> <p>保証人の住所変更の場合は、保証人の住民票を持参のうえ、事務室で手続きを行ってください。本人の住所変更の場合は、SFC-SFSにログイン後、学事Webシステムの「住所確認・変更」より変更申請を行ってください。学生証裏面シール記載の住所や通学区間を変更する際は、事務室で証明印を受けてください。</p> <p>〔保証人変更〕</p> <p>保証人を変更する場合は、速やかに事務室に届け出てください。保証人は日本国内に居住し、一家計を立てている成年者で、本人の学費と一身上に関する責任を負うことのできる者とし、父または母としてください。父母が保証人となり得ない場合は、兄、姉、伯父、伯母等後見人またはこれに準ずる方としてください。手続きには、保証人変更届、誓約書（本人・新保証人押印）、新保証人の住民票が必要です。</p> <p>〔改姓・改名〕</p> <p>改姓・改名をした場合は、速やかに事務室に届け出てください。手続きには、改姓（名）届、誓約書（本人・保証人押印）、学生証再交付願、新姓名の戸籍抄本が必要です。また、届出後履修中の科目担当者に必ずその旨申し出てください。</p> <p>※住民票や戸籍抄本は個人番号（マイナンバー）の記載のないものを提出してください。</p> <p>これらの手続きがされていないと、履修上の連絡、成績表の送付、国家試験への出願など重要な事柄の処理に際し、支障をきたしますので注意してください。</p>
(12) 学費等の納入	<p>在学中の学費の納入については、銀行振込制度をとっていますので、保証人宛に送付される振込用紙により、期日までに最寄りの銀行窓口へ納入してください。また、納入証明書は大切に保存しておいてください。</p> <p>振込用紙発送予定：春学期分 4月10日頃／秋学期分 10月10日頃 納入期限：春学期分 4月末日／秋学期分 10月末日 （秋学期分は春学期分と同時に納入することができます。）</p> <p><参考></p> <p>「学則第171条①在籍基本料、授業料その他必要な費用を所定の期日までに納入しないときは、退学させることがある。」</p>
(13) 授業料等延納申請	<p>やむを得ない事情で授業料等を期日までに納入できなくなった場合は、事務室で配布する所定の「授業料等延納申請書」を決められた期日（春学期5月中旬、秋学期11月中旬）までに提出してください。理由が適当と認められた者に対しては「延納決定通知書」が交付されます。</p> <p>なお、延納が認められる期日は、春学期は夏季休校前日、秋学期は冬季休校前日までとします。詳細については事務室にお問い合わせください。</p>
(14) 学生団体組織届	<p>SFCでは、「学生団体組織届」を提出している団体には教室の利用申請を認めます。また学生団体公認申請を行うためには、前年度所定期間内に「学生団体組織届」を提出している必要があります。</p>
(15) 学生団体公認申請	<p>本大学の公認を希望する学生団体は、毎年度初めに公認申請書類一式を提出しなければなりません。審査の結果、慶應義塾の教育目的に添い、かつ適当と認められた団体は、慶應義塾大学公認学生団体となることができます。詳しい手続きについては、事務室で尋ねてください。</p>

(16) 学外行事届	<p>学生団体が学外で合宿、対外試合、催物などを行う場合や、研究会（プロジェクト）で合宿を行う場合は、4日前までに所定の「学外行事届」を提出してください。この提出がないと、課外活動中の事故、ケガの際に学生教育研究災害保険の対象外となりますので注意してください。</p>																		
(17) 海外活動届	<p>公的、私的問わず個人や団体が海外旅行をする際には、出発前に必ず保証人へ日程を連絡しておくとともに、事務室へも「海外活動届」（用紙は事務室で配布）を提出してください。</p>																		
(18) 団体旅行申込書 (団体割引)	<p>プロジェクトや公認学生団体の課外活動のための旅行で、8名以上（引率者1名を含む）の場合は、団体旅行申込書（旅行代理店等で交付されたもの）に学外行事届および利用者名簿を添えて申し出てください。団体割引が適用されます。</p>																		
(19) 証明書	<p>SFC 看護医療学部校舎 1 階・信濃町キャンパス孝養舎 1 階に証明書自動発行機があります（即時発行）。 発行機稼働時間：月曜日～土曜日 9:15～20:00 ※休校期間中の土曜日は稼働停止 ※日曜・祝日および大学休業日、学期末は稼働しません。 操作には、学生証と暗証番号が必要です。暗証番号は SFC-SFS にログインし、学事 Web システムを開くと表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="549 904 1439 1312"> <thead> <tr> <th>証 明 書</th> <th>金 額 (1 通)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在学証明書、成績証明書 (和文・英文)</td> <td>200 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>卒業見込証明書 (和文・英文)</td> <td>200 円</td> <td>卒業見込年度の 5 月上旬より発行</td> </tr> <tr> <td>履修科目証明書 (和文)</td> <td>200 円</td> <td>春学期 6 月上旬より発行 秋学期 11 月上旬より発行</td> </tr> <tr> <td>健康診断証明書 (和文)</td> <td>200 円</td> <td>健康診断受診後 6 月 10 日より発行</td> </tr> <tr> <td>学割証 (学生旅客運賃割引証)</td> <td>無料</td> <td>片道 101Km 以上の区間を乗車、乗船する場合に使用できます。健康診断を未受診の場合には、発行できません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>他キャンパスの発行機も利用できますが、上記以外の証明書あるいは厳封が必要な証明書を発行する場合は看護医療学部事務室・信濃町学生課学事担当窓口に申し込んでください。 発行機の稼働日程等、詳細は下記を参照してください。 http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/shoumei/index.html 〔塾生の皆様へ〕 Web サイト→授業・履修・試験メニューの「証明書」</p>	証 明 書	金 額 (1 通)	備 考	在学証明書、成績証明書 (和文・英文)	200 円		卒業見込証明書 (和文・英文)	200 円	卒業見込年度の 5 月上旬より発行	履修科目証明書 (和文)	200 円	春学期 6 月上旬より発行 秋学期 11 月上旬より発行	健康診断証明書 (和文)	200 円	健康診断受診後 6 月 10 日より発行	学割証 (学生旅客運賃割引証)	無料	片道 101Km 以上の区間を乗車、乗船する場合に使用できます。健康診断を未受診の場合には、発行できません。
証 明 書	金 額 (1 通)	備 考																	
在学証明書、成績証明書 (和文・英文)	200 円																		
卒業見込証明書 (和文・英文)	200 円	卒業見込年度の 5 月上旬より発行																	
履修科目証明書 (和文)	200 円	春学期 6 月上旬より発行 秋学期 11 月上旬より発行																	
健康診断証明書 (和文)	200 円	健康診断受診後 6 月 10 日より発行																	
学割証 (学生旅客運賃割引証)	無料	片道 101Km 以上の区間を乗車、乗船する場合に使用できます。健康診断を未受診の場合には、発行できません。																	
(20) 塾外諸施設	<p>①学生健保互助組合（学生健保）の契約旅館 学生健保では、格安の料金で利用できるように宿泊施設と契約を結んでいる「契約旅館」があります。宿泊施設については「健保の手引き」に掲載されておりますので、利用方法等を確認してください。</p> <p>②立科山荘（校外教育施設） 所在地：長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野字女神平 1153 番地 Tel：0267-55-6625 利用期間：5月1日～10月31日 利用団体：学生団体、研究会等の正課、卒業生、教職員 予約開始日：前年度2月6日（2月6日が休日の場合、翌開室日）</p> <p>③赤倉山荘 所在地：新潟県妙高市大字田切 219-7 Tel：0255-87-3900 管理事務室 Tel：03-3359-0227 URL：http://www.sanshikai.jp/akakura/</p>																		

- ④大学セミナーハウス
 所在地：東京都八王子市下柚木 1987-1
 Tel：042-676-8511
 URL：http://www.seminarhouse.or.jp/

2. SFC

(1) 事務室

看護医療学部ゾーンには看護医療学部事務室、総合政策・環境情報学部ゾーンA（アルファ）館1階には本館事務室があり、正課や課外活動に関する手続き、各種証明書の申し込み、履修申告の手続きやレポートの提出などさまざまなことを扱っています。

窓口取扱い時間 平日 9:15～16:50
 春季休校（2月5日～3月31日）、
 海の日および夏季休校（7月31日～9月21日）
 9:15～11:30、12:30～16:50

※土曜日、日曜日、授業のない祝日、キャンパス一斉休業期間（夏季：8月9日～16日、冬季：12月28日～1月5日）および1月10日は閉室です。事務手続き（備品の借用を含む）は、すべて上記の時間内に行ってください。

(2) 看護医療学部校舎の利用可能期間

SFC 看護医療学部校舎は平日・土曜日の7時から21時まで利用が可能です。日曜日、授業・補講のない祝日、キャンパスの一斉休暇中（8月9日～16日、12月28日～1月5日）、1月10日および入試実施日は利用できません。入試実施日は掲示にてお知らせします。

(3) 教室利用申込

〔申込窓口〕

看護医療学部ゾーン：看護医療学部事務室
 総合政策・環境情報ゾーン：本館事務室
 （利用可能な施設・申込方法は下記URLを参照）
http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/campus_amenities/

〔利用時間〕

教室利用申込が可能な時間 9:25～21:00

〔利用条件〕

原則として、学生団体とします。個人が施設を借り切ることはできません。
 (例)・公認学生団体
 ・未公認団体（当該年度に「学生団体組織届」を提出した団体）
 ・授業のグループワーク
 ・プロジェクト

〔申込方法〕

- ・1日前までに申込みをしてください。
- ・看護医療学部事務室窓口のPCで空き状況を確認し、利用時間・団体名・責任者氏名を入力してください。
- ・やむを得ず当日に申込む場合は、「教室利用願」の提出が必要です。

(4) キャンパス内の夜間残留	<p>①看護医療学部ゾーン 看護医療学部ゾーンの学生の退出期限は、21：00となります。これ以降の校舎への残留は、如何なる理由であっても認めません。</p> <p>②総合政策・環境情報学部ゾーン 総合政策・環境情報学部ゾーン内の施設は、23：00まで利用することができます。それ以降の時間帯における夜間残留は、科目担当教員の許可が得られた正課での活動に限って認めています。詳細は本館事務室に問い合わせてください。</p>				
(5) 総合政策・環境情報学部ゾーンの特別教室	<p>総合政策・環境情報学部ゾーンにある以下の特別教室に入室するには、専用のICカードが必要です。特別教室で行われる授業を履修する場合のみ、看護医療学部事務室で入室用ICカードを貸し出します。希望者は事務室で申請してください。原則として申請は学期ごとに必要です。貸出期間は各学期の授業開始日から定期試験期間終了日までです。借用したカードは期間内に必ず事務室に返却してください。なお、特別教室で行われる授業について履修申告を行わなかった場合は、速やかにカードを返却してください。</p> <p>[総合政策・環境情報学部ゾーン特別教室]</p> <table border="1" data-bbox="574 728 1396 817"> <tr> <td>コンピュータ設置</td> <td>κ 18, ε 17, ι 18, ο 17, λ 11, λ 18, λ 21</td> </tr> <tr> <td>製図室等</td> <td>ο 21, ο 22</td> </tr> </table>	コンピュータ設置	κ 18, ε 17, ι 18, ο 17, λ 11, λ 18, λ 21	製図室等	ο 21, ο 22
コンピュータ設置	κ 18, ε 17, ι 18, ο 17, λ 11, λ 18, λ 21				
製図室等	ο 21, ο 22				
(6) 学生ラウンジの団体利用	<p>看護医療学部校舎1階の学生ラウンジは食堂閉店時も7：30～21：00まで、自習および交流の場として自由に利用できます。通常利用の場合、届出は必要ありません。学生団体が催しなどを行いたい場合は、事務室に相談してください。</p>				
(7) 車両入構	<p>看護医療学部校舎付近への車両乗り入れについては、次の理由で特別に許可された学生以外は原則として禁止します。</p> <p>① 車でなければ運搬できない物品の構内搬出入 ② 傷害・疾病による理由</p> <p>事前に事務室に相談し、許可された場合の手続方法は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 入構希望日の前日までに事務室へ申請してください。 (その際、入構する車のナンバー、車種等の記入が必要です) 2) 入構当日の手続きは申請時に別途指示します。 3) ②に該当する場合は診断書が必要です。 				
(8) 駐車場・駐輪場の利用	<p>湘南藤沢キャンパスに自転車、バイク、自動車で通学する場合は、次のようなルールを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車およびバイクで通学する場合は、必ず所定の駐輪場を利用してください。バイクの駐輪には登録が必要です。 <p>【登録方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学生証をコピーした用紙にバイクナンバーを記入し、看護医療学部事務室に提出してください。 ②看護医療学部事務室にて登録シールを受け取ってください。 ③登録シールをバイクの目立つところに貼ってください。 <p>※総合政策・環境情報ゾーンの駐輪場を利用する場合は、別途本館事務室学生生活担当に申請してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車による通学を希望する学生は、必ずキャンパス外周辺にある駐車場を契約のうえ利用してください。 ・駐車場の契約については、A館1階保守管理室内「湘南コミュニティー」に問い合わせてください。 				
(9) イベントの実施、校内撮影などの手続	<p>希望日の10日前までに、実施概要を記した企画書を事務室に提出してください。詳細は窓口で相談してください。</p>				

(10) 物品の貸出	正課・課外活動において大学の備品の借用を希望するときは、備品借用の4日前までに事務室で相談してください。学内での講演・公演・映画会などの催しの場合は、借用備品を明記した企画書を提出する必要があります。相談のうえ、借用が許可された場合は、借用書を提出してください。教員の承認印が必要な場合もあります。
------------	---

3. 信濃町

(1) 学生課（学事担当、学生生活担当）	孝養舎1階にあります。授業・履修・成績等に関わることは学生課学事担当、奨学金・学生生活等に関わることは学生課学生生活担当に問い合わせてください。
(2) 学生課（学事担当、学生生活担当）の窓口取扱い時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">平日 8:45 ~ 16:45</div> <p>注：土曜、日曜、祝日は、学生課は閉室です。 注：ロッカーの鍵が開かなくなってしまった場合、平日は学生課窓口へ学生証を持参のうえ直接来てください。ただし平日の事務手続き時間以外、土曜、日曜、祝日は、防災センター（大学病院1階）に連絡してください。</p>
(3) 施設利用	<ul style="list-style-type: none"> 信濃町キャンパス内の教室は、信濃町キャンパスを拠点とする公認学生団体に限り学生課にて利用申請を受け付けています。 ※信濃町キャンパス内の施設利用については、信濃町キャンパス所属の学生に限ります。
(4) 学生の入退室時間	<ul style="list-style-type: none"> 孝養舎正面玄関 6:00 ~ 21:00
(5) 自習室	<p>「信濃町キャンパス自習室利用規則」に則って利用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 孝養舎自習室 6:00 ~ 23:00 まで利用可能 ただし正面玄関は施錠されるため、21:00以降は正面玄関脇の非常口から退出してください。 オートロックですので21:00以降の再入館はできません。 第二校舎自習室 6:00 ~ 23:00 まで利用可能
(6) キャンパス内の夜間残留	学習上の理由で23時以降キャンパス内に残留する場合は、巡回警備員に学生証を提示したうえで、夜間残留届への記入・提出が必要です（自習室は23時以降利用不可）。また、四谷祭などのイベントで夜間残留が確定している場合には、事前に学生課学生生活担当へ届出てください。
(7) 自転車の駐輪	指定された駐輪場以外の場所に駐輪した場合、撤去されますので注意してください。なお、信濃町キャンパスでは、自動車・バイク通学は禁止されています。

慶應義塾ハラスメント防止委員会

慶應義塾は国際的な教育・研究・医療機関として、また建学以来、気品の泉源・智徳の模範たることを願い発展してきた組織として、いかなるハラスメントも容認しません。

ハラスメント防止のためのガイドラインおよび相談窓口は、以下のホームページで公開しています。

慶應義塾ハラスメント防止委員会

<http://www.harass-pco.keio.ac.jp/>

e-mail : harass-pco@adst.keio.ac.jp

学生生活と課外活動

※奨学金・学生生活・課外活動等についての担当窓口は以下のとおりです。

S F C 看護医療学部事務室
信濃町 学生課学生生活担当

I. 奨学金制度

人物・学業ともに優れ、また経済的理由のために修学困難な学生に経済援助を行い、教育の機会均等を図るために、次のような奨学制度があります。募集の時期や詳細は変更することがありますので、出願希望者は『奨学金案内』、掲示板およびWebサイト (<http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/scholarship/index.html>) を確認してください。また、定期健康診断は必ず受診してください。

(1) 日本学生支援機構奨学金 (貸与)	貸与制の奨学金です。卒業後は所定の方法で返還しなければなりません。
① 募集の時期	4月
② 選考基準	家計状況を重視します。 ※第一種奨学金（無利子）は成績も重視します。
③ 貸与月額（2019年度）	貸与希望月額は以下から選択できます。 ※下線付きの月額は、2018年度以降入学者（途中年次への編入学及び再入学を除く）のみ選択可能。 ・第一種奨学金（無利子）： 自宅通学者 2万円・3万円・4万円・5万4千円 自宅外通学者 2万円・3万円・4万円・5万円・5万4千円・6万4千円 ・第二種奨学金（有利子）： 2万円～12万円（1万単位）から選択可能
④ その他	高等学校あるいは他大学で日本学生支援機構奨学生であっても、その資格は継続されませんので、希望者は新たに出願しなければなりません。ただし、高校時に採用候補者（予約生）として決定し、日本学生支援機構から交付されている「採用候補者決定通知」を持っている者は、入学後、掲示板を確認し、定められた期間に手続きを行ってください。
⑤ 家計急変	天災その他災害および家計支持者の死亡、失職などで家計が急激に変化し、授業料納入等学業の継続が困難になった場合は、緊急または応急採用として日本学生支援機構に申込を行うことができます。詳細は事務室に相談してください。
(2) 慶應義塾大学給費奨学金 (給付)	本大学独自の、2年生以上の成績優秀者に給付する奨学金です。用途は学費とし、授業料に対する援助を目的とします。
① 募集の時期	10月
② 選考基準	人物・成績を重視します。
③ 給付金額・期間	50万円・1年間（再申請可）
(3) 慶應義塾大学修学支援 奨学金	本大学独自の、恒常的、あるいは家計急変、自然災害により、経済的に修学が困難な者を支援する奨学金です。
① 募集の時期	6月・11月
② 選考基準	家計状況を重視します。

③ 給付金額・期間	学費の範囲内の金額・1年間（再申請可）
(4) 慶應義塾創立150年記念奨学金 海外学習支援	慶應義塾創立150年を記念して設置された、学生の海外での学習活動への参加を支援する奨学金です。
① 募集の時期	5月・10月・1月
② 選考基準	家計状況を重視します。
③ 給付金額・期間	プログラム・渡航先に応じて10～30万円・1年間（再申請可）
(5) 慶應義塾維持会奨学金（給付）	慶應義塾維持会による奨学金で、人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により学業に専念することが困難な、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外の道府県出身者を優先に支援することを目的としています。
① 募集の時期	4月
② 選考基準	家計状況および人物・成績を重視します。
③ 給付金額・期間	80万円（学部により異なる）・1年間（再申請可）
(6) 指定寄付奨学金（給付）	慶應義塾が受けた寄付金をもとに設置された奨学金です。希望者は「奨学金案内」およびWebページを確認してください。
(7) 地方公共団体奨学金・民間団体奨学金（給付・貸与）	現在、本大学で取り扱っている奨学金は、日本学生支援機構奨学金・慶應義塾大学奨学金以外にも民間団体・地方公共団体等多数の外部団体が募集する奨学金があります。募集期間は4～5月に集中しています。これらの奨学金は、金額、貸与／給付、受給期間、募集時期など条件が各々異なり、採用人員も少数です。募集のたびにWebページに掲載するので、希望者はその都度事務室に問い合わせてください。なお、昨年度本大学に募集のあった奨学金については、4月以降、事務室で希望者に配布される「奨学金案内」に一覧表が掲載されるので、参考にしてください。
(8) 青田与志子記念慶應義塾大学看護医療学部教育研究奨励基金	本大学医学科附属看護婦養成所卒業生・青田与志子氏の寄付により設置された、看護医療学部独自の奨学金です。看護・保健・医療・福祉に関わる外国での学習・研究活動を行う学生に対して支給されます。
① 募集の時期	5月
② 給付金額・期間	プログラム・渡航先に応じて10～50万円・1年間（再申請可）
(9) 慶應義塾大学総合医学教育奨励基金（看護医療学部）	看護医療学部独自の、2年生以上の総合医療の学習に意欲があり、人物、学業・成績ともに優れた者に支給する奨学金です。
① 募集の時期	5～6月（予定）
② 選考基準	人物・成績を重視します。希望する場合は経済状況も選考に勘案します。
③ 給付金額・期間	上限40万円・1年間（再申請可）
(10) SFC独自の奨学金	SFCの学生が勉学、研究活動を十分に行えるように独自の奨学金制度を用意しています。詳しくは掲示板およびWebページで案内します。

II. 学生健康保険

(1) 学生健保 (学生健康保険互助組合)

学生健保では、学生の皆さんが医療機関で保険証を提示して診療を受けた際に支払った自己負担額の一部を給付しています。(医療給付制度)
本制度の給付対象となる診療や上限額、申請方法等については下記 web サイトや最新の「健保の手引き」(下記 web サイト内関連リンク)をご確認ください。
URL : <http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/kenko/index.html>
ほかにも予防給付として、契約旅館の宿泊費補助などを行っています。

(2) 学災保険 (学生教育研究災害傷害保険)

大学の教育研究活動中や通学中および学校施設等相互間の移動中の不慮の事故に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。事故等が起こった場合には、以下の手続きを行ってください。

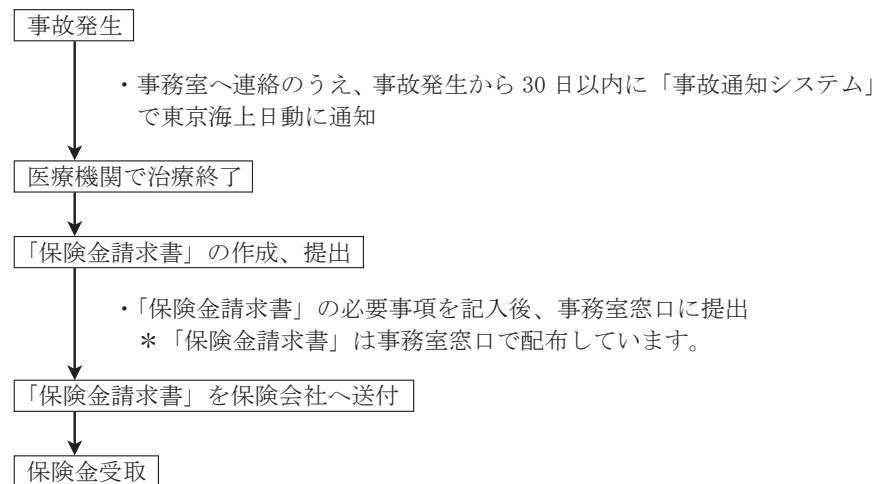
保険対象活動：大学内外での正課・大学行事・課外活動、キャンパス内

- * 学外で活動をする場合には、4 日前(休日を除く)までに「学外行事届」を事務室窓口に提出してください。

保険対象となる治療期間(通院・入院のどちらか一方をみたせば良い)

	通院回数(見込み)	入院日数(見込み)
正課・学校行事	1 回以上	1 日以上
課外・キャンパス内	14 回以上	

【学災保険申請手続き】



(3) 学外実習に伴う保険 (Will2)

看護医療学部学生は、学外実習実施に際し、傷害・賠償・感染事故に対応する保険(Will2)に全員加入しています。詳細については春学期のガイダンスで資料を配布しますので参照してください。

(4) 任意加入の補償制度

任意加入の補償制度には保険と共済の 2 種類があります。加入を希望される場合は、下記へ資料を請求してください。

- ・保険 学生総合補償制度 : 榊慶應学術事業会 (03-3453-6098)
- ・共済 学生総合共済 : 慶應義塾生活共同組合 (045-563-8489)

Ⅲ. 課外活動

<p>(1) 課外活動</p>	<p>課外活動は学生が集団的に営む自主的な自治活動です。多くの学生が学生団体に所属して活動しています。大学での生活の中心は、学問研究にあることは論を待たないところですが、課外活動も人格形成の途上において、大きな役割を果たしているといえるでしょう。趣味の域を脱して一つの事柄を究めたり、またその過程において集団の中の個を自覚し、メンバーとして自ら学ぶことも多々あります。その意味から、課外活動に参加することも、充実した学生生活を送る上での一つの方法であると思われます。</p>
<p>(2) 他キャンパスでの課外活動</p>	<p>塾内で、所属キャンパス以外のキャンパスにある課外活動団体に参加することも可能です。カリキュラムやキャンパスの立地条件から、確かに多少の困難は伴うでしょうが、授業時間にあわせた上手な課外活動計画をたてれば、他キャンパスのクラブ・サークル活動に参加することもできるでしょう。また、3年次には信濃町キャンパスを中心に課外活動を行うことができます。 以下、どのような学生団体があるかを簡単に紹介します。</p>
<p>(3) 公認学生団体の種類 公認学生団体とは</p>	<p>学生団体は毎年公認審査を通過しなければ慶應義塾大学の公認団体とはなりません。公認審査の基準は、大学専任教員である会長をもち、会員（部員）は本塾大学の学部学生に限り、1年間以上の活動実績があることです。また、会の運営は会員の自主性によるものとし、外部の意志に動かされたり、業者などの宣伝の道具に利用されるような活動や、慶應義塾大学の名を利用した商業的な活動を行うことは、公認団体として認められません。2018年度は、421団体が慶應義塾大学公認学生団体として、学術・文化・スポーツなど様々な分野において活動しています。 公認学生団体の一覧は、ホームページで閲覧することができます。 http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/dantai/index.html</p>
<p>① 文化団体連盟 略称：文連</p>	<p>文連は、義塾学生の品位・教養の向上、および情操の涵養を図ることを目的とし多彩な活動をしています。その所属団体は、研究、芸能、趣味、宗教、音楽等、約90団体が活動しています。</p>
<p>② 体育会</p>	<p>体育会は、学生全般の体力向上を図り、あわせて品性の陶冶に資する機関であり、慶應義塾が開かれて以来、年を追って創設された各種のスポーツ団体が明治25年に組織化されたものです。現在、公式スポーツ大会には体育会各部が本塾大学の代表として出場しています。また一般学生の体育運動参加を容易にし、奨励することも体育会の目的の一つであり、運営は各部の独自性に任されています。</p>
<p>③ 全国慶應学生会連盟 略称：全慶連</p>	<p>全慶連は、各地域別の三田会（卒業生、すなわち塾員の結成している会）と並行して在学中の学生が出身地ごとに結成した親睦団体で、地方文化の向上を目指しています。現在では全国に30余の慶應学生会が存在し、先輩と連絡をとりながら、塾の内外で様々な文化活動を行っています。</p>
<p>④ 独立団体</p>	<p>文連、体育会、全慶連等に加盟していない公認団体は「独立団体」と呼ばれ、約300の団体があります。それらは報道関係、学術文化関係、国際関係、国家試験関係、音楽関係、各種スポーツ関係等、あらゆる分野にまたがっています。</p>

⑤ 福利厚生等の団体	<p>学生の総意に基づいて、文化および体育活動の伸張を図り、かつ学生生活の発展向上に資するために、学生自治の意志を総合し、あわせて慶應義塾の振興に寄与することを目的として活動しています。福利厚生機関として、共済部・應援指導部・国際関係会・慶早戦支援委員会・スチューデント・カウンセラーズ（S.C.）があり、それぞれの塾生の福利・厚生面にかかわる諸活動を行っています。またゼミナールの発展に寄与することを目的にしたゼミナール委員会が三田にあります。オリエンテーション実行委員会は日吉に設置され、S.C.とともに、特に新入生のためにサービス活動をしています。このほか、全学的な規模で、学生健康保険委員会も活動しており、三田祭開催のための三田祭実行委員会、卒業生のための卒業アルバム委員会も活動しています。</p>
(4) 大学祭	<p>大学祭は主にキャンパス単位で開催され、年に数回行われます。看護医療学部生とかかわりの深い大学祭を以下に挙げますが、これらの他に、矢上キャンパスで10月に開催される「矢上祭」、芝共立キャンパスで10月に開催される「芝共葉祭」などがあります。</p>
① 三田祭	<p>三田祭は毎年11月下旬に行われる大学祭で、三田キャンパスで開催されているために三田祭と呼ばれており、期間中は延べ20万人以上の入場者で賑わいます。</p>
② SFC 七夕祭	<p>七夕祭は毎年7月にSFCで開催される学園祭で、地域住民との交流の場ともなっています。キャンパス内では浴衣姿の来場者が多数見受けられる他、七夕をイメージした装飾が施されます。</p>
③ SFC 秋祭	<p>秋祭は毎年10月頃に開催される学園祭です。秋の訪れの声を聞く頃、各サークル、研究会等が日頃の活動の成果を発表する場として、キャンパスが音楽、映像、講演会等多数のイベントで盛り上がり、例年約5千人を超える来場者があります。</p>
④ 四谷祭	<p>毎年11月の上旬に、信濃町キャンパスでは四谷祭が開催され、医学部・看護医療学部の学生が中心となって、日頃の活動の発表を行っています。</p>
(5) SFC 周辺の スポーツ施設	<p>SFCの周辺には藤沢市のスポーツ施設が数多くあります。 このような施設を利用する際、事前に利用者登録が必要な場合がありますのでWebサイトで確認してください。 http://f-mirai.jp/sports/</p>

環境保護について

SFC看護医療学部校舎周辺は貴重な里山の自然環境をそのまま保全しており、オオタカやホトケドジョウなどの貴重な生き物も生息しています。池、水路およびその周辺では、環境に配慮し、歩行用通路の利用にご協力ください。

また、キャンパス内の芝生保護のため、歩行用通路を利用するとともに、スポーツは芝生の上では行わず、グラウンド・体育館等の体育施設を利用してください。

IV. 就職

看護医療学部では、事務室と就職・進路委員会の担当教員が連携をとりながら、卒業予定者の就職・進路全般を支援しています。医療機関等への就職に関しては看護医療学部事務室、一般企業等への就職に関しては主に CDP オフィス（本館（A館）1階）で取り扱います。

(1) 就職ガイダンスの実施	医療機関等への就職・一般企業等への就職など進路選択に関する全般的なガイダンスを主に3年生・4年生を対象に行います。SFC や三田キャンパスにおいても、各種ガイダンスが実施されていますので、それらに参加することもできます。
(2) 求人・資料等の提供 ① 医療機関等からの求人・資料（病院等） ----- ② 一般企業からの求人・資料	SFC 看護医療学部事務室において求人票、説明会・セミナー案内および看護医療学部卒業生の「就職活動体験記」を公開しています。 また、公開している求人資料のリストとして「求人受付一覧」を下記 Web サイトに掲載しています。 http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/cdp/kango.html ----- 塾生によせられた各企業（団体）からの求人情報・セミナー案内や先輩達の「就職活動体験記」は、「慶應義塾共通認証システム（keio.jp）」を利用して、学外からでも検索することができます。利用にあたっては、各自の「慶應 ID」でログインをしてください。その他、公務員・教員募集案内、企業案内パンフレット、就職活動のための OB・OG 名簿は、本館（A館）1階にある CDP オフィス内で閲覧できます。インターンシップ情報は本館にあるインターンシップ掲示板に掲載しています。
(3) 個別相談 ① 医療機関等への就職・進路選択全般に関する個別相談 ----- ② 一般企業等への就職に関する個別相談	SFC 看護医療学部事務室、あるいは就職・進路委員会の担当教員が応じますので、希望者は問い合わせてください。担当教員については、掲示などで確認してください。 ----- 本館（A館）1階 CDP オフィス、および三田キャンパス学生部就職・進路担当において個別相談に応じます。予約制で、面談時間は原則30分となっています。また、希望があれば、履歴書やエントリーシートの講評、模擬面接（予約制）なども行いますので、積極的に利用してください。
(4) SFC 就職・進路 (CDP) サイト	SFC における一般企業等への就職・進路全般に関する Web サイトです。就職・進学情報、インターンシップ情報等の各種情報の収集に活用してください。CDP オフィスからのお知らせや学内で行うガイダンス情報についても随時お知らせしています。 http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/cdp/index.html
(5) 進路届	就職や進学先が決まった方は必ず「進路届」を提出してください。提出方法については、掲示などで確認してください。

履修案内



I. 授業について

(1) 学事日程	<p>2014年度から4学期制と2学期制を併用した学事日程が全塾的に導入されました。そのため、大学の学事日程は、1年が春学期前半、春学期後半、秋学期前半、秋学期後半の4学期により構成されています。</p> <p>履修申告や休学、留学、進級・卒業の時期は、従来の2学期制の運用で行いますが、総合政策・環境情報学部設置科目の定期試験や成績通知は4学期それぞれに行います。</p> <p>看護医療学部を含むSFCでは、月～金曜日が授業日、土曜日が補講日・集中講義日です。また、学事日程上、土曜日以外にも補講日が設定されています。</p>
(2) 休校日	<p>下記は、休校日（授業を行わない日）となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日曜日 2 「国民の祝日に関する法律」で定められた休日 3 福澤先生誕生記念日（1月10日） 4 開校記念日（4月23日） 5 春季休校（1月30日～3月31日） 6 夏季休校（8月1日～9月21日） 7 冬季休校（12月28日～翌年1月4日） <p>ただし、2019年度は開校記念日(4月23日)、こどもの日の振替休日(5月6日)、海の日(7月15日)、秋分の日(9月23日)、文化の日の振替休日(11月4日)は授業日です。また、実習等の特定期間集中科目は上記の期間に行うことがあります。</p>
(3) 時間割・シラバス	<p>各学期の時間割およびシラバスを春学期は3月中旬、秋学期は9月中旬より以下のサイトで閲覧できます。</p> <p>「塾生の皆様へ」Webサイト→湘南藤沢→「湘南藤沢キャンパスメニュー」の「履修案内・講義要綱・時間割」(http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/rishu/index.html)</p> <p>時間割が変更になる場合は掲示でお知らせしますので、履修申告前に必ず掲示も確認してください。</p> <p>なお、看護医療学部設置科目のシラバス閲覧には慶應ID/パスワード、総合政策・環境情報学部設置科目のシラバス閲覧にはSFC-CNSアカウント/パスワードが必要です。</p>
(4) 実習科目の日程	<p>実習科目および一部の演習科目は時間割に「定時外」として掲載されます。詳細日程については、毎年度配布される実習日程および科目担当者からの指示に従ってください。また、海外渡航時に実習に臨む際は、原則として実習開始の2週間前に帰国するようにしてください。特に外務省の規定による後発開発途上国から帰国した学生は、原則として帰国後2週間、実習への参加を控えてください。但し、先進国の場合は実習開始3日前までに帰国してください。</p>
(5) 休講・補講	<p>やむを得ず授業（代替講義日を含む）が休講となる場合は、原則として補講を実施することになっており、看護医療学部では土曜日あるいは学事日程で指定された「補講日」に実施されます。</p> <p>補講日の欠席は通常の授業日の欠席と同様に扱われます。</p> <p>休講・補講の連絡はSFC-SFSにログインし、学事Webシステムから閲覧できます。</p>

<p>(6) 緊急時における授業の取扱い</p>	<p>台風・大雨・大雪・地震等の各種自然災害や、大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態の発生により、休講措置をとらざるを得ない場合はWebサイト等を通じてお知らせします。 「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生向けサイト」</p> <p>〈その他の注意事項〉 授業開始後に緊急事態が発生した場合は、状況により授業の短縮や早退など別途措置を講じます。 掲示や構内放送、上記のWebサイトによる大学からの指示に従ってください。</p>
<p>(7) 全塾的行事における授業の取扱い</p> <hr/> <p>① 早慶野球戦当日</p> <hr/> <p>② 三田祭期間</p>	<hr/> <p>早慶戦は東京六大学野球リーグ戦の中でも長い伝統に輝く一戦です。毎年春・秋に行われるこの早慶戦には、全塾を挙げて応援できるよう、SFCでは1時限目から休講とします。ただし、雨天などで中止になった場合、通常通り授業を行います。</p> <p>信濃町キャンパスでは、第1・2時限の授業を平常通り行い、第3時限以降は応援のため休講とします。</p> <p>※早慶戦が月曜以降に延びた場合の対応は、「塾生の皆様へ」Webサイトにて確認してください。 http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/soukei.html ただし、実習科目は試合の有無にかかわらず、平常通り授業を行います。</p> <hr/> <p>11月下旬に開催される三田祭の準備期間（本祭前々日午後から）と三田祭期間および後片付期間（本祭翌日）は、授業はありません。巻頭の学事日程を参照してください。 ※実習科目および一部講義科目は三田祭期間に実施されることもありますので注意してください。</p>
<p>(8) 欠席届</p>	<p>病気、忌引き等やむを得ない理由で授業を欠席した場合は、必ず担当教員に連絡してください。その際に指示があった場合は、事務室に欠席届を提出してください(用紙は事務室にあります)。病気の場合は、診断書を添付してください。欠席の取扱いは担当教員の判断によります。 他学部設置科目（併設科目も含む）については、欠席届を使用することができませんので、担当教員に直接申し出てください。</p>
<p>(9) 裁判員候補者に選定された場合の取扱い</p>	<p>本大学は、いわゆる「公欠」という考え方をとっていません。裁判員候補者に選定された場合は、看護医療学部事務室または信濃町学生課学事担当へご相談ください。なお、授業の性質上欠席が認められない場合がありますので、ご注意ください。</p>

Ⅱ. 履修について

1. 履修申告とは

履修申告はその学期に履修する科目を登録するものであり、修学の意味を確認するものです。毎学期、必ず、所定の期間に申告しなくてはなりません。

以下をよく読み、絶対に誤りのないように申告してください。履修申告に際して各学期の履修単位の上限はありません。申告予定の科目のシラバスおよび掲示を事前に閲覧のうえ、第1週目の講義には必ず出席してください。

なお、履修申告をせずに休学する場合は、履修申告期間前日までに「休学願」を提出してください。

2. 2019年度履修申告日程

春学期

履修申告期間：4月10日13:00～4月13日13:00

履修申告修正期間（履修申告科目確認表による呼出者のみ）：5月7日、8日

履修取消期間（春学期前半科目、春学期科目、通年科目）：5月15日10:00～16日16:45

履修取消期間（春学期後半科目）：6月24日10:00～25日16:45

秋学期

履修申告期間：9月26日13:00～10月1日11:00

履修申告修正期間（履修申告科目確認表による呼出者のみ）：10月10日、11日

履修取消期間（秋学期前半科目、秋学期科目）：10月24日10:00～10月25日16:45

履修取消期間（秋学期後半科目）：12月12日10:00～12月13日16:45

3. 履修申告方法

履修申告は学事 Web システムにより行ってください。方法は以下のとおりです。

① keio.jp にログイン

URL: <http://keio.jp>

② 「学事 Web システム」を選択

③ 「履修申告（※）」を選択

※このボタンは履修申告期間中以外は表示されません

4. 注意事項

- (1) 履修申告は指定された期日に学事 Web システムによって必ず行ってください。申告しない場合は学則第 188 条により退学に処せられることがあります。不明な点は事務室に問い合わせてください。
- (2) その学期に履修する科目は全て申告してください。（必修科目も申告する必要があります。）履修申告していない科目は、試験を受けても一切無効であり、単位の取得はできません。
- (3) 実習・研修期間と履修する時期が異なる科目があります。各科目の開講学期を確認のうえ、申告してください。
- (4) 履修申告期間後には科目の追加はできませんので、申告し忘れや間違いのないように注意してください。
- (5) 時間割の記載内容は変更されることがありますので、履修申告する前に掲示を確認してください。
- (6) 「英語 I A」、「英語 I B」、「看護情報リテラシー」、「心の理解と共有」、「データサイエンス」、「在宅看護技術演習」は、指定されたクラスの授業を、「英語 II A」、「英語 II B」は指定されたグループの授業を登録してください。これらの科目を再履修する場合、必修科目との重複によりクラス変更が必要な場合がありますので、出席するクラスを事務室で確認してから申告してください。
- (7) 同一曜日時限に設置された科目を複数履修することはできません。

- (8) 登録後、「〇〇（分野名）必修不備」と登録状況欄に表示される場合、以下の2つの可能性があります。
- ①今学期履修しなければならない〇〇分野の必修科目の中で、未登録の科目がある場合。
→「12学則カリキュラム」の「IV. 科目一覧」または「19学則カリキュラム」の「IV. 科目一覧」を確認し、今学期のすべての必修科目を登録してください。
 - ②前学期までに、〇〇分野の必修科目の中で単位未取得（D）の科目がある場合。
→その科目の単位が（再履修により）取得されるまで、履修申告の際に表示されます。①の可能性がないか十分確認した上で、履修申告を終了してください。
- (9) 科目登録後にエラーがある場合、〈状態〉欄に「保留中」と表示されます。エラー内容を確認して、登録をし直してください。すべての〈状態〉欄が「登録済」となっていることを確認したうえで、登録した内容を保存してください。
- (10) 履修申告期間中にも基本的には午前4時から1時間程度メンテナンスで学事Webシステムを停止します。詳細は塾生ホームページおよび掲示でお知らせします。また、締め切り直前には動作が遅くなる場合がありますので、時間に余裕をもって申告してください。
- (11) 海外研修の日程と、実習日程（オリエンテーションやまとめの会等も含む）が重複した場合は、必修科目が優先されるため、海外研修科目への参加・履修は原則として認められません。
- (12) 「プログラミング入門Ⅰ・Ⅱ」は履修申告の前に、クラス登録・変更システムで希望クラスを登録してください。詳細はWebサイト (<http://ipl.sfc.keio.ac.jp/>) を確認してください。

5. 分野

すべての科目には、「分野」が割り振られています。看護医療学部設置科目および総合政策・環境情報併設科目（「12学則カリキュラム」の「IV. 科目一覧 3. 選択科目」または「19学則カリキュラム」の「IV. 科目一覧 3. 選択科目」参照）を登録する場合、「A欄分野」を選択してください。その他の科目を登録する場合、および自由科目として登録する場合は、以下「B欄分野番号」のいずれかを選択してください。

- ・自主選択科目（卒業に必要な単位として加算されます）
他学部等設置科目・・・「11」
国際センター設置短期海外研修・・・「55」
- ・自由科目（卒業に必要な単位として加算されません）・・・「99」

※一度自由科目として取得した単位を、後から進級・卒業に必要な単位に変更すること、またその逆もできません。

6. 履修申告科目確認と履修申告修正期間

履修申告時に保存した登録完了画面と、学事Webシステムの「登録済科目確認」画面を比較し、正しく申告が行われているかどうか必ず確認してください。内容が異なる場合、学生証と登録完了画面の控えを持参し、履修申告修正期間終了までに事務室窓口で確認してください。

また、登録内容に不備のある場合、学生本人宛に「履修申告科目確認表」を郵送します（春学期：4月下旬、秋学期：10月上旬）。履修申告修正期間に、郵送された「履修申告科目確認表」と学生証を持参し、事務室で修正をしてください。この期間に確認を怠ったために生じた不利益については、大学側は一切責任を持ちません。

7. 履修取消期間

以下の科目を除いて、当該学期中に履修申告した科目を履修取消することができます（「2. 2019年度履修申告日程」参照）。取消できる科目の上限は、各期間8単位までです。取消した科目の成績はつきません。また、新たな科目の追加はできません。SFC-SFSにログイン後、学事Webシステムの「履修取消申告」画面から取消を行ってください。

履修取消不可科目

- ① 必修科目
- ② 保健師選択コースおよび助産師選択コース必修科目（コース履修者以外は取消可能）
- ③ 事前に費用を納入する科目

- ・「世界の医療・保健制度Ⅱ（海外研修）」
 - ・「プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ（海外研修）」
 - ・「臨床看護実践（海外研修）」
 - ・「看護医療の英語Ⅱ」
- ④ 科目の性質上、履修登録取消されることにより授業が成立しないことが想定される科目
- ・「性と生殖における健康と権利」
- ⑤ 他学部設置科目で主学部（科目とりまとめ学部）が取消不可とした科目
- URL：<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubutorikeshi.html>

8. 学習相談

履修上の質問や疑問などがある場合、学習指導教員が相談を受け付けます。希望者は看護医療学部事務室で面談予約をしてください。

9. 他学部設置科目履修上の注意

他学部設置されている科目を履修する場合は、看護医療学部の科目を履修する場合と手続き方法等が異なります。以下の注意事項をよく読んで申告してください。

(1) 履修可能な科目	他学部設置されている科目は、各学部の履修制限の範囲内で、当該授業科目の初回授業で担当者に口頭で許可を得た場合のみ履修することができます。詳細は51ページの「他学部他研究科学生の履修を制限する科目」を必ず確認してください。ただし、諸研究所に設置されている科目は自由科目としてしか登録できない科目もありますので、履修を希望する場合は事務室窓口で相談してください。研究科（大学院）の科目は、原則として履修できません。
(2) 時間上の制約	看護医療学部（SFC）の科目と、SFC以外のキャンパスの科目を同じ曜日に履修する場合、1時限分以上間隔があいていなければ履修することはできません。また、SFC以外のキャンパス間の移動にも一部制約がありますので、履修を希望する場合は事務室窓口で相談してください。
(3) 履修申告の時期	<p>春学期には春学期設置科目のみ、秋学期には秋学期設置科目のみを履修申告してください。</p> <hr/> <p>・総合政策・環境情報学部（SFC）・理工学部（矢上）設置科目</p> <p>・上記以外の学部設置科目（三田・日吉・芝共立）</p> <p>通年科目および春学期のみ開講される科目だけではなく、<u>秋学期のみ開講される科目もすべて春学期に履修申告をしなければなりません。</u>（秋学期の履修申告時に秋学期科目の新規登録はできません。）</p>
(4) 分野	他学部設置科目は次の2種類のどちらかの分野の単位として履修ができます。
(5) 総合政策・環境情報学部設置科目の履修選抜について	科目によっては履修者数に制限を設けることがありますので、授業シラバスで履修者選抜の実施時期と方法を確認してください。シラバスを元に履修を希望する授業（同一曜日時限1授業のみ）を選択し、春学期は4月3日17:00までにSFC-SFS上で「選抜エントリー」を行ってください。エントリーした学生を対象に選抜を行い、結果を発表します。初回授業には許可された学生のみが出席することになります。詳細は「塾生の皆様へ」Webサイト（ http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/pe/reg_entry.html ）にて確認してください。秋学期の選抜日程は9月上旬にこちらのサイトで発表します。

(6) 日吉設置共通授業科目の履修について

- ①「科目認定願」（所定用紙）の提出
（提出期間：春学期授業開始日～春学期履修申告締切日の16:50）
「科目認定願」は看護医療学部事務室窓口にて配付します。その際、今後の手続についてもご案内します。
- ②履修申告
春学期の履修申告期間に秋学期科目・通年科目もすべてWeb履修申告してください。
「科目認定願」を提出していないにも関わらず、履修申告を行った場合は、履修は「無効」となります。
- ③抽選
履修申告者多数の場合には、履修制限（抽選）が行われます。
その結果、「履修不許可」となった場合は、履修申告修正期間に追加申請可能な科目からの追加を認めます。
申請可能な科目は抽選結果発表時にお知らせします。

10. 科目の再履修

前学期までに単位を取得した科目については、担当者が変更しても再履修により再度単位を得ることはできません。同様に他学部と併設されている科目で、学部により名称が異なる場合でも、同一科目として扱われますので再履修はできません。また単位取得済みの授業科目はたとえ名称が変わった場合でも再履修はできません。ただし、2回目以降に自由科目として履修すればその限りではありません。

※総合政策・環境情報学部設置科目-スキル外国語、研究会A・Bについては、複数履修や単位取得後の再履修をした場合、選択科目の単位数に加算することができます。

※「プロジェクト英語」についても、複数履修や単位取得後の再履修をしても選択科目の単位数に加算することができます。ただし、同一学期に履修できるのは2科目4単位までです。履修方法については下記のWebサイトで確認してください。

<http://english.sfc.keio.ac.jp/>

11. 「体育2」、「体育3」

2017年度より「体育2」、「体育3」の履修および成績の制度が変更されました。

「体育2」、「体育3」を一度履修申告すると、単位を取得するまで申告が有効となり、前学期までの出席情報が繰り越されます。再度の申告は不要です。ただし、2016年度の履修申告は繰り越されませんので、履修希望者は再度申告してください。履修申告した学期の履修取消期間を過ぎると、取消はできません。

15回出席し、レポートを提出することが単位取得の条件です。単位を取得した学期（単位を取得できなかった場合は4年次秋学期）が成績評価の対象となります。

〔履修方法〕

学事Webシステムの履修申告画面で、[設置学部：看護医療学部]、[曜日：その他]から「体育2」、「体育3」を選択してください。

「体育2」の単位を取得していない場合、「体育3」のみを単独で履修することはできません。必ず「体育2」→「体育3」の順序、または2科目同時に履修してください。なお、看護医療学部生は「体育1」、「体育4」、「体育5」は履修できません。また、「体育2」、「体育3」の単位を取得後、自由科目として再履修することもできません。

〔体育システム〕

体育科目の予約、体育ノートの提出、レポートの提出を行うシステムです。

<https://wellness.sfc.keio.ac.jp/v3/>

12. 他学部他研究科学生の履修を制限する科目

【注意事項（全学部・全研究科）】

- 必ず事前に履修案内等を熟読し、他学部他研究科設置科目履修に必要な手続きをしてください。下記の科目以外にも、個々の授業によって履修の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
- 初回の授業で履修に関するガイダンスや履修の制限を行う場合があります。必ず初回の授業に出席してください。
- 所属学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくても履修できません。
- 秋からは履修できない科目もありますので、シラバスや時間割等で確認してください。

地区	学部	履修可能な学年	制限科目
三田	文学部	学部2年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修語学科目(文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照) ◆総合教育科目の系列科目(文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照) ◆卒業論文・卒業試験(研究会は履修可能) 条件付不可 なし 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修科目や、履修者数が多い場合は、文学部生優先となる場合があります。 *初回の授業で担当教員の許可(口頭)を得てください(秋学期科目の場合も春学期の履修申告時に許可を得ること。教員にコンタクトする方法がわからない場合は、文学部担当に問い合わせてください)。 *セット科目・要件科目は科目の性質上、履修できない場合があります。
		学部3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「社会思想 a/b」「欧米経済史 a/b」「日本経済史 a/b (中西君)」「経済学Ⅰ a/b」「財政論 a/b」「金融論 a」「現代資本主義論 a」「国際金融論 a/b (櫻川君)」「公共経済学 a/b (小沢君)」「経済政策のミクロ分析 a/b」「金融資産市場論 a/b」「経営学 a/b」「会計学 a/b」 ◆外国語科目の選択必修科目 *外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です(登録番号が異なります)。 ◆東京工業大学設置科目 条件付不可 ◆PCP科目、研究プロジェクト科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。
	法学部	学部3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「会計学Ⅰ/Ⅱ」「経営学Ⅰ/Ⅱ」「金融論Ⅰ」 ◆「国際私法Ⅰ/Ⅱ」 ◆「行政組織法Ⅰ/Ⅱ」 ◆「経済史Ⅰ/Ⅱ」(政治学科の学生のみが履修できます) 条件付不可 なし 優先される科目 なし
三田	商学部	学部3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「グローバル・ラーニングD」 ◆「インターンシップ」「国際ビジネス研究」 ◆「イノベーションの経営・商業」「経済学と法制度」「戦略の経営・会計」「戦略の経済・商業」 ◆「アラビア語 a・b」「朝鮮語(初級) a・b」 ◆「朝鮮語(中級) a・b」 ◆「経済学Ⅰ/Ⅱ」 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「専攻演習S」「専攻演習D」 *抽選後人数に余裕があり、初回の授業で授業担当者の了承を得られれば履修可能です。必ず事前に空き状況を三田学生部商学部担当に確認してください。(許可願(所定用紙)に授業担当者の了承印が必要です)。 ◆GPP科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> ◆「外国語演習S」「外国語演習D」「関連課題研究S」「関連課題研究D」 *履修希望者が多い場合は担当教員による選抜を行い、商学部生が優先されます。
		文学部	学部1年生

地区	学部	制限科目
三田	経済学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆基礎教育科目の必修科目 ◆外国語科目の必修科目、選択必修科目 ◆専門教育科目の必修科目 条件付不可 PEARL設置科目を履修する場合は、科目担当者及びPEARLアカデミック・ティレクターの許可を得る必要があります。 優先される科目 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。
		法学部
	商学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修外国語科目 ◆基礎科目・専攻科目・総合教育科目 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」 「商業学基礎」 「会計学基礎(基本簿記と財務諸表の見方)」「微積分基礎」「統計学基礎」 「経済学Ⅰ・Ⅱ」 「情報リテラシー基礎」 「データとの対話」 条件付不可 なし 優先される科目 上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。
三田	医学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語科目 ・医学基礎教育科目 ・基礎科学必修科目のうち実験科目 条件付不可 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。(上限あり。講義要綱・シラバス参照) 優先される科目 なし
		理工学部

地区	学部	制限科目
三田	薬学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 ◆講義・演習科目 条件付不可 (科目担当者の許可が必要です) 優先される科目 ◆すべての科目
	理工学部	<ol style="list-style-type: none"> なし 科目ごとではなく、履修希望学生の学力や、学習環境をもとに、科目担当者と学習指導副主任が判断し、履修許可します。 科目の履修にあたり理工学部への所定用紙提出が必要となりますので、履修希望者は http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikou/shotei_youshi.html を必ず参照し、所定の手続きをしてください。
三田	総合政策学部 環境情報学部 湘南藤沢(信濃町看護含む)	<ol style="list-style-type: none"> ◆卒業プロジェクト1 ◆卒業プロジェクト2 ◆心身ウェルネス ◆体育1 ◆体育2 ◆体育3 ◆体育4 ◆体育5 ◆SFC実践英語入門 ◆外国語ベーシック ◆外国語インテンシブ ◆外国語海外研修 *外国語ベーシック・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部・政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。
		看護医療学部
	信濃町	医学部
芝共立	薬学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 ◆条件付不可 ◆講義・演習科目 (科目担当者の許可が必要です) 優先される科目 ◆すべての科目

※最新情報を必ず以下のURLで確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubu.html>

Ⅲ. 試験・成績について

(1) 定期試験

定期試験の時間割や注意事項は、掲示およびWebにより、春学期末試験は7月中旬、秋学期末試験は1月上旬に発表されます。

「塾生の皆様へ」Web サイト→「定期試験・追加試験」

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/shiken/index.html>

〔学生証の携帯について〕

- ・定期試験を受験する際は、学生証を必ず携帯し、提示してください。
- ・試験当日、万一学生証を携帯しなかった場合は、必ず事務室窓口で仮学生証（発行当日限り全キャンパスで有効、図書館入館も可）の交付を受けてください。
- ・学生証または仮学生証を携帯せずに試験教室へ入室することは一切認められません。
- ・仮学生証発行手続により、試験教室への入室が遅れても試験時間の延長はありません。

〔遅刻等について〕

定期試験において、遅刻は試験開始20分まで認められます（試験時間の延長はありません）。ただし、遅刻理由が本人に過失のない電車遅延の場合、当該試験をそのまま受験するか、あるいは追加試験を受験するかは、本人の判断に依ります。電車遅延等により遅刻をしても試験開始20分以内に入室して受験した場合は追加試験の対象とはなりません。

また、試験開始30分以降終了10分前までは、試験答案を提出し途中退出することができます。

- ・他学部定期試験科目と時間割が重複した場合

他学部設置科目を履修し、看護医療学部で履修している科目と試験時間が重複した場合には、必ず他学部設置科目の試験を定期試験期間に受験してください。看護医療学部設置科目の試験は、追加試験申込期間に指定された手続きを行い、追加試験期間に受験してください。手続きの際は、追加試験申込用紙に、試験時間が重複した科目名・曜日時限・担当者を明記したうえ、追加試験申込期間に事務室窓口へ提出してください。この場合、理由書および受験料は必要ありません。

(2) 追加試験

追加試験は、履修申告を行った科目のうち、病気その他「やむを得ない理由」により定期試験を受けられなかった授業科目について、追加試験期間に施行します。最終授業時間内に試験を行った外国語科目、実習科目、その他定期試験を行わずレポート等により評価の定まる科目、定期試験期間以外で試験を行う科目では追加試験は行いません。

追加試験における学生証の携帯と遅刻については定期試験の取扱いと同様です。

- ・追加試験の手続き

追加試験申込用紙に記入のうえ科目数分の受験料を用意し、（申込用紙は事務室窓口で手続き期間中のみ交付します）病気の場合は診断書、その他やむを得ない理由の場合は理由書を添えて、指定された追加試験申込期間に事務室窓口へ提出してください。受験料は1科目につき2,000円です。

公共交通機関の遅延による場合には、遅延証明書を必ず提出してください。なお、この場合、受験料は必要ありません。

指定された書類の添付がない場合は、申込を受け付けません。

(3) レポートの提出

レポート提出の指示があった場合には、提出先、提出日を確認し、提出票を添付して事務室前レポートボックスに提出してください。受付期間は掲示等の指示に従ってください。締切後の提出は一切受け付けません。

(4) 不正行為	定期試験・追加試験・授業内試験・レポート等の評価にかかわるものにおいて不正行為があった場合には、学則第 188 条に基づいて減点・停学・退学等の処分が行われます。出典を書かずに Web サイトや書籍を引用したり、他者のレポートを流用することも不正行為の対象となりますので注意してください。																																								
(5) 成績評価体系	<p>2017 年度以降の看護医療学部設置科目は「① 2017 年度以降」の評価体系を、2016 年度以前の科目は「② 2016 年度以前」の評価体系を採用しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="555 421 1034 757"> <p>① 2017 年度以降</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>合否</th> <th>Grade Point</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td rowspan="4">合格</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>不合格</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td>合格</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>不合格</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>認定による合格</td> <td>対象外</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1129 421 1439 757"> <p>② 2016 年度以前</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>合否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td rowspan="3">合格</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> <tr> <td>C</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>★</td> <td>不合格 (未受験)</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>認定による合格</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>※入学年月日が 2017 年 3 月 31 日以前の場合、成績証明書に不合格の科目は記載されません。2017 年 4 月 1 日以降の場合、合否にかかわらず、すべての科目の成績が成績証明書に記載されます。</p> <p>※履修申告をした科目を学期途中で放棄した場合は、D (不合格) となります。</p> <p>※合格した科目の再履修はできません (他学部設置科目では例外があります)。</p> <p>※追加試験の採点基準について 病気その他やむを得ない理由による場合と、試験時間重複による場合のいずれも、定期試験の採点基準と同様とします。</p>	評語	合否	Grade Point	S	合格	4.0	A	3.0	B	2.0	C	1.0	D	不合格	0.0	P	合格	対象外	F	不合格	対象外	G	認定による合格	対象外	評語	合否	A	合格	B	C	D	不合格	★	不合格 (未受験)	P	合格	F	不合格	G	認定による合格
評語	合否	Grade Point																																							
S	合格	4.0																																							
A		3.0																																							
B		2.0																																							
C		1.0																																							
D	不合格	0.0																																							
P	合格	対象外																																							
F	不合格	対象外																																							
G	認定による合格	対象外																																							
評語	合否																																								
A	合格																																								
B																																									
C																																									
D	不合格																																								
★	不合格 (未受験)																																								
P	合格																																								
F	不合格																																								
G	認定による合格																																								
(6) GPA	<p>2017 年 4 月 1 日以降の入学者より成績証明書に GPA (Grade Point Average) が記載されます。算出方法は以下のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【★計算方法】 GP (Grade Point) : S : 4.0 A : 3.0 B : 2.0 C : 1.0 D : 0.0</p> $\frac{(S \text{ の単位数} \times 4) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + (C \text{ の単位数} \times 1) + (D \text{ の単位数} \times 0)}{SABCD \text{ の合計単位数}}$ <p>※評語が P, F, G の科目、自由科目は含めない。小数点第 3 位を四捨五入。</p> </div>																																								
(7) 成績評価基準	<p>看護医療学部の授業科目は、下記の基準 (点数) をもとに評価されます。</p> <p>S : 100 - 90 A : 89 - 80 B : 79 - 70 C : 69 - 60 D : 59 - (不合格、未受験含む)</p> <p>※履修申告をした科目を学期途中で放棄した場合は、D (不合格) となります。</p> <p>※合格した科目の再履修はできません (自由科目としての履修は可能なこともあります)。</p> <p>※追加試験の採点基準について 病気その他やむを得ない理由による場合と、試験時間重複による場合のいずれも、定期試験の採点基準と同様とします。</p>																																								
(8) 実習科目の出席日数	各科目について、2/3 以上の出席がなければ、欠席理由のいかんにかかわらず不合格となります。																																								

(9) 学業成績表	<p>春学期は9月5日、秋学期は3月10日に保証人宛に「学業成績表」を郵送します。SFC-SFSにログインし、慶應IDとパスワード入力することで学業成績表のWeb閲覧ができます。</p> <p>総合政策学部・環境情報学部の学期前半科目の成績は、春学期は6月20日、秋学期は12月6日に公開予定です（Web閲覧のみ）。</p> <p>成績証明書に取得した科目の成績が記載されるのは、翌学期以降となります。</p>						
(10) 成績質問制度	<p>「学業成績表」による成績は確定したのですが、履修した科目の成績評語に対して明確な事由をもって問い合わせたい場合、指定された期日までに、成績表と該当科目のシラバスおよび学生証を持参の上、事務室にある所定の用紙で申請してください（1、2、4年生はSFC、3年生は信濃町）。学習指導教員が判断し、条件を満たしている場合のみ科目担当教員へ問い合わせます。</p> <p>看護医療学部設置科目の成績質問受付期間は以下のとおりです。その他の学部の設置科目については、事務室までお問い合わせください。</p> <table border="1" data-bbox="552 656 1437 779"> <thead> <tr> <th>対象科目</th> <th>成績質問期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春学期科目</td> <td>9月5日（木）～9月10日（火）16：50（信濃町は16：45）</td> </tr> <tr> <td>秋学期科目</td> <td>3月10日（火）～3月13日（金）16：50（信濃町は16：45）</td> </tr> </tbody> </table>	対象科目	成績質問期間	春学期科目	9月5日（木）～9月10日（火）16：50（信濃町は16：45）	秋学期科目	3月10日（火）～3月13日（金）16：50（信濃町は16：45）
対象科目	成績質問期間						
春学期科目	9月5日（木）～9月10日（火）16：50（信濃町は16：45）						
秋学期科目	3月10日（火）～3月13日（金）16：50（信濃町は16：45）						
(11) 単位認定	<p>入学前に履修・修得した授業科目の単位認定を希望する場合は、その科目の講義要綱や資料等、授業内容がわかる書類および成績証明書（申し込み日からさかのぼって3ヶ月以内に発行されたもの）を添付して事務室にある所定の用紙で申請してください。申請の締切りは、春学期は5月末日、秋学期は10月末日です。ただし、申請は入学年度に限りません。認定された場合、成績評価はG（認定）となります。詳細については事務室で相談してください。</p> <p>また、「英語ⅠA」「英語ⅠB」「英語ⅡA」「英語ⅡB」についてはスコアによる単位認定が可能です。この場合は手続きが異なりますので、入学時に配布された資料を参照してください。</p> <p>なお、単位認定の上限は、一般入学生は60単位、第2学年学士編入学生は26単位です。</p>						

IV. 休学・就学・退学・留学

(1) 休学	<p>休学する場合は、所定の休学願を持参の上、学習指導教員と面接をした後に、速やかに事務室窓口に届け出てください。</p> <p>休学は、1年間（4月1日～翌年3月31日）または半期（4月1日～9月21日、9月22日～翌年3月31日）単位で届け出ることができます。春学期は5月末日、秋学期および通年休学は11月末日までに、事務室に休学願を提出してください。病気による休学の場合は、医師の診断書が必要です。また、外国語研修や留学による場合は、受入許可証等の資料を添付してください。</p> <p>休学願ダウンロードページ： http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/nmc/download.html</p>
(2) 休学中の授業料等の取扱い	<p>2009年度以降の入学者は、入学から1年間を除く休学期間中は授業料、施設設備費および実験実習費を減免します。ただし、兵役と正課・課外活動中の事故による傷害、地震・台風等の大規模な自然災害（激甚災害）の影響の場合は、入学から1年間についても授業料、施設設備費および実験実習費が減免されることがあります。</p>
(3) 就学	<p>休学期間が終了した場合は、必ず所定の就学届を事務室窓口に提出してください。病気・けがにより休学していた場合は、医師の診断書が必要です。</p> <p>就学届ダウンロードページ： http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/nmc/download.html</p>
(4) 退学	<p>退学する場合は、所定の退学届を持参の上、学習指導教員と面接をした後に、速やかに事務室窓口に届け出てください。学生証・ICカードの返却が必要です。</p> <p>年度途中での退学を希望する場合、在学期間中に取得した単位のみ有効になります。（例：2019年10月1日付退学の場合、2019年度春学期取得分の単位まで有効）</p> <p>退学届ダウンロードページ： http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/nmc/download.html</p>
(5) 留学	<p>学則第153条に基づき、あらかじめ「国外留学申請書」を提出し、教授会で認められると「留学」の認定を受けることができます。留学の場合は、学部在学期間に1年間を限度として算入されます。留学を希望する場合は、早めに事務室に申し出てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 留学として認められない場合には休学扱いになりますので、休学の手続きをしてください。 留学した年度は原則として進級できませんが、学則第144条の54の規定により留学中に取得した単位を単位認定された場合、教授会で許可されれば進級することができます。 留学以前に試験を受け、単位を取得できた科目については履修済みと認めます。

(6) 学則第 156 条による
退学

第 1・第 2 学年併せて 4 年在学し当該年度末に第 3 学年に進級し得ない者、第 3・第 4 学年併せて 4 年在学し当該年度末に卒業し得ない者は退学処分となります。また、第 1 学年もしくは第 3 学年在籍者で、第 1 学年もしくは第 3 学年に 3 年在学し当該年度末に進級し得ない者についても、学則第 156 条にもとづき退学処分となります。

半期休学した者については以下に注意してください。

〔第 1 学年および第 3 学年在籍者〕

年度末において第 1 学年の在学年数が 2.5 年の者、もしくは第 3 学年の在学年数が 2.5 年の者が原級となった場合、翌年度末まで在籍が認められます。ただし、在籍が認められた年度の秋学期のみの休学は認められません。(春学期のみの半期休学または春学期・秋学期の 1 年の休学は認められます。)

〔第 2 学年および第 4 学年在籍者〕

年度末において第 1・第 2 学年の在学年数が 3.5 年の者、もしくは第 3・第 4 学年の在学年数が 3.5 年の者が原級となった場合、翌年度末まで在籍が認められます。ただし、在籍が認められた年度の秋学期のみの休学は認められません。(春学期のみの半期休学または春学期・秋学期の 1 年の休学は認められます。)

また、第 1 学年もしくは第 3 学年の際に 3.5 年在籍の上、第 2 学年もしくは第 4 学年に進級した者については、第 2 学年もしくは第 4 学年で春学期のみ、または秋学期のみの半期休学は認められません。

(春学期・秋学期の 1 年の休学は認められます。)

V. 国際センター主催短期海外研修プログラム

全学部・研究科在籍生を対象に、夏季・春季休校期間中に開催されます。単なる語学研修でなく、講義やディスカッションのほか大学内の寮生活をはじめとする多彩な諸活動を通して様々な異文化交流を体験することで国際性豊かな学生を育成することを目的としており、短期間で集中して国外学習を経験できる貴重な機会になっています。現地への出発前には事前研修を実施します。変更や新たなプログラムが追加されることもありますので、国際センターホームページを確認してからご応募ください。

なお、プログラムは、自然災害、戦争、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する場合がありますことをあらかじめご了承ください。

問い合わせ先 学生部国際交流支援グループ（三田キャンパス）
<http://www.ic.keio.ac.jp/>
 「海外への留学」の「学内機関主催の短期プログラム」
 詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

<u>ガイダンス</u>	3月26日（火）	矢上	14棟201教室	13:40～14:30	
	4月3日（水）	日吉	①第4校舎独立館D101教室	10:00～11:00	
			②	13:00～14:00	
			③第4校舎B棟J21教室	16:00～17:00	
	4月5日（金）	三田	南校舎476教室	13:00～14:00	
4月5日（金）	SFC	Ω11教室（前半部分で留学ガイダンスを実施予定）	16:30～18:00		

夏季講座応募について

応募期間： 4月1日（月）～24日（水）
 選考結果発表： 5月16日（木）

①ノートルダム大学夏季講座

テーマ 日米ビジネス、現代米国の政治・経済・社会・文化

学部生へのビジネス教育と共にスポーツが盛んな大学としても有名なノートルダム大学で学びます。日米ビジネス、そして米国の政治・社会に重点を置いた講義と関連機関への郊外学習、シカゴへのフィールドトリップを通じて専門科目の知識および英語力の向上を目指します。

現地研修 2018年度参考

2018年8月3日（金）～8月16日（木）

単位数 2単位

募集人数 10～16名（学部生のみ対象）

②ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座

テーマ 米国の歴史・社会、日米比較

全米でハーバード大学に次ぐ歴史を誇り、独立宣言の起草者トマス・ジェファソンら3名の大統領を輩出した東部の名門大学で、日米比較を通じ米国文化について幅広く学びます。グループワークやワシントンDCへのフィールドトリップ、数多くの現地学生との交流機会もあります。

現地研修 2018年度参考

2018年8月3日（金）～8月18日（土）

単位数 4単位

募集人数 25名

③ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ夏季講座

テーマ 科学、国際ビジネス、国際関係論（いずれか1つ／今後変更の可能性あり）

前半2週間は英語の集中研修、後半2週間は複数の系列の中からテーマを1つ選択して受講します。自分の専攻分野を超えて、知識の幅を広げることも可能です。ケンブリッジ大学の学生がTA（Teaching Assistant）として同じ寮に宿泊しながら講座をサポートします。

現地研修 2018年度参考

2018年8月4日（土）～9月1日（土）

単位数 4単位

募集人数 50～60名

④オックスフォード大学クライスト・チャーチコレッジ夏季講座

テーマ 現代英国社会、国際ビジネス、国際関係論（いずれか1つ）

13名の英国の首相を輩出した、クライストチャーチ・コレッジで学ぶプログラムです。午前は英語の集中研修を行い、午後は複数の系列の中からテーマを1つ選択し学びます。宿泊するコレッジ内の学生寮での食事は、映画「ハリー・ポッター」の舞台となったダイニングホールを利用します。

現地研修 2018年度参考

2018年8月13日（月）～9月9日（日）

単位数 4単位

募集人数 50名

⑤オックスフォード大学リンカーン・コレッジ夏季講座

テーマ 英国の歴史・政治・文化、シェークスピア演劇

800年もの伝統を持つオックスフォード大学で、20名という少人数で集中的に学ぶことができます。午前はディベートや関連トピックの講義、午後はプロの演劇ディレクターが指導する演劇のワークショップが行われます。プログラム最終日にはシェークスピア演劇を通して上演します。

現地研修 2018年度参考

2018年8月17日（金）～9月1日（土）

単位数 4単位

募集人数 20名

⑥パリ政治学院春季講座

テーマ EUの政治・経済・社会・文化（使用言語：英語）

パリ中心部にある名門パリ政治学院で、EUの政治・経済・社会・文化およびEUと諸外国との国際関係について学びます。授業は英語で行われますが、フランス語を学ぶ機会もあります。EU関連機関の見学などのフィールドワークも組み込まれています。

現地研修 2018年度参考

2019年2月9日（土）～3月9日（土）

単位数 4単位

募集人数 6～15名

⑦クイーンズランド大学春季講座

テーマ 国際関係論

ブリスベンにある名門クイーンズランド大学で、国際関係学を学びます。多彩な講義のほか、州議会の訪問や政治の中心地である首都キャンベラへの2泊3日のショートトリップもあります。研修期間中の宿泊はホームステイが中心のため、現地家庭の生活を体験することができます。

現地研修 2018年度参考

2019年2月24日（日）～3月9日（土）

単位数 2単位

募集人数 15～20名

⑧シドニー大学春季講座

テーマ グローバルビジネスマネジメント、異文化理解

オーストラリアで最も歴史のある名門シドニー大学で、主にグローバルビジネスマネジメントと異文化コミュニケーションを学びます。英語研修や豪文化を体感できるアクティビティ、さらに後半2週間の現地家庭でのホームステイなど、多角的にオーストラリア文化を体感できます。

現地研修 2018年度参考

2019年2月26日（火）～3月19日（火）

単位数 2単位

募集人数 20名

⑨タフツ大学春季講座

テーマ 米国における対東アジア外交政策

世界的に有名なタフツ大学で、フレッチャースクールの講師等から米国の対東アジア外交政策について学べます。大きな転換期を迎えた米国を体感しながら、国際関係学の最高峰で学べるチャンスです。講義をより深く理解する助けとなるよう、講義内容に沿ったワークショップも受けられます。

現地研修 2018年度参考

2019年2月25日（月）～3月9日（土）

単位数 2単位

募集人数 10～15名

⑩シンガポールマネジメント大学春季講座

テーマ ソーシャル・イノベーション

アジア経済のハブであるシンガポールに滞在し、社会が抱える問題をどのように解決するか、その手法や社会的企業のモデルを学びます。シンガポールで理論を学んだ後、フィールドスタディのためアジアの第3国(2018年度はベトナム)に数日間滞在し、再びシンガポールに戻ってまとめのグループプレゼンテーションを行います。

現地研修 2018年度参考

2019年2月24日(日)～3月16日(土)

単位数 2単位

募集人数 10～15名

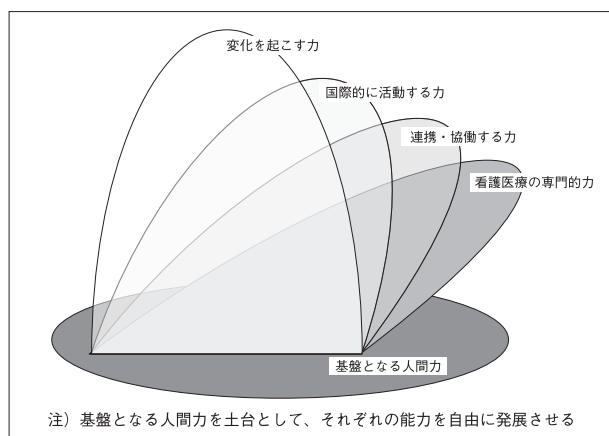
12 学則カリキュラム

I. カリキュラムの基本的な考え方

1. ディプロマポリシー：身につけてほしい5つの能力

看護医療学部は2001年に創設され、2016年に15周年を迎えました。学部の理念は慶應義塾の設立理念に沿って継承されたものですが、日進月歩する看護・医療の変化、看護・医療を取り巻く環境の変化に対応できるよう、2012年度から新しいカリキュラムが構成されています。

看護医療学部で学ぶ皆さんには、次の図に示した5つの力を身につけてほしいと考えています。



(1) 基盤となる人間力

幅広く社会への関心をもち、歴史をふまえて最近の現象をとらえ、人々と出会い交流し相互作用する力を養います。人との関係をつくり深めていく一方で、自分自身の倫理観や死生観といった価値観を確認し形成しながら、同様に人々の尊厳と価値観をも理解し、尊重できる人になるための力を養います。

(2) 看護医療の専門的力

ますます少子高齢化が進む今日の社会において、医療・保健制度の変化や国民のニーズに対応し、看護・医療を先導していけるように専門的力をしっかり身につけます。個人、家族、集団、コミュニティの人々の意思や価値観を擁護し、人々を総合的に理解し、医療全体を見渡して健康・生活の状況をアセスメントする力、実証性のある専門的知識に基づき健康生活をよりよい方向へ導くような看護を実践する力を身につけます。

(3) 連携・協働する力

医療の高度化やチーム医療の推進に対応し活躍できる医療職者となるために、医療機関内外で関連職種や関連機関と連携・協働する力を養います。自らの専門性を磨くとともに関連職種の専門能力を生かし、必要に応じて新たなシステムを生み出す力も身につけます。その一例として、看護医療学部、医学部、薬学部の3学部合同で学ぶ機会を設けています。専門の違う医療系3学部在籍する学生が、ともに学ぶことによってそれぞれの専門性を理解し尊重しあい、その専門の枠を超えてインタープロフェSSIONALに働くための基礎力を培います。

(4) 国際的に活動する力

将来、世界を舞台に活躍できる人材となるために、基礎的な力を身につけます。国際的な感覚をもち諸外国の人々との関係を形成すること、外国語を用いて思いや考えを表現すること、未知の世界に関心をもって学ぶことを自発的に行えるような力を養います。

(5) 変化を起こす力

看護・医療の中や社会全体の中で生じている、あるいは起こりうる問題を発見し、優先度を判断して問題解決する力を養います。既存の枠にこだわらず、自ら課題を発見して新たな発想でその課題に挑戦し、未知の世界を拓くことができる力を養います。

2. カリキュラムポリシー

「1. 看護医療学部で育成する人材」で示した5つの力を効果的に養えるよう、次の4領域・16分野を設けています。

1) 人間・社会科学領域

「情報技術」「自然言語」「ヒューマンケアリング」「制度・社会」

2) 健康科学領域

「健康科学・病態学」「先端医療」

3) 看護科学領域

「基礎看護学」「母性看護学/助産学」「老年看護学」「小児看護学」「成人看護学」

「精神看護学」「在宅看護学」「地域看護学」「グローバルヘルス」

4) 統合領域

「看護・医療統合」

1) 人間・社会科学領域

人間や社会を広く深く理解するための科目が配置されています。

情報通信技術を用いるための技法や保健衛生統計処理に関する知識・技法の修得と、医療の個人情報扱うことを想定して学習する「情報技術」、世界中の言語を学ぶことを通して豊かな表現力、コミュニケーション能力を養う「自然言語」、人間理解や看護の基礎に必要なコミュニケーション・スキルを修得することで、質の高い看護の提供とその提供者の感性との関係について学習する「ヒューマンケアリング」、社会生活における人間の福祉を守るシステムおよび看護・医療の役割、法的責任との関係などを学習する「制度・社会」の4つの分野から成り立っています。

2) 健康科学領域

心身の健康と健康破綻時の病態、およびその回復過程を理解するための科目が配置されています。

身体の仕組みや健康な状態での生体機能を学んだうえで、身体的病気が起こる仕組みや特徴的な病変、治療法、こころの病気が起こる仕組みや治療法などを学び、さらに、わたしたちを取りまく環境や生化学・生理学、栄養学など、健康に様々な影響を及ぼす要因についても学習する「健康科学・病態学」と、先端科学の進歩が人間生活にもたらす便利さ・快適さと、その反面にある倫理的な問題について学習する「先端医療」の2つの分野から成り立っています。

3) 看護科学領域

看護学の考え方には、人間をどうとらえるか、人間が生きて生活する環境をどうとらえるか、人間の健康をどうとらえるか、看護そのものをどうとらえるか、ということに関して様々な視点があります。本学部では以下の視点からとらえた9つの看護学分野でカリキュラムが作られています。

全分野の看護学を学ぶ際の基礎になるという視点での「基礎看護学」、健康の保持増進や発達を支援するという視点での「母性看護学/助産学」、「老年看護学」、「小児看護学」、健康障害時の看護と健康レベルという視点での「成人看護学」、こころの健康時・病気時の看護に焦点を当てる「精神看護学」、医療や看護を受ける場という視点、および家族単位での看護という視点での「在宅看護学」、家族が生活する地域コミュニティ単位で健康の保持・増進や病気時の看護を考える「地域看護学」、コミュニティからさらに視野を拡大して世界規模で人々の健康や医療・看護について学ぶ「グローバルヘルス」の9分野から成り立っています。

4) 統合領域

様々な視点からとらえた9つの看護学の分野全体を見渡し、医療とは何か、看護とは何かを改めて問い直すような科目が配置されています。健康レベルや治療方法が大きく変わる際の看護を学ぶ移行期看護や、看護分野にとどまらず医療全体を見渡すチーム医療、ナーシングマネジメントなどに加え、自分の関心のあるテーマを掘り下げて論理的に実証するプロジェクト科目などを配し、看護・医療の全体を統合し、看護学という学問を研究し発展させる「看護・医療統合」分野から成り立っています。

II. カリキュラムの基本構成

カリキュラムは、「I. カリキュラムの基本的な考え方」で示したとおり、4領域16分野から構成されています。

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修

領域	分野	必修科目	選択科目
人間・社会科学領域	情報技術	情報とネットワーク 看護情報リテラシー データサイエンス	マルチメディア表現 保健統計学 ヘルスケア情報学 プログラミング入門Ⅰ プログラミング入門Ⅱ
	自然言語	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	看護医療の英語Ⅰ 看護医療の英語Ⅱ
	ヒューマンケアリング	心の理解と共有	ストレスマネジメント 心理学 人間生命を考える コミュニケーションの理論と実際 ボランティア体験 体育2・3
	制度・社会	慶應義塾入門 保健医療福祉行政と政策	社会福祉原論 ☆ 世界の医療・保健制度Ⅰ（比較制度論） 世界の医療・保健制度Ⅱ（海外研修） 医療と経済 法学基礎Ⅰ（法律理解への基礎知識） 法学基礎Ⅱ（法律理解への実践知識）
健康科学領域	健康科学・病態学	人体探検 身体の構造と機能 健康論 環境論 病態学入門 急性期病態学総論 急性期病態学各論 慢性期病態学総論 慢性期病態学各論 精神病態学総論 精神病態学各論 終末期病態学 看護のための薬理学	看護のための生物学 看護のための栄養学 看護のための生化学・生理学
	先端医療		救急医学・救急看護 クリニカルエンジニアリングと医療安全管理 先端医療技術 遺伝と医療

領域	分野	必修科目	選択科目
看護科学領域	基礎看護学	今日の看護医療 ライフステージと発達看護論 看護学原論 看護と倫理 生命倫理 生活援助技術 医療支援技術 看護基本技術 基礎看護ケア実践Ⅰ（看護活動の実際） 基礎看護ケア実践Ⅱ（生活援助）	看護理論と実践 看護と哲学
	母性看護学 助産学	母性発達援助論 母性発達援助実践	性と生殖における健康と権利 ★ 助産理論 ★ 助産技術 ★ 助産管理 ★ 助産実践 ★
	老年看護学	老年発達援助論 老年発達援助実践	
	小児看護学	小児発達援助論 小児看護学 小児看護学演習 小児看護ケア実践	
	成人看護学	成人発達援助論 成人看護技術演習 急性期看護学 急性期看護学演習 急性期ケア実践 慢性期看護学 慢性期看護学演習 慢性期ケア実践 終末期看護学 終末期看護学演習 終末期ケア実践	
	精神看護学	精神看護学 精神看護学演習 精神ケア実践	
	在宅看護学	在宅看護論 在宅看護技術演習 在宅看護実践	家族看護学
	地域看護学	地域看護論 地域看護活動論 学校・産業保健	公衆衛生看護活動論 ☆ 公衆衛生看護管理展開論 ☆ 公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護） ☆ 公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護） ☆ ヘルスプロモーション実践 健康教育技法 ☆
	グローバルヘルス		プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅰ（開発援助論） プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ（海外研修） 臨床看護実践（海外研修）
	統合領域	医療統合・看護 移行期看護論 医療システムアプローチ実践 ナーシングマネジメント論 ナーシングマネジメント実践	研究デザイン法 先端看護学 プロジェクトⅠ（基礎） プロジェクトⅡ（応用）

Ⅲ. 学習指導要項

この学習指導要項では履修にあたっての注意、履修の方法、学則（別冊）の実際の運用方法や、学則には明示されていない細則について書いています。学則とこの学習指導要項を熟読し、ガイダンスでの説明も参考にしながら自己の責任において慎重に履修してください。理解できない点や不明な点は、必ず学習指導教員、事務室に尋ねて、誤りのないように十分注意してください。

また、学習指導要項や「看護医療学部ガイド」記載事項の変更、学習指導上の注意事項をはじめとする重要な事項は、必ずガイダンスや掲示板で指示しますので、掲示には絶えず注意を向けてください。

さらに、実際の運用に対応するため内容の追加・変更が生じることがありますので、各年度の「看護医療学部ガイド」記載の学習指導要項を毎年必ず確認してください。

ガイダンスでの注意に従わなかったこと、「看護医療学部ガイド」を読まなかったこと、掲示板を見なかったことにより進級や卒業に関わるトラブルが起きても、学生諸君の自己責任となることを肝に銘じてください。

編入学生は、「7. 第2学年学士編入学生カリキュラムについて」を、この学習指導要項と併せて確認してください。

1. 進級・卒業の条件

(1) 進級条件 (学則第 144 条の 59)	看護医療学部では、下記のとおり進級条件を設けています。 <u>進級条件を満たさない場合は留年（原級にとどまること）</u> となります。該当する学年に設定された必修科目を必ず履修し、単位を取得してください。留年した場合は、学習指導教員の指示のもと、不合格となった必修科目を再履修してください。
① 第2学年への進級	第1学年において1年以上在学した場合（休学期間除く）、第2学年に進級します。第1学年において不合格となった必修科目は、必ず第2学年で再履修してください。
② 第3学年への進級	第2学年において1年以上在学し（休学期間除く）、第1・第2学年において、これらの学年に配当された必修科目 60 単位を全て取得した場合、第3学年に進級します。
③ 第4学年への進級	第3学年において1年以上在学し（休学期間除く）、第3学年に配当された必修科目 36 単位を全て取得した場合、第4学年に進級します。
(2) 卒業条件 (学則第 144 条の 59、60)	下記の条件を全て満たすと卒業となります。 ① 第4学年において1年以上在学すること（休学期間除く）。 ② 第4学年に配当された必修科目 8 単位を全て取得すること。 ③ 入学後4年以上在学すること（休学期間除く）。 ④ 必修科目 104 単位（情報技術科目：必修 6 単位，自然言語科目：必修 4 単位，専門教育科目：必修 94 単位）を全て取得すること。 ⑤ 合計 124 単位以上取得すること。 ただし、自由科目として取得した単位は卒業に必要な 124 単位の中に入ることができません。

[進級・卒業必要単位数]

学年	必修科目	選択科目	合計
1, 2 年次 (湘南藤沢)	60 単位	20 単位以上	/
3 年次 (信濃町)	36 単位		
4 年次 (湘南藤沢)	8 単位		
卒業必要単位数	104 単位	20 単位以上	124 単位以上

(3) 進級・卒業の時期	看護医療学部では、進級・卒業の時期は年度末となります。9月の進級・卒業はありません。 進級・卒業のためには、当該年度末に在学していなければなりません。 秋学期に休学している場合は進級・卒業の対象となりません。 (必要単位を充足し1年以上在学していれば、春学期に半期休学してもその年度末に進級・卒業できる場合があります。)
(4) 学則第156条による退学	学則第156条により、次の場合には退学処分となります。 ① 第1・第2学年併せて4年在学し（休学期間除く）、当該年度末に第3学年に進級し得ない場合 ② 第3・第4学年併せて4年在学し（休学期間除く）、当該年度末に卒業し得ない場合 詳細は「履修案内 IV. (6)」を参照してください。

2. 必修科目の履修前提条件

「IV. 科目一覧」に示す設置学年に基づいて履修してください。上級学年に配当されたものは履修できません。次に示す履修前提条件を満たさなかった場合は、次学期以降の履修について制限が生じます。その場合は、履修申告時に学習指導教員と相談の上、履修可能な科目を履修申告してください。その他の履修前提条件は適宜指示します。

1) 実習科目履修の前提条件について

学生総合センターによるe-learning講座「大学生活における責任と危機管理」(keio.jpから受講)の受講が、実習科目履修の前提条件です。対象は新入生(1年生、2編生)と過年度受講していない者です。別途周知する指定期間内に受講を完了しなかった場合、実習科目の履修は認められません。また、AdobeのFlash Playerがインストールされていない端末や、スマートフォンやタブレット端末を利用した受講は避けてください。

2) 「看護科学領域(基礎看護学分野)2年次必修科目の履修前提条件

2年次秋学期に設置されている「基礎看護ケア実践Ⅱ(生活援助)」は、1年次秋学期および2年次春学期に設置されている下記科目の学期末試験の受験資格を満たしていることが履修の前提条件となります。

「生活援助技術」(1年次秋学期設置)

「医療支援技術」「看護基本技術」(2年次春学期設置)

3) 「看護科学領域(母性看護学/助産学分野, 老年看護学分野)2年次必修科目の履修前提条件

2年次秋学期に設置されている下記の科目については、2年次春学期に設置されている所定の科目の単位を取得しておくことが履修の前提条件となります。

(1) 「母性発達援助実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「母性発達援助論」

(2) 「老年発達援助実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「老年発達援助論」

4) 「看護科学領域」3年次必修科目の履修前提条件

3年次秋学期に設置されている下記の科目については、3年次春学期に設置されている所定の科目の単位を取得しておくことが履修の前提条件となります。

(1) 「慢性期ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「慢性期看護学」「成人看護技術演習」「慢性期看護学演習」

(2) 「急性期ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「急性期看護学」「成人看護技術演習」「急性期看護学演習」

(3) 「精神ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「精神看護学」

(4) 「終末期ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「終末期看護学」「終末期看護学演習」

(5) 「小児看護ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「小児看護学」「小児看護学演習」

3. 選択科目の履修

下記の曜日は実習科目が実施される予定のため、実習科目の履修が必要な学年は、選択科目（併設科目含む）や他学部等設置科目の履修はできません。

【2年生】秋学期：水曜日・木曜日

【3年生】秋学期：月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

【4年生】春学期：月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日

【重要】

4年生は実習実施日および必修科目講義日と重複しない科目に限り、選択科目や他学部等設置科目の履修が可能です。また、実習が行われない日の体育科目の履修が可能です。そのため、できる限り3年次秋学期までに、卒業に必要な選択科目を計画的に取得するようにしてください。

4. 保健師選択コース、助産師選択コース

選択資格を満たし、選抜を受けて履修許可を得た場合、4年次に保健師選択コースまたは助産師選択コースを選択することができます。

保健師選択コース、助産師選択コースには同時に出願することができますが、どちらか一方の履修を許可された場合、もう片方のコースの履修は許可されません。選択できるコースは必ずどちらか一方のみになりますので、以下の項目を熟読し、将来のことをよく考えて自身の希望するコースを選択してください。不明な点がある場合は、担当教員に確認してください。

5. 保健師選択コース

保健師選択コースについては以下のとおりです。

(1) 定員	保健師選択コースの定員の上限は、募集する年度について原則 20 名とします。
(2) 選択資格	<p>保健師選択コースを選択する学生は、3年次秋学期に在学し、以下の基準を満たしていなければなりません。</p> <p>[一般入学生]</p> <p>① 1, 2, 3年次設置必修科目の単位および 1, 2年次設置保健師選択コース必修科目の単位を取得している。</p> <p>② 選択科目（保健師選択コース必修科目を含む）について、16 単位以上取得している。</p> <p>③ 保健師資格を要する職業に就く意思がある。</p> <p>[第 2 学年学士編入学生]</p> <p>① 2, 3年次設置必修科目の単位および 1, 2年次設置保健師選択コース必修科目の単位を全て取得している。</p> <p>② 保健師資格を要する職業に就く意思がある。</p> <p>※ 1, 2, 4年次設定科目の「社会福祉原論」は 4年次にも履修できます。</p>
(3) 選抜	<p>3年次秋学期に翌年度の募集を行い、3年次秋学期末に成績、課題論文および面接による総合評価で選抜を行います。</p> <p>※ 保健師選択コース履修許可は、原則として許可された年度内に限り有効とします。</p>
(4) 費用	保健師選択コースの履修を許可された場合、学費とは別に、保健師選択コース料を納入しなければなりません。

(5) 国家試験受験資格・単位の取扱い	学則および規程により定められた卒業要件を満たした上で、次の保健師選択コース必修科目 11 単位を取得することにより保健師国家試験受験資格を得ることができます。なお、保健師選択コース必修科目の単位は卒業条件の選択科目に 4 単位まで加算することができます。																		
(6) 保健師選択コース必修科目	<table border="1"> <tr> <td>公衆衛生看護活動論</td> <td>2 単位</td> <td>2 年次設置</td> </tr> <tr> <td>健康教育技法</td> <td>1 単位</td> <td>1・2 年次設置</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生看護管理展開論</td> <td>2 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）</td> <td>4 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）</td> <td>1 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>社会福祉原論</td> <td>1 単位</td> <td>1・2・4 年次設置</td> </tr> </table>	公衆衛生看護活動論	2 単位	2 年次設置	健康教育技法	1 単位	1・2 年次設置	公衆衛生看護管理展開論	2 単位	4 年次設置	公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）	4 単位	4 年次設置	公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）	1 単位	4 年次設置	社会福祉原論	1 単位	1・2・4 年次設置
公衆衛生看護活動論	2 単位	2 年次設置																	
健康教育技法	1 単位	1・2 年次設置																	
公衆衛生看護管理展開論	2 単位	4 年次設置																	
公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）	4 単位	4 年次設置																	
公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）	1 単位	4 年次設置																	
社会福祉原論	1 単位	1・2・4 年次設置																	
(7) 履修等について	<ul style="list-style-type: none"> 保健師選択コース必修科目が不合格の場合、保健師国家試験受験資格は得られませんが、学則および規程により定められた卒業条件を満たせば卒業となります。 保健師選択コース必修科目が不合格の場合、次年度以降保健師選択コースを再履修することはできません。 「公衆衛生看護活動論」、「健康教育技法」、「社会福祉原論」は、保健師選択コースを選択しない場合でも履修できます。 																		
(8) 養護教諭 2 種免許状の申請	<p>教育職員免許法上に定められた 4 科目 8 単位を取得済であれば、卒業後、保健師免許状を基に、養護教諭 2 種免許状を申請することができます。教育職員免許状の申請は、居住地もしくは大学（看護医療学部）の所在地（神奈川県）の教育委員会となり、ご自分で申請することとなります。</p> <p>申請前に、必要書類をご自分で確認してください。</p> <p>4 科目 8 単位は次の科目が該当します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要項目</th> <th>対応科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本国憲法 2 単位</td> <td>法学基礎Ⅰ（3 年春）、 法学基礎Ⅱ（3 年秋）（選択・信濃町）</td> </tr> <tr> <td>体育 2 単位</td> <td>体育 2、3（選択・SFC）</td> </tr> <tr> <td>外国語コミュニケーション 2 単位</td> <td>英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB（必修・SFC） 看護医療の英語Ⅰ・Ⅱ（選択・SFC）</td> </tr> <tr> <td>情報機器の操作 2 単位</td> <td>情報とネットワーク、 データサイエンス（必修・SFC）</td> </tr> </tbody> </table>	必要項目	対応科目	日本国憲法 2 単位	法学基礎Ⅰ（3 年春）、 法学基礎Ⅱ（3 年秋）（選択・信濃町）	体育 2 単位	体育 2、3（選択・SFC）	外国語コミュニケーション 2 単位	英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB（必修・SFC） 看護医療の英語Ⅰ・Ⅱ（選択・SFC）	情報機器の操作 2 単位	情報とネットワーク、 データサイエンス（必修・SFC）								
必要項目	対応科目																		
日本国憲法 2 単位	法学基礎Ⅰ（3 年春）、 法学基礎Ⅱ（3 年秋）（選択・信濃町）																		
体育 2 単位	体育 2、3（選択・SFC）																		
外国語コミュニケーション 2 単位	英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB（必修・SFC） 看護医療の英語Ⅰ・Ⅱ（選択・SFC）																		
情報機器の操作 2 単位	情報とネットワーク、 データサイエンス（必修・SFC）																		

6. 助産師選択コース

助産師選択コースについては以下のとおりです。

4 年次までに履修しておくことが望ましい選択科目がありますので、希望者はコース担当教員に確認してください。

(1) 定員	助産師選択コースの定員の上限は、募集する年度について原則 6 名とします（2018 年度実績：4 名）。
(2) 選択資格	<p>助産師選択コースを選択する学生は、3 年次秋学期に在学し、以下の基準を満たしていなければなりません。</p> <p>[一般入学生]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1, 2, 3 年次設置必修科目の単位を全て取得している。 ② 選択科目を 16 単位以上取得している。 ③ 助産師資格を要する職業に就く意思がある。 <p>[第 2 学年学士編入学生]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2, 3 年次設置必修科目を全て単位取得している。 ② 助産師資格を要する職業に就く意思がある。

(3) 選抜	3 年次秋学期に次年度の募集を行い、3 年次秋学期末に成績と面接による総合評価で選抜を行います。 ※助産師選択コース履修許可は、原則として許可された年度内に限り有効とします。															
(4) 費用	助産師選択コースの履修を許可された場合、学費とは別に、助産師選択コース料を納入しなければなりません。															
(5) 国家試験受験資格・単位の取扱い	学則および規程により定められた卒業条件を満たした上で、次の助産師選択コース必修科目 21 単位を取得することにより助産師国家試験受験資格を得ることができます。なお、助産師選択コース必修科目の単位は卒業条件の選択科目に 4 単位まで加算することができます。															
(6) 助産師選択コース必修科目	<table border="1" data-bbox="571 584 1295 775"> <tr> <td>助産理論</td> <td>2 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>性と生殖における健康と権利</td> <td>2 単位</td> <td>1・2・4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産技術</td> <td>4 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産管理</td> <td>2 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産実践</td> <td>11 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> </table>	助産理論	2 単位	4 年次設置	性と生殖における健康と権利	2 単位	1・2・4 年次設置	助産技術	4 単位	4 年次設置	助産管理	2 単位	4 年次設置	助産実践	11 単位	4 年次設置
助産理論	2 単位	4 年次設置														
性と生殖における健康と権利	2 単位	1・2・4 年次設置														
助産技術	4 単位	4 年次設置														
助産管理	2 単位	4 年次設置														
助産実践	11 単位	4 年次設置														
(7) 履修等について	<ul style="list-style-type: none"> • 「助産実践」の履修は、「助産技術」で実施するすべての試験に合格していることを前提とします。 • 助産師選択コース必修科目が不合格の場合、助産師国家試験受験資格は得られませんが、学則および規程により定められた卒業条件を満たせば卒業となります。 • 助産師選択コース必修科目が不合格の場合、次年度以降助産師選択コースを再履修することはできません。 • 「性と生殖における健康と権利」は、助産師選択コースを選択しない場合でも履修できます。 <p>4 年次に助産師選択コースの履修を希望する学生は、助産の学習を深めるうえで下記の選択科目を履修していることが望ましいとされます。また、時間割の設置上 2 年次に履修できない場合があるため、1・2 年次設置科目はできるだけ 1 年次に履修することを推奨します。不明点は助産師選択コース担当教員に確認してください。「性と生殖における健康と権利」、「ストレスマネジメント」、「プライマリーヘルスケアと国際保健 I（開発援助論）」、「健康教育技法」、「クリニカルエンジニアリングと医療安全管理」</p>															

7. 第 2 学年学士編入学生カリキュラム（2013～2019 年度入学者）

(1) 卒業条件	<p>下記の条件を全て満たすと卒業となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 入学後 3 年以上在学すること（休学期間を除く）。 ② 必修科目 96 単位（情報技術科目：データサイエンス 2 単位、専門教育科目：必修 94 単位）を全て取得すること。
(2) 進級条件	<ol style="list-style-type: none"> ① 第 3 学年への進級 第 2 学年において 1 年以上在学し（休学期間除く）、この学年に担当された必修科目 49 単位を全て取得した場合、第 3 学年に進級します。 ② 第 4 学年への進級 第 3 学年において 1 年以上在学し（休学期間除く）、この学年に担当された必修科目 36 単位を全て取得した場合、第 4 学年に進級します。
(3) 在学年限	第 2 学年に 2 年在学し当該年度末に第 3 学年に進級し得ない者、第 3・第 4 学年併せて 4 年在学し当該年度末に卒業し得ない者は退学処分となります。

(4) 必修科目一覧

2 年次 (入学 1 年目)

分野名	科目名	地区	単位数	形態	開講学期	通常設置学年
制度・社会	慶應義塾入門	SFC	2	講義	春	1
制度・社会	保健医療福祉行政と政策	SFC	2	講義	春	2
健康科学・病態学	人体探検	SFC	2	講義	春	1
健康科学・病態学	環境論	SFC	2	講義	春	2
基礎看護学	今日の看護医療	SFC	2	講義	春	1
基礎看護学	ライフステージと発達看護論	SFC	2	演習	春	1
基礎看護学	看護学原論	SFC	2	講義	春	1
基礎看護学	看護と倫理	SFC	1	講義	春	2
基礎看護学	生活援助技術	SFC	2	演習	春※	1
基礎看護学	医療支援技術	SFC	2	演習	春	2
基礎看護学	看護基本技術	SFC	2	演習	春	2
母性看護学 / 助産学	母性発達援助論	SFC	2	演習	春	2
老年看護学	老年発達援助論	SFC	1	演習	春	2
小児看護学	小児発達援助論	SFC	1	講義	春	2
成人看護学	成人発達援助論	SFC	1	演習	春	2
情報技術	データサイエンス	SFC	2	講義	秋	1
健康科学・病態学	身体の構造と機能	SFC	2	講義	秋	1
健康科学・病態学	病態学入門	SFC	1	講義	秋	2
健康科学・病態学	慢性期病態学総論	SFC	1	講義	秋	2
健康科学・病態学	精神病態学総論	SFC	1	講義	秋	2
基礎看護学	基礎看護ケア実践Ⅰ (看護活動の実際)	SFC	1	実習	秋※	1
基礎看護学	基礎看護ケア実践Ⅱ (生活援助)	SFC	2	実習	秋	2
母性看護学 / 助産学	母性発達援助実践	SFC	2	実習	秋	2
老年看護学	老年発達援助実践	SFC	2	実習	秋	2
在宅看護学	在宅看護論	SFC	2	講義	秋	2
在宅看護学	在宅看護技術演習	SFC	1	演習	秋	2
地域看護学	地域看護論	SFC	2	講義	秋	1
地域看護学	地域看護活動論	SFC	2	講義	秋	2
地域看護学	学校・産業保健	SFC	2	講義	秋	2

3 年次 (入学 2 年目)

3 年次は一般入学生と同様の必修科目です。(「Ⅳ. 科目一覧 2.」を参照)

4 年次 (入学 3 年目)

分野名	科目名	地区	単位数	形態	開講学期	通常設置学年
在宅看護学	在宅看護実践	SFC	2	実習	春	4
看護・医療統合	医療システムアプローチ実践	信濃町	1	実習	春	4
看護・医療統合	ナーシングマネジメント論	SFC	2	講義	春	4
看護・医療統合	ナーシングマネジメント実践	信濃町	1	実習	春	4
ヒューマンケアリング	心の理解と共有	SFC	1	演習	秋※	1
健康科学・病態学	健康論	SFC	2	講義	秋	1
基礎看護学	生命倫理	信濃町	1	演習	秋	4
看護・医療統合	移行期看護論	信濃町	1	講義	秋	4

開講学期に※印のある科目は2編生特別クラスの履修になります。

(5) 履修前提条件

第2学年学士編入学生の履修前提条件は、一般入学生と同じです。

(6) 選択科目の履修

(4)で記載した第2学年学士編入学生の必修科目以外の、選択科目や他学部等設置科目は、必ず自由科目として履修申告をしてください。但し、4年次に保健師選択コース、助産師選択コースに選抜された際は、保健師、助産師それぞれの必修科目は、選択科目(保健師、助産師選択コース必修)として履修申告してください。

IV. 科目一覧 (2019年度)

1. 看護医療学部科目分野表

分野コードは各授業科目の種類・分野・分類別に以下のようにつけられています。看護医療学部で配布する時間割表に掲載されている授業科目(併設科目も含む)は、Web履修申告時に科目を登録するだけで自動的に分野が登録されますが、他学部設置科目や国際センター設置短期海外研修科目を履修する場合、また、自学部設置科目を自由科目として履修申告する場合には、必ず分野欄に「B欄分野番号」を登録してください。(詳細は「履修案内 II. 履修について」を参照)

履修申告不備者に送付される履修確認表および学期末に送付される学業成績表にはこの分野コードで各授業科目の種類が表示されますので、確認するようにしてください。

【2012 学則適用者科目分野表】

科目の種類	科目の分野	分 野	分野番号	B欄分野番号
情報技術科目	情報技術分野	1年次必修	10-01-01	
		選択	10-01-05	
自然言語科目	自然言語分野	1年次必修	20-01-01	
		選択	20-01-05	
専門教育科目	ヒューマンケアリング分野	1年次必修	30-01-01	
		選択	30-01-05	
	制度・社会分野	1年次必修	30-02-01	
		2年次必修	30-02-02	
		選択	30-02-05	
		選択(保健師選択コース必修)	30-02-07	
	健康科学・病態学分野	1年次必修	30-03-01	
		2年次必修	30-03-02	
		3年次必修	30-03-03	
		選択	30-03-05	
	先端医療分野	選択	30-04-05	
	基礎看護学分野	1年次必修	30-05-01	
		2年次必修	30-05-02	
		4年次必修	30-05-04	
		選択	30-05-05	
	母性看護学/助産学分野	2年次必修	30-06-02	
		選択(助産師選択コース必修)	30-06-06	
	老年看護学分野	2年次必修	30-07-02	
	小児看護学分野	2年次必修	30-08-02	
		3年次必修	30-08-03	
	成人看護学分野	2年次必修	30-09-02	
		3年次必修	30-09-03	
	精神看護学分野	3年次必修	30-10-03	
	在宅看護学分野	2年次必修	30-11-02	
		4年次必修	30-11-04	
		選択	30-11-05	
	地域看護学分野	1年次必修	30-12-01	
		2年次必修	30-12-02	
選択		30-12-05		
選択(保健師選択コース必修)		30-12-07		
グローバルヘルス分野	選択	30-13-05		
看護・医療統合分野	4年次必修	30-14-04		
	選択	30-14-05		
自主選択科目	他学部等設置科目	40-01-01	11	
	国七設置短期海外研修	40-01-02	55	
	留学認定科目	40-01-03		
自由科目		50-01-01	99	

※自主選択科目として取得した単位は、卒業に必要な単位(選択科目)として加算されます。

※自由科目として取得した単位は、卒業に必要な単位に加算されません。

2. 必修科目

1 年次必修科目 (地区・SFC)

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態
基礎看護学	今日の看護医療	小池智子 (他)	2	春	講義
情報技術	情報とネットワーク	宮川祥子 (他)	2	春	講義
情報技術	看護情報リテラシー	宮川祥子	2	春	演習
自然言語	英語 I A	バティ, アーロン	1	春	演習
自然言語	英語 I B	杉本なおみ	1	春	演習
ヒューマンケアリング	心の理解と共有	増田真也	1	春	演習
制度・社会	慶應義塾入門	山内慶太 (他)	2	春	講義
健康科学・病態学	人体探検	小林正弘 (他)	2	春	講義
基礎看護学	ライフステージと発達看護論	福田紀子 (他)	2	春	演習
基礎看護学	看護学原論	宮脇美保子	2	春	講義
情報技術	データサイエンス	杉山大典 (他)	2	秋	講義
自然言語	英語 II A	バティ, アーロン	1	秋	演習
自然言語	英語 II B	杉本なおみ (他)	1	秋	演習
健康科学・病態学	身体の構造と機能	加藤真三 (他)	2	秋	講義
健康科学・病態学	健康論	杉山大典 (他)	2	秋	講義
基礎看護学	生活援助技術	福井里佳 (他)	2	秋	演習
基礎看護学	基礎看護ケア実践 I (看護活動の実際) ㊟	山本亜矢 (他)	1	秋	実習
地域看護学	地域看護論	金子仁子 (他)	2	秋	講義

㊟成績評語が P・F の科目

2 年次必修科目 (地区・SFC)

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態
制度・社会	保健医療福祉行政と政策	永田智子 (他)	2	春	講義
健康科学・病態学	環境論	杉山大典 (他)	2	春	講義
基礎看護学	看護と倫理	宮脇美保子	1	春	講義
基礎看護学	医療支援技術	山本亜矢 (他)	2	春	演習
基礎看護学	看護基本技術	福井里佳 (他)	2	春	演習
母性看護学 / 助産学	母性発達援助論	藤井ひろみ (他)	2	春	演習
老年看護学	老年発達援助論	深堀浩樹 (他)	1	春	演習
小児看護学	小児発達援助論	富崎悦子 (他)	1	春	講義
成人看護学	成人発達援助論	新幡智子 (他)	1	春	演習
健康科学・病態学	病態学入門	大谷俊郎	1	秋	講義
健康科学・病態学	慢性期病態学総論	加藤真三	1	秋	講義
健康科学・病態学	精神病態学総論	山内慶太 (他)	1	秋	講義
基礎看護学	基礎看護ケア実践 II (生活援助)	福井里佳 (他)	2	秋	実習
母性看護学 / 助産学	母性発達援助実践	藤井ひろみ (他)	2	秋	実習
老年看護学	老年発達援助実践	深堀浩樹 (他)	2	秋	実習
在宅看護学	在宅看護論	永田智子 (他)	2	秋	講義
在宅看護学	在宅看護技術演習	永田智子 (他)	1	秋	演習
地域看護学	地域看護活動論	石川志麻 (他)	2	秋	講義
地域看護学	学校・産業保健	石川志麻 (他)	2	秋	講義

3年次必修科目（地区・信濃町）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態
健康科学・病態学	急性期病態学総論	大谷俊郎（他）	1	春	講義
健康科学・病態学	急性期病態学各論	大谷俊郎（他）	2	春	演習
健康科学・病態学	慢性期病態学各論	加藤眞三（他）	3	春	演習
健康科学・病態学	精神病態学各論	山内慶太（他）	1	春	演習
健康科学・病態学	終末期病態学	加藤眞三（他）	1	春	演習
小児看護学	小児看護学	戈木クレイグヒル滋子（他）	1	春	講義
小児看護学	小児看護学演習	添田英津子（他）	1	春	演習
成人看護学	成人看護技術演習	小松浩子（他）	1	春	演習
成人看護学	急性期看護学	武田祐子（他）	2	春	講義
成人看護学	急性期看護学演習	朴順禮（他）	1	春	演習
成人看護学	慢性期看護学	小松浩子（他）	2	春	講義
成人看護学	慢性期看護学演習	矢ヶ崎香（他）	1	春	演習
成人看護学	終末期看護学	小松浩子（他）	1	春	講義
成人看護学	終末期看護学演習	大坂和可子（他）	1	春	演習
精神看護学	精神看護学	野末聖香（他）	2	春	講義
健康科学・病態学	看護のための薬理学	杉山大典（他）	2	秋	講義
小児看護学	小児看護ケア実践	戈木クレイグヒル滋子（他）	2	秋	実習
成人看護学	急性期ケア実践	武田祐子（他）	3	秋	実習
成人看護学	慢性期ケア実践	矢ヶ崎香（他）	3	秋	実習
成人看護学	終末期ケア実践	大坂和可子（他）	2	秋	実習
精神看護学	精神看護学演習	福田紀子（他）	1	秋	演習
精神看護学	精神ケア実践	福田紀子（他）	2	秋	実習

4年次必修科目（地区・SFC／信濃町）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態	地区
看護・医療統合	医療システムアプローチ実践 ◎	武田祐子（他）	1	春	実習	信濃町
在宅看護学	在宅看護実践	永田智子（他）	2	春	実習	SFC
看護・医療統合	ナーシングマネジメント論	小池智子（他）	2	春	講義	SFC
看護・医療統合	ナーシングマネジメント実践	小池智子（他）	1	春	実習	信濃町
基礎看護学	生命倫理	宮脇美保子（他）	1	秋	演習	信濃町
看護・医療統合	移行期看護論	永田智子（他）	1	秋	講義	信濃町

◎成績評語がP・Fの科目

3. 選択科目

選択科目（地区・SFC）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	設置学年	形態
情報技術	マルチメディア表現	宮川祥子	2	秋	1・2・4	講義
情報技術	保健統計学	杉山大典	1	春	4	講義
情報技術	ヘルスケア情報学	宮川祥子（他）	2	秋	2・4	講義
自然言語	看護医療の英語Ⅰ	バティ, アーロン	2	秋	1・2・4	講義
自然言語	看護医療の英語Ⅱ◎	バティ, アーロン	2	秋	1・2・3	講義
ヒューマンケアリング	ストレスマネジメント	増田真也	2	秋	1・4	講義
ヒューマンケアリング	心理学	増田真也	2	春	1・2	講義
ヒューマンケアリング	人間生命を考える	増田真也（他）	2	秋	1・2	講義
ヒューマンケアリング	コミュニケーションの理論と実際	杉本なおみ	2	春	1	講義
ヒューマンケアリング	ボランティア体験	櫻田周三(非常勤講師)(他)	1	秋	1・2・3・4	演習
制度・社会	社会福祉原論 ☆	金子仁子（他）	1	秋	1・2・4	講義
制度・社会	世界の医療・保健制度Ⅰ（比較制度論）	山内慶太（他）	2	秋	1・2・4	講義
制度・社会	世界の医療・保健制度Ⅱ（海外研修）	小池智子（他）	2	秋	1・2・3・4	演習
制度・社会	医療と経済	山内慶太	2	秋	1・2・4	講義
健康科学・病態学	看護のための生物学	杉山大典（他）	2	春	1・2	講義
先端医療	遺伝と医療	武田祐子（他）	1	春	4	講義
基礎看護学	看護理論と実践	宮脇美保子	2	秋	1・2・4	講義
母性看護学 / 助産学	性と生殖における健康と権利 ★	藤井ひろみ（他）	2	秋	1・2・4	講義
母性看護学 / 助産学	助産理論 ★	辻恵子（他）	2	通年	4	演習
母性看護学 / 助産学	助産技術 ★	藤井ひろみ（他）	4	通年	4	演習
母性看護学 / 助産学	助産管理 ★	原田通子（他）	2	通年	4	講義
母性看護学 / 助産学	助産実践 ★	藤井ひろみ（他）	11	通年	4	実習
在宅看護学	家族看護学	永田智子	1	春	4	講義
地域看護学	公衆衛生看護活動論 ☆	金子仁子（他）	2	秋	2	演習
地域看護学	公衆衛生看護管理展開論 ☆	金子仁子（他）	2	春	4	演習
地域看護学	公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護） ☆	金子仁子（他）	4	通年	4	実習
地域看護学	公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護） ☆	金子仁子（他）	1	春	4	実習
地域看護学	ヘルスプロモーション実践	石川志麻（他）	1	秋	1・2	実習
地域看護学	健康教育技法 ☆	金子仁子（他）	1	春	1・2	演習
グローバルヘルス	プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅰ（開発援助論）	小池智子（他）	2	秋	1・2・4	講義
グローバルヘルス	プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ（海外研修）◎	小池智子（他）	2	秋	1・2・3	演習
看護・医療統合	研究デザイン法	増田真也（他）	1	春	4	講義
看護・医療統合	先端看護学	藤井千枝子（他）	2	秋	2・4	講義
看護・医療統合	プロジェクトⅠ（基礎）	教授・准教授・専任講師	1	春	4	演習
看護・医療統合	プロジェクトⅡ（応用）	教授・准教授・専任講師	2	秋	4	演習

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修 ◎成績評価がP・Fの科目

・「社会福祉原論」、「公衆衛生看護活動論」、「健康教育技法」、「性と生殖における健康と権利」は、コース選択者でなくても履修することができます。

選択科目（地区・信濃町）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	設置学年	形態
制度・社会	法学基礎Ⅰ（法律理解への基礎知識）	三田奈穂	2	春	3	講義
制度・社会	法学基礎Ⅱ（法律理解への実践知識）	霞信彦	2	秋	3	講義
健康科学・病態学	看護のための栄養学	杉山大典	2	春	3	講義
健康科学・病態学	看護のための生化学・生理学	杉山大典	2	秋	3・4	講義
先端医療	救急医学・救急看護	小林正弘（他）	1	秋	3・4	講義
先端医療	クリニカルエンジニアリングと医療安全管理	小林正弘（他）	2	秋	3・4	講義
先端医療	先端医療技術	小林正弘（他）	2	秋	3・4	講義
基礎看護学	看護と哲学	宮脇美保子（他）	2	秋	4	講義
グローバルヘルス	臨床看護実践（海外研修）	新幡智子（他）	2	秋	4	実習

選択科目（総合政策・環境情報学部併設科目）（地区・SFC） ※A欄・専門教育科目として履修申請してください。

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	設置学年	形態
情報技術	プログラミング入門Ⅰ	服部隆志(環境情報学部)(他)	2	春・秋	1・2・4※	演習
情報技術	プログラミング入門Ⅱ	服部隆志(環境情報学部)(他)	2	春・秋	1・2・4※	演習
ヒューマンケアリング	体育2	加藤貴昭(環境情報学部)(他)	1	春・秋	1・2・4	演習
ヒューマンケアリング	体育3	加藤貴昭(環境情報学部)(他)	1	春・秋	1・2・4	演習

※「プログラミング入門Ⅰ」「プログラミング入門Ⅱ」の総合政策・環境情報学部科目名は「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」です。

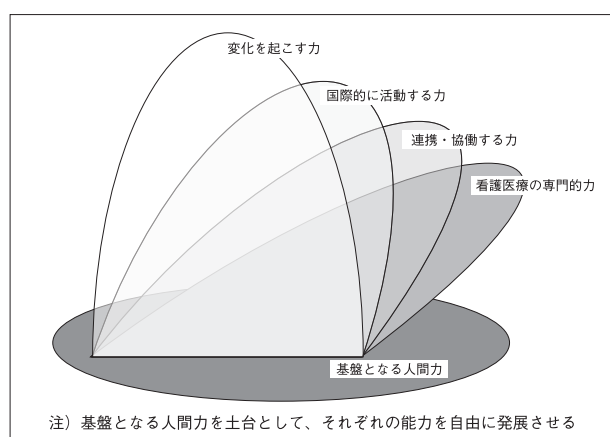
19 学則カリキュラム

I. カリキュラムの基本的な考え方

1. ディプロマポリシー：身につけてほしい5つの能力

看護医療学部は2001年に創設され、2016年に15周年を迎えました。学部の理念は慶應義塾の設立理念に沿って継承されたものですが、日進月歩する看護・医療の変化、看護・医療を取り巻く環境の変化に対応できるよう、2019年度から新しいカリキュラムが構成されています。

看護医療学部で学ぶ皆さんには、次の図に示した5つの力を身につけてほしいと考えています。



(1) 基盤となる人間力

幅広く社会への関心をもち、歴史をふまえて最近の現象をとらえ、人々との出会い交流し相互作用する力を養います。人との関係をつくり深めていく一方で、自分自身の倫理観や死生観といった価値観を確認し形成しながら、同様に人々の尊厳と価値観をも理解し、尊重できる人になるための力を養います。

(2) 看護医療の専門的力

ますます少子高齢化が進む今日の社会において、医療・保健制度の変化や国民のニーズに対応し、看護・医療を先導していけるように専門的力をしっかり身につけます。個人、家族、集団、コミュニティの人々の意思や価値観を擁護し、人々を総合的に理解し、医療全体を見渡して健康・生活の状況をアセスメントする力、実証性のある専門的知識に基づき健康生活をよりよい方向へ導くような看護を実践する力を身につけます。

(3) 連携・協働する力

医療の高度化やチーム医療の推進に対応し活躍できる医療職者となるために、医療機関内外で関連職種や関連機関と連携・協働する力を養います。自らの専門性を磨くとともに関連職種の専門能力を生かし、必要に応じて新たなシステムを生み出す力も身につけます。その一例として、看護医療学部、医学部、薬学部の3学部合同で学ぶ機会を設けています。専門の違う医療系3学部在籍する学生が、ともに学ぶことによってそれぞれの専門性を理解し尊重しあい、その専門の枠を超えてインタープロフェSSIONALに働くための基礎力を培います。

(4) 国際的に活動する力

将来、世界を舞台に活躍できる人材となるために、基礎的な力を身につけます。国際的な感覚をもち諸外国の人々との関係を形成すること、外国語を用いて思いや考えを表現すること、未知の世界に関心をもって学ぶことを自発的に行えるような力を養います。

(5) 変化を起こす力

看護・医療の中や社会全体の中で生じている、あるいは起こりうる問題を発見し、優先度を判断して問題解決する力を養います。既存の枠にこだわらず、自ら課題を発見して新たな発想でその課題に挑戦し、未知の世界を拓くことができる力を養います。

2. カリキュラムポリシー

「1. 看護医療学部で育成する人材」で示した5つの力を効果的に養えるよう、次の4領域・16分野を設けています。

1) 人間・社会科学領域

「情報技術」「自然言語」「ヒューマンケアリング」「制度・社会」

2) 健康科学領域

「健康科学・病態学」「先端医療」

3) 看護科学領域

「基礎看護学」「母性看護学/助産学」「老年看護学」「小児看護学」「成人看護学」

「精神看護学」「在宅看護学」「地域看護学」「グローバルヘルス」

4) 統合領域

「看護・医療統合」

1) 人間・社会科学領域

人間や社会を広く深く理解するための科目が配置されています。

情報通信技術を用いるための技法や保健衛生統計処理に関する知識・技法の修得と、医療の個人情報扱うことを想定して学習する「情報技術」、世界中の言語を学ぶことを通して豊かな表現力、コミュニケーション能力を養う「自然言語」、人間理解や看護の基礎に必要なコミュニケーション・スキルを修得することで、質の高い看護の提供とその提供者の感性との関係について学習する「ヒューマンケアリング」、社会生活における人間の福祉を守るシステムおよび看護・医療の役割、法的責任との関係などを学習する「制度・社会」の4つの分野から成り立っています。

2) 健康科学領域

心身の健康と健康破綻時の病態、およびその回復過程を理解するための科目が配置されています。

身体の仕組みや健康な状態での生体機能を学んだうえで、身体的病気が起こる仕組みや特徴的な病変、治療法、こころの病気が起こる仕組みや治療法などを学び、さらに、わたしたちを取りまく環境や生化学・生理学、栄養学など、健康に様々な影響を及ぼす要因についても学習する「健康科学・病態学」と、先端科学の進歩が人間生活にもたらす便利さ・快適さと、その反面にある倫理的な問題について学習する「先端医療」の2つの分野から成り立っています。

3) 看護科学領域

看護学の考え方には、人間をどうとらえるか、人間が生きて生活する環境をどうとらえるか、人間の健康をどうとらえるか、看護そのものをどうとらえるか、ということに関して様々な視点があります。本学部では以下の視点からとらえた9つの看護学分野でカリキュラムが作られています。

全分野の看護学を学ぶ際の基礎になるという視点での「基礎看護学」、健康の保持増進や発達を支援するという視点での「母性看護学/助産学」、「老年看護学」、「小児看護学」、健康障害時の看護と健康レベルという視点での「成人看護学」、こころの健康時・病気時の看護に焦点を当てる「精神看護学」、医療や看護を受ける場という視点、および家族単位での看護という視点での「在宅看護学」、家族が生活する地域コミュニティ単位で健康の保持・増進や病気時の看護を考える「地域看護学」、コミュニティからさらに視野を拡大して世界規模で人々の健康や医療・看護について学ぶ「グローバルヘルス」の9分野から成り立っています。

4) 統合領域

様々な視点からとらえた9つの看護学の分野全体を見渡し、医療とは何か、看護とは何かを改めて問い直すような科目が配置されています。健康レベルや治療方法が大きく変わる際の看護を学ぶ移行期看護や、看護分野にとどまらず医療全体を見渡すチーム医療、ナーシングマネジメントなどに加え、自分の関心のあるテーマを掘り下げて論理的に実証するプロジェクト科目などを配し、看護・医療の全体を統合し、看護学という学問を研究し発展させる「看護・医療統合」分野から成り立っています。

II. カリキュラムの基本構成

カリキュラムは、「I. カリキュラムの基本的な考え方」で示したとおり、4領域16分野から構成されています。

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修

領域	分野	必修科目	選択科目
人間・社会科学領域	情報技術	情報とネットワーク 看護情報リテラシー データサイエンス	マルチメディア表現 保健統計学 ヘルスケア情報学 プログラミング入門Ⅰ プログラミング入門Ⅱ
	自然言語	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	看護医療の英語Ⅰ 看護医療の英語Ⅱ
	ヒューマンケアリング	心の理解と共有	ストレスマネジメント 心理学 人間生命を考える コミュニケーションの理論と実際 ボランティア体験 体育2・3
	制度・社会	慶應義塾入門 保健医療福祉行政と政策	社会福祉原論 ☆ 世界の医療・保健制度Ⅰ（比較制度論） 世界の医療・保健制度Ⅱ（海外研修） 医療と経済 法学基礎Ⅰ（法律理解への基礎知識） 法学基礎Ⅱ（法律理解への実践知識）
健康科学領域	健康科学・病態学	人体探検 身体の構造と機能 健康論 環境論 病態学入門 急性期病態学総論 急性期病態学各論 慢性期病態学総論 慢性期病態学各論 精神病態学総論 精神病態学各論 終末期病態学 看護のための薬理学	看護のための生物学 看護のための栄養学 看護のための生化学・生理学
	先端医療		救急医学・救急看護 クリニカルエンジニアリングと医療安全管理 先端医療技術 遺伝と医療

領域	分野	必修科目	選択科目
看護科学領域	基礎看護学	今日の看護医療 ライフステージと発達看護論 看護学原論 看護と倫理 生命倫理 生活援助技術 医療支援技術 ヘルスアセスメント 看護過程 基礎看護ケア実践Ⅰ（看護活動の実際） 基礎看護ケア実践Ⅱ（生活援助）	看護理論と実践 看護と哲学
	母性看護学／助産学	母性発達援助論 母性発達援助実践	性と生殖における健康と権利 ★ 助産理論 ★ 助産診断・技術学Ⅰ（ローリスク妊産婦の診断とケア） ★ 助産診断・技術学Ⅱ（ハイリスク妊産婦の診断と治療） ★ 助産ケア学Ⅰ（ローリスクマタニティケア） ★ 助産ケア学Ⅱ（ハイリスクマタニティケア） ★ 助産管理 ★ 助産実践 ★
	看護学 老年	老年発達援助論 老年発達援助実践	
	小児看護学	小児発達援助論 小児看護学 小児看護学演習 小児看護ケア実践	
	成人看護学	成人発達援助論 成人看護技術演習 急性期看護学 急性期看護学演習 急性期ケア実践 慢性期看護学 慢性期看護学演習 慢性期ケア実践 終末期看護学 終末期看護学演習 終末期ケア実践	
	看護学 精神	精神看護学 精神看護学演習 精神ケア実践	
	看護学 在宅	在宅看護論 在宅看護技術演習 在宅看護実践	家族看護学
	地域看護学	地域看護論 地域看護活動論 学校・産業保健	公衆衛生看護活動論 ☆ 公衆衛生看護管理展開論 ☆ 公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護） ☆ 公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護） ☆ ヘルスプロモーション実践 健康教育技法 ☆
	グローバルヘルス	災害と看護	プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅰ（開発援助論） プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ（海外研修） 臨床看護実践（海外研修）
	統合領域	医療統合・看護	看護研究Ⅱ 先端看護学 プロジェクトⅠ（基礎） プロジェクトⅡ（応用）

Ⅲ. 学習指導要項

この学習指導要項では履修にあたっての注意、履修の方法、学則（別冊）の実際の運用方法や、学則には明示されていない細則について書いています。学則とこの学習指導要項を熟読し、ガイダンスでの説明も参考にしながら自己の責任において慎重に履修してください。理解できない点や不明な点は、必ず学習指導教員、事務室に尋ねて、誤りのないように十分注意してください。

また、学習指導要項や「看護医療学部ガイド」記載事項の変更、学習指導上の注意事項をはじめとする重要な事項は、必ずガイダンスや掲示板で指示しますので、掲示には絶えず注意を向けてください。

さらに、実際の運用に対応するため内容の追加・変更が生じることがありますので、各年度の「看護医療学部ガイド」記載の学習指導要項を毎年必ず確認してください。

ガイダンスでの注意に従わなかったこと、「看護医療学部ガイド」を読まなかったこと、掲示板を見なかったことにより進級や卒業に関わるトラブルが起きても、学生諸君の自己責任となることを肝に銘じてください。

編入学生は、「7. 第2学年学士編入学生カリキュラムについて」を、この学習指導要項と併せて確認してください。

1. 進級・卒業の条件

(1) 進級条件 (学則第 144 条の 59)	看護医療学部では、下記のとおり進級条件を設けています。 <u>進級条件を満たさない場合は留年（原級にとどまること）</u> となります。該当する学年に設定された必修科目を必ず履修し、単位を取得してください。留年した場合は、学習指導教員の指示のもと、不合格となった必修科目を再履修してください。
① 第2学年への進級	第1学年において1年以上在学した場合（休学期間除く）、第2学年に進級します。第1学年において不合格となった必修科目は、必ず第2学年で再履修してください。
② 第3学年への進級	第2学年において1年以上在学し（休学期間除く）、第1・第2学年において、これらの学年に配当された <u>必修科目 62 単位</u> を全て取得した場合、第3学年に進級します。
③ 第4学年への進級	第3学年において1年以上在学し（休学期間除く）、第3学年に配当された <u>必修科目 36 単位</u> を全て取得した場合、第4学年に進級します。
(2) 卒業条件 (学則第 144 条の 59、60)	下記の条件を全て満たすと卒業となります。 ① 第4学年において1年以上在学すること（休学期間除く）。 ② 第4学年に配当された <u>必修科目 8 単位</u> を全て取得すること。 ③ 入学後4年以上在学すること（休学期間除く）。 ④ <u>必修科目 106 単位</u> （情報技術科目：必修6単位，自然言語科目：必修4単位，専門教育科目：必修96単位）を全て取得すること。 ⑤ <u>合計 124 単位以上</u> 取得すること。 ただし、自由科目として取得した単位は卒業に必要な 124 単位の中に入ることができません。

[進級・卒業必要単位数]

学年	必修科目	選択科目	合計
1, 2 年次 (湘南藤沢)	62 単位	18 単位以上	/
3 年次 (信濃町)	36 単位		
4 年次 (湘南藤沢)	8 単位		
卒業必要単位数	106 単位	18 単位以上	124 単位以上

(3) 進級・卒業の時期	看護医療学部では、進級・卒業の時期は年度末となります。9月の進級・卒業はありません。 進級・卒業のためには、当該年度末に在学していなければなりません。 秋学期に休学している場合は進級・卒業の対象となりません。 (必要単位を充足し1年以上在学していれば、春学期に半期休学してもその年度末に進級・卒業できる場合があります。)
(4) 学則第156条による退学	学則第156条により、次の場合には退学処分となります。 ① 第1・第2学年併せて4年在学し（休学期間除く）、当該年度末に第3学年に進級し得ない場合 ② 第3・第4学年併せて4年在学し（休学期間除く）、当該年度末に卒業し得ない場合 詳細は「履修案内 IV. (6)」を参照してください。

2. 必修科目の履修前提条件

「IV. 科目一覧」に示す設置学年に基づいて履修してください。上級学年に配当されたものは履修できません。次に示す履修前提条件を満たさなかった場合は、次学期以降の履修について制限が生じます。その場合は、履修申告時に学習指導教員と相談の上、履修可能な科目を履修申告してください。その他の履修前提条件は適宜指示します。

1) 実習科目履修の前提条件について

学生総合センターによる e-learning 講座「大学生活における責任と危機管理」(keio.jp から受講)の受講が、実習科目履修の前提条件です。対象は新入生(1年生、2編生)と過年度受講していない者です。別途周知する指定期間内に受講を完了しなかった場合、実習科目の履修は認められません。また、AdobeのFlash Playerがインストールされていない端末や、スマートフォンやタブレット端末を利用した受講は避けてください。

2) 「看護科学領域(基礎看護学分野)」2年次必修科目の履修前提条件

2年次秋学期に設置されている「基礎看護ケア実践Ⅱ(生活援助)」は、1年次秋学期および2年次春学期に設置されている下記科目の学期末試験の受験資格を満たしていることが履修の前提条件となります。

「生活援助技術」(1年次秋学期設置)

「医療支援技術」「看護基本技術」(2年次春学期設置)

3) 「看護科学領域(母性看護学/助産学分野, 老年看護学分野)」2年次必修科目の履修前提条件

2年次秋学期に設置されている下記の科目については、2年次春学期に設置されている所定の科目の単位を取得しておくことが履修の前提条件となります。

(1) 「母性発達援助実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「母性発達援助論」

(2) 「老年発達援助実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「老年発達援助論」

4) 「看護科学領域」3年次必修科目の履修前提条件

3年次秋学期に設置されている下記の科目については、3年次春学期に設置されている所定の科目の単位を取得しておくことが履修の前提条件となります。

(1) 「慢性期ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「慢性期看護学」「成人看護技術演習」「慢性期看護学演習」

(2) 「急性期ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「急性期看護学」「成人看護技術演習」「急性期看護学演習」

(3) 「精神ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「精神看護学」

(4) 「終末期ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「終末期看護学」「終末期看護学演習」

(5) 「小児看護ケア実践」の履修のために単位取得すべき科目:

「小児看護学」「小児看護学演習」

3. 選択科目の履修

下記の曜日は実習科目が実施される予定のため、実習科目の履修が必要な学年は、選択科目（併設科目含む）や他学部等設置科目の履修はできません。

【2年生】秋学期：水曜日・木曜日

【3年生】秋学期：月曜日・火曜日・木曜日・金曜日

【4年生】春学期：月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日

【重要】

4年生は実習実施日および必修科目講義日と重複しない科目に限り、選択科目や他学部等設置科目の履修が可能です。また、実習が行われない日の体育科目の履修が可能です。そのため、できる限り3年次秋学期までに、卒業に必要な選択科目を計画的に取得するようにしてください。

4. 保健師選択コース、助産師選択コース

選択資格を満たし、選抜を受けて履修許可を得た場合、4年次に保健師選択コースまたは助産師選択コースを選択することができます。

保健師選択コース、助産師選択コースには同時に出願することができますが、どちらか一方の履修を許可された場合、もう片方のコースの履修は許可されません。選択できるコースは必ずどちらか一方のみになりますので、以下の項目を熟読し、将来のことをよく考えて自身の希望するコースを選択してください。不明な点がある場合は、担当教員に確認してください。

5. 保健師選択コース

保健師選択コースについては以下のとおりです。

(1) 定員	保健師選択コースの定員の上限は、募集する年度について原則 20 名とします。
(2) 選択資格	<p>保健師選択コースを選択する学生は、3年次秋学期に在学し、以下の基準を満たしていなければなりません。</p> <p>[一般入学生]</p> <p>① 1, 2, 3年次設置必修科目の単位および 1, 2年次設置保健師選択コース必修科目の単位を取得している。</p> <p>② 選択科目（保健師選択コース必修科目を含む）について、14 単位以上取得している。</p> <p>③ 保健師資格を要する職業に就く意思がある。</p> <p>[第 2 学年学士編入学生]</p> <p>① 2, 3年次設置必修科目の単位および 1, 2年次設置保健師選択コース必修科目の単位を全て取得している。</p> <p>② 保健師資格を要する職業に就く意思がある。</p> <p>※ 1, 2, 4年次設定科目の「社会福祉原論」は 4年次にも履修できます。</p>
(3) 選抜	<p>3年次秋学期に翌年度の募集を行い、3年次秋学期末に成績、課題論文および面接による総合評価で選抜を行います。</p> <p>※ 保健師選択コース履修許可は、原則として許可された年度内に限り有効とします。</p>
(4) 費用	保健師選択コースの履修を許可された場合、学費とは別に、保健師選択コース料を納入しなければなりません。

(5) 国家試験受験資格・単位の取扱い	学則および規程により定められた卒業要件を満たした上で、次の保健師選択コース必修科目 11 単位を取得することにより保健師国家試験受験資格を得ることができます。なお、保健師選択コース必修科目の単位は卒業条件の選択科目に 4 単位まで加算することができます。																		
(6) 保健師選択コース必修科目	<table border="1"> <tr> <td>公衆衛生看護活動論</td> <td>2 単位</td> <td>2 年次設置</td> </tr> <tr> <td>健康教育技法</td> <td>1 単位</td> <td>1・2 年次設置</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生看護管理展開論</td> <td>2 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）</td> <td>4 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）</td> <td>1 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>社会福祉原論</td> <td>1 単位</td> <td>1・2・4 年次設置</td> </tr> </table>	公衆衛生看護活動論	2 単位	2 年次設置	健康教育技法	1 単位	1・2 年次設置	公衆衛生看護管理展開論	2 単位	4 年次設置	公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）	4 単位	4 年次設置	公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）	1 単位	4 年次設置	社会福祉原論	1 単位	1・2・4 年次設置
公衆衛生看護活動論	2 単位	2 年次設置																	
健康教育技法	1 単位	1・2 年次設置																	
公衆衛生看護管理展開論	2 単位	4 年次設置																	
公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）	4 単位	4 年次設置																	
公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）	1 単位	4 年次設置																	
社会福祉原論	1 単位	1・2・4 年次設置																	
(7) 履修等について	<ul style="list-style-type: none"> 保健師選択コース必修科目が不合格の場合、保健師国家試験受験資格は得られませんが、学則および規程により定められた卒業条件を満たせば卒業となります。 保健師選択コース必修科目が不合格の場合、次年度以降保健師選択コースを再履修することはできません。 「公衆衛生看護活動論」、「健康教育技法」、「社会福祉原論」は、保健師選択コースを選択しない場合でも履修できます。 																		
(8) 養護教諭 2 種免許状の申請	<p>教育職員免許法上に定められた 4 科目 8 単位を取得済であれば、卒業後、保健師免許状を基に、養護教諭 2 種免許状を申請することができます。教育職員免許状の申請は、居住地もしくは大学（看護医療学部）の所在地（神奈川県）の教育委員会となり、ご自分で申請することとなります。</p> <p>申請前に、必要書類をご自分で確認してください。</p> <p>4 科目 8 単位は次の科目が該当します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要項目</th> <th>対応科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本国憲法 2 単位</td> <td>法学基礎Ⅰ（3 年春）、 法学基礎Ⅱ（3 年秋）（選択・信濃町）</td> </tr> <tr> <td>体育 2 単位</td> <td>体育 2、3（選択・SFC）</td> </tr> <tr> <td>外国語コミュニケーション 2 単位</td> <td>英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB（必修・SFC） 看護医療の英語Ⅰ・Ⅱ（選択・SFC）</td> </tr> <tr> <td>情報機器の操作 2 単位</td> <td>情報とネットワーク、 データサイエンス（必修・SFC）</td> </tr> </tbody> </table>	必要項目	対応科目	日本国憲法 2 単位	法学基礎Ⅰ（3 年春）、 法学基礎Ⅱ（3 年秋）（選択・信濃町）	体育 2 単位	体育 2、3（選択・SFC）	外国語コミュニケーション 2 単位	英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB（必修・SFC） 看護医療の英語Ⅰ・Ⅱ（選択・SFC）	情報機器の操作 2 単位	情報とネットワーク、 データサイエンス（必修・SFC）								
必要項目	対応科目																		
日本国憲法 2 単位	法学基礎Ⅰ（3 年春）、 法学基礎Ⅱ（3 年秋）（選択・信濃町）																		
体育 2 単位	体育 2、3（選択・SFC）																		
外国語コミュニケーション 2 単位	英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB（必修・SFC） 看護医療の英語Ⅰ・Ⅱ（選択・SFC）																		
情報機器の操作 2 単位	情報とネットワーク、 データサイエンス（必修・SFC）																		

6. 助産師選択コース

助産師選択コースについては以下のとおりです。

4 年次までに履修しておくことが望ましい選択科目がありますので、希望者はコース担当教員に確認してください。

(1) 定員	助産師選択コースの定員の上限は、募集する年度について原則 6 名とします（2018 年度実績：4 名）。
(2) 選択資格	<p>助産師選択コースを選択する学生は、3 年次秋学期に在学し、以下の基準を満たしていなければなりません。</p> <p>[一般入学生]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1, 2, 3 年次設置必修科目の単位を全て取得している。 ② 選択科目を 14 単位以上取得している。 ③ 助産師資格を要する職業に就く意思がある。 <p>[第 2 学年学士編入学生]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2, 3 年次設置必修科目を全て単位取得している。 ② 助産師資格を要する職業に就く意思がある。

(3) 選抜	3 年次秋学期に次年度の募集を行い、3 年次秋学期末に成績と面接による総合評価で選抜を行います。 ※助産師選択コース履修許可は、原則として許可された年度内に限り有効とします。																								
(4) 費用	助産師選択コースの履修を許可された場合、学費とは別に、助産師選択コース料を納入しなければなりません。																								
(5) 国家試験受験資格・単位の取扱い	学則および規程により定められた卒業条件を満たした上で、次の助産師選択コース必修科目 21 単位を取得することにより助産師国家試験受験資格を得ることができます。なお、助産師選択コース必修科目の単位は卒業条件の選択科目に 4 単位まで加算することができます。																								
(6) 助産師選択コース必修科目	<table border="1"> <tr> <td>助産理論</td> <td>2 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>性と生殖における健康と権利</td> <td>2 単位</td> <td>1・2・4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産診断・技術学Ⅰ（ローリスク妊産婦の診断とケア）</td> <td>1 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産診断・技術学Ⅱ（ハイリスク妊産婦の診断と治療）</td> <td>1 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産ケア学Ⅰ（ローリスクマタニティケア）</td> <td>1 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産ケア学Ⅱ（ハイリスクマタニティケア）</td> <td>1 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産管理</td> <td>2 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> <tr> <td>助産実践</td> <td>11 単位</td> <td>4 年次設置</td> </tr> </table>	助産理論	2 単位	4 年次設置	性と生殖における健康と権利	2 単位	1・2・4 年次設置	助産診断・技術学Ⅰ（ローリスク妊産婦の診断とケア）	1 単位	4 年次設置	助産診断・技術学Ⅱ（ハイリスク妊産婦の診断と治療）	1 単位	4 年次設置	助産ケア学Ⅰ（ローリスクマタニティケア）	1 単位	4 年次設置	助産ケア学Ⅱ（ハイリスクマタニティケア）	1 単位	4 年次設置	助産管理	2 単位	4 年次設置	助産実践	11 単位	4 年次設置
助産理論	2 単位	4 年次設置																							
性と生殖における健康と権利	2 単位	1・2・4 年次設置																							
助産診断・技術学Ⅰ（ローリスク妊産婦の診断とケア）	1 単位	4 年次設置																							
助産診断・技術学Ⅱ（ハイリスク妊産婦の診断と治療）	1 単位	4 年次設置																							
助産ケア学Ⅰ（ローリスクマタニティケア）	1 単位	4 年次設置																							
助産ケア学Ⅱ（ハイリスクマタニティケア）	1 単位	4 年次設置																							
助産管理	2 単位	4 年次設置																							
助産実践	11 単位	4 年次設置																							
(7) 履修等について	<ul style="list-style-type: none"> 「助産実践」の履修は、「助産診断・技術学Ⅰ（ローリスク妊産婦の診断とケア）」、「助産ケア学Ⅰ（ローリスクマタニティケア）」、「助産ケア学Ⅱ（ハイリスクマタニティケア）」で実施するすべての試験に合格していることを前提とします。 助産師選択コース必修科目が不合格の場合、助産師国家試験受験資格は得られません。学則および規程により定められた卒業条件を満たせば卒業となります。 助産師選択コース必修科目が不合格の場合、次年度以降助産師選択コースを再履修することはできません。 「性と生殖における健康と権利」は、助産師選択コースを選択しない場合でも履修できます。 <p>4 年次に助産師選択コースの履修を希望する学生は、助産の学習を深めるうえで下記の選択科目を履修していることが望ましいとされます。また、時間割の設置上 2 年次に履修できない場合があるため、1・2 年次設置科目はできるだけ 1 年次に履修することを推奨します。不明点は助産師選択コース担当教員に確認してください。「性と生殖における健康と権利」、「ストレスマネジメント」、「プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅰ（開発援助論）」、「健康教育技法」、「クリニカルエンジニアリングと医療安全管理」</p>																								

7. 第 2 学年学士編入学生カリキュラム（2020 年度以降入学者）

(1) 卒業条件	<p>下記の条件を全て満たすと卒業となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 入学後 3 年以上在学すること（休学期間を除く）。 ② 必修科目 98 単位（情報技術科目：データサイエンス 2 単位、専門教育科目：必修 96 単位）を全て取得すること。
(2) 進級条件	<ol style="list-style-type: none"> ① 第 3 学年への進級 第 2 学年において 1 年以上在学し（休学期間除く）、この学年に担当された必修科目 51 単位を全て取得した場合、第 3 学年に進級します。 ② 第 4 学年への進級 第 3 学年において 1 年以上在学し（休学期間除く）、この学年に担当された必修科目 36 単位を全て取得した場合、第 4 学年に進級します。
(3) 在学年限	第 2 学年に 2 年在学し当該年度末に第 3 学年に進級し得ない者、第 3・第 4 学年併せて 4 年在学し当該年度末に卒業し得ない者は退学処分となります。

(4) 必修科目一覧

2 年次 (入学 1 年目)

分野名	科目名	地区	単位数	形態	開講学期	通常設置学年
制度・社会	慶應義塾入門	SFC	2	講義	春	1
制度・社会	保健医療福祉行政と政策	SFC	2	講義	春	2
健康科学・病態学	人体探検	SFC	2	講義	春	1
健康科学・病態学	環境論	SFC	2	講義	春	2
基礎看護学	今日の看護医療	SFC	2	講義	春	1
基礎看護学	ライフステージと発達看護論	SFC	2	演習	春	1
基礎看護学	看護学原論	SFC	2	講義	春	1
基礎看護学	看護と倫理	SFC	1	講義	春	2
基礎看護学	生活援助技術	SFC	2	演習	春※	1
基礎看護学	医療支援技術	SFC	2	演習	春	2
基礎看護学	ヘルスアセスメント	SFC	1	演習	春	2
基礎看護学	看護過程	SFC	1	演習	春	2
母性看護学 / 助産学	母性発達援助論	SFC	2	演習	春	2
老年看護学	老年発達援助論	SFC	1	演習	春	2
小児看護学	小児発達援助論	SFC	1	講義	春	2
成人看護学	成人発達援助論	SFC	1	演習	春	2
情報技術	データサイエンス	SFC	2	講義	秋	1
健康科学・病態学	身体の構造と機能	SFC	2	講義	秋	1
健康科学・病態学	病態学入門	SFC	1	講義	秋	2
健康科学・病態学	慢性期病態学総論	SFC	1	講義	秋	2
健康科学・病態学	精神病態学総論	SFC	1	講義	秋	2
基礎看護学	基礎看護ケア実践Ⅰ (看護活動の実際)	SFC	1	実習	秋※	1
基礎看護学	基礎看護ケア実践Ⅱ (生活援助)	SFC	2	実習	秋	2
母性看護学 / 助産学	母性発達援助実践	SFC	2	実習	秋	2
老年看護学	老年発達援助実践	SFC	2	実習	秋	2
在宅看護学	在宅看護論	SFC	2	講義	秋	2
在宅看護学	在宅看護技術演習	SFC	1	演習	秋	2
地域看護学	地域看護論	SFC	2	講義	秋	1
地域看護学	地域看護活動論	SFC	2	講義	秋	2
地域看護学	学校・産業保健	SFC	2	講義	秋	2
グローバルヘルス	災害と看護	SFC	1	講義	秋	2
看護・医療統合	看護研究Ⅰ	SFC	1	講義	秋	2

3 年次 (入学 2 年目)

3 年次は一般入学生と同様の必修科目です。(「Ⅳ. 科目一覧 2.」を参照)

4 年次 (入学 3 年目)

分野名	科目名	地区	単位数	形態	開講学期	通常設置学年
在宅看護学	在宅看護実践	SFC	2	実習	春	4
看護・医療統合	医療システムアプローチ実践	信濃町	1	実習	春	4
看護・医療統合	ナーシングマネジメント論	SFC	2	講義	春	4
看護・医療統合	ナーシングマネジメント実践	信濃町	1	実習	春	4
ヒューマンケアリング	心の理解と共有	SFC	1	演習	秋※	1
健康科学・病態学	健康論	SFC	2	講義	秋	1
基礎看護学	生命倫理	信濃町	1	演習	秋	4
看護・医療統合	移行期看護論	信濃町	1	講義	秋	4

開講学期に※印のある科目は 2 編生特別クラスの履修になります。

(5) 履修前提条件

第 2 学年学士編入学生の履修前提条件は、一般入学生と同じです。

(6) 選択科目の履修

(4)で記載した第 2 学年学士編入学生の必修科目以外の、選択科目や他学部等設置科目は、必ず自由科目として履修申告をしてください。但し、4 年次に保健師選択コース、助産師選択コースに選抜された際は、保健師、助産師それぞれの必修科目は、選択科目 (保健師、助産師選択コース必修) として履修申告してください。

IV. 科目一覧 (2019年度)

1. 看護医療学部科目分野表

分野コードは各授業科目の種類・分野・分類別に以下のようにつけられています。看護医療学部で配布する時間割表に掲載されている授業科目(併設科目も含む)は、Web履修申告時に科目を登録するだけで自動的に分野が登録されますが、他学部設置科目や国際センター設置短期海外研修科目を履修する場合、また、自学部設置科目を自由科目として履修申告する場合には、必ず分野欄に「B欄分野番号」を登録してください。(詳細は「履修案内 II. 履修について」を参照)

履修申告不備者に送付される履修確認表および学期末に送付される学業成績表にはこの分野コードで各授業科目の種類が表示されますので、確認するようにしてください。

【2019 学則適用者科目分野表】

科目の種類	科目の分野	分 野	分野番号	B欄分野番号
情報技術科目	情報技術分野	1年次必修	10-01-01	
		選択	10-01-05	
自然言語科目	自然言語分野	1年次必修	20-01-01	
		選択	20-01-05	
専門教育科目	ヒューマンケアリング分野	1年次必修	30-01-01	
		選択	30-01-05	
	制度・社会分野	1年次必修	30-02-01	
		2年次必修	30-02-02	
		選択	30-02-05	
		選択(保健師選択コース必修)	30-02-07	
	健康科学・病態学分野	1年次必修	30-03-01	
		2年次必修	30-03-02	
		3年次必修	30-03-03	
		選択	30-03-05	
	先端医療分野	選択	30-04-05	
	基礎看護学分野	1年次必修	30-05-01	
		2年次必修	30-05-02	
		4年次必修	30-05-04	
		選択	30-05-05	
	母性看護学/助産学分野	2年次必修	30-06-02	
		選択(助産師選択コース必修)	30-06-06	
	老年看護学分野	2年次必修	30-07-02	
	小児看護学分野	2年次必修	30-08-02	
		3年次必修	30-08-03	
	成人看護学分野	2年次必修	30-09-02	
		3年次必修	30-09-03	
	精神看護学分野	3年次必修	30-10-03	
	在宅看護学分野	2年次必修	30-11-02	
		4年次必修	30-11-04	
		選択	30-11-05	
	地域看護学分野	1年次必修	30-12-01	
		2年次必修	30-12-02	
選択		30-12-05		
選択(保健師選択コース必修)		30-12-07		
グローバルヘルス分野	2年次必修	30-13-02		
	選択	30-13-05		
看護・医療統合分野	2年次必修	30-14-02		
	4年次必修	30-14-04		
	選択	30-14-05		
自主選択科目		他学部等設置科目	40-01-01	11
		国七設置短期海外研修	40-01-02	55
		留学認定科目	40-01-03	
自由科目			50-01-01	99

※自主選択科目として取得した単位は、卒業に必要な単位(選択科目)として加算されます。

※自由科目として取得した単位は、卒業に必要な単位に加算されません。

2. 必修科目

1 年次必修科目 (地区・SFC)

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態
基礎看護学	今日の看護医療	小池智子 (他)	2	春	講義
情報技術	情報とネットワーク	宮川祥子 (他)	2	春	講義
情報技術	看護情報リテラシー	宮川祥子	2	春	演習
自然言語	英語 I A	バティ, アーロン	1	春	演習
自然言語	英語 I B	杉本なおみ	1	春	演習
ヒューマンケアリング	心の理解と共有	増田真也	1	春	演習
制度・社会	慶應義塾入門	山内慶太 (他)	2	春	講義
健康科学・病態学	人体探検	小林正弘 (他)	2	春	講義
基礎看護学	ライフステージと発達看護論	福田紀子 (他)	2	春	演習
基礎看護学	看護学原論	宮脇美保子	2	春	講義
情報技術	データサイエンス	杉山大典 (他)	2	秋	講義
自然言語	英語 II A	バティ, アーロン	1	秋	演習
自然言語	英語 II B	杉本なおみ (他)	1	秋	演習
健康科学・病態学	身体の構造と機能	加藤真三 (他)	2	秋	講義
健康科学・病態学	健康論	杉山大典 (他)	2	秋	講義
基礎看護学	生活援助技術	福井里佳 (他)	2	秋	演習
基礎看護学	基礎看護ケア実践 I (看護活動の実際) ◎	山本亜矢 (他)	1	秋	実習
地域看護学	地域看護論	金子仁子 (他)	2	秋	講義

◎成績評語が P・F の科目

2 年次必修科目 (地区・SFC)

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態
制度・社会	保健医療福祉行政と政策	永田智子 (他)	2	春	講義
健康科学・病態学	環境論	杉山大典 (他)	2	春	講義
基礎看護学	看護と倫理	宮脇美保子	1	春	講義
基礎看護学	医療支援技術	山本亜矢 (他)	2	春	演習
基礎看護学	ヘルスアセスメント	山本亜矢 (他)	1	春	演習
基礎看護学	看護過程	福井里佳 (他)	1	春	演習
母性看護学 / 助産学	母性発達援助論	藤井ひろみ (他)	2	春	演習
老年看護学	老年発達援助論	深堀浩樹 (他)	1	春	演習
小児看護学	小児発達援助論	富崎悦子 (他)	1	春	講義
成人看護学	成人発達援助論	新幡智子 (他)	1	春	演習
健康科学・病態学	病態学入門	大谷俊郎	1	秋	講義
健康科学・病態学	慢性期病態学総論	加藤真三	1	秋	講義
健康科学・病態学	精神病態学総論	山内慶太 (他)	1	秋	講義
基礎看護学	基礎看護ケア実践 II (生活援助)	福井里佳 (他)	2	秋	実習
母性看護学 / 助産学	母性発達援助実践	藤井ひろみ (他)	2	秋	実習
老年看護学	老年発達援助実践	深堀浩樹 (他)	2	秋	実習
在宅看護学	在宅看護論	永田智子 (他)	2	秋	講義
在宅看護学	在宅看護技術演習	永田智子 (他)	1	秋	演習
地域看護学	地域看護活動論	石川志麻 (他)	2	秋	講義
地域看護学	学校・産業保健	石川志麻 (他)	2	秋	講義
グローバルヘルス	災害と看護	宮川祥子 (他)	1	秋	講義
看護・医療統合	看護研究 I	永田智子 (他)	1	秋	講義

3年次必修科目（地区・信濃町）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態
健康科学・病態学	急性期病態学総論	大谷俊郎（他）	1	春	講義
健康科学・病態学	急性期病態学各論	大谷俊郎（他）	2	春	演習
健康科学・病態学	慢性期病態学各論	加藤眞三（他）	3	春	演習
健康科学・病態学	精神病態学各論	山内慶太（他）	1	春	演習
健康科学・病態学	終末期病態学	加藤眞三（他）	1	春	演習
小児看護学	小児看護学	戈木クレイグヒル滋子（他）	1	春	講義
小児看護学	小児看護学演習	添田英津子（他）	1	春	演習
成人看護学	成人看護技術演習	小松浩子（他）	1	春	演習
成人看護学	急性期看護学	武田祐子（他）	2	春	講義
成人看護学	急性期看護学演習	朴順禮（他）	1	春	演習
成人看護学	慢性期看護学	小松浩子（他）	2	春	講義
成人看護学	慢性期看護学演習	矢ヶ崎香（他）	1	春	演習
成人看護学	終末期看護学	小松浩子（他）	1	春	講義
成人看護学	終末期看護学演習	大坂和可子（他）	1	春	演習
精神看護学	精神看護学	野末聖香（他）	2	春	講義
健康科学・病態学	看護のための薬理学	杉山大典（他）	2	秋	講義
小児看護学	小児看護ケア実践	戈木クレイグヒル滋子（他）	2	秋	実習
成人看護学	急性期ケア実践	武田祐子（他）	3	秋	実習
成人看護学	慢性期ケア実践	矢ヶ崎香（他）	3	秋	実習
成人看護学	終末期ケア実践	大坂和可子（他）	2	秋	実習
精神看護学	精神看護学演習	福田紀子（他）	1	秋	演習
精神看護学	精神ケア実践	福田紀子（他）	2	秋	実習

4年次必修科目（地区・SFC／信濃町）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	形態	地区
看護・医療統合	医療システムアプローチ実践 ◎	武田祐子（他）	1	春	実習	信濃町
在宅看護学	在宅看護実践	永田智子（他）	2	春	実習	SFC
看護・医療統合	ナーシングマネジメント論	小池智子（他）	2	春	講義	SFC
看護・医療統合	ナーシングマネジメント実践	小池智子（他）	1	春	実習	信濃町
基礎看護学	生命倫理	宮脇美保子（他）	1	秋	演習	信濃町
看護・医療統合	移行期看護論	永田智子（他）	1	秋	講義	信濃町

◎成績評語がP・Fの科目

3. 選択科目

選択科目（地区・SFC）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	設置学年	形態
情報技術	マルチメディア表現	宮川祥子	2	秋	1・2・4	講義
情報技術	保健統計学	杉山大典	1	春	4	講義
情報技術	ヘルスケア情報学	宮川祥子（他）	2	秋	2・4	講義
自然言語	看護医療の英語Ⅰ	バティ, アーロン	2	秋	1・2・4	講義
自然言語	看護医療の英語Ⅱ◎	バティ, アーロン	2	秋	1・2・3	講義
ヒューマンケアリング	ストレスマネジメント	増田真也	2	秋	1・4	講義
ヒューマンケアリング	心理学	増田真也	2	春	1・2	講義
ヒューマンケアリング	人間生命を考える	増田真也（他）	2	秋	1・2	講義
ヒューマンケアリング	コミュニケーションの理論と実際	杉本なおみ	2	春	1	講義
ヒューマンケアリング	ボランティア体験	櫻田周三(非常勤講師)(他)	1	秋	1・2・3・4	演習
制度・社会	社会福祉原論 ☆	金子仁子（他）	1	秋	1・2・4	講義
制度・社会	世界の医療・保健制度Ⅰ（比較制度論）	山内慶太（他）	2	秋	1・2・4	講義
制度・社会	世界の医療・保健制度Ⅱ（海外研修）	小池智子（他）	2	秋	1・2・3・4	演習
制度・社会	医療と経済	山内慶太	2	秋	1・2・4	講義
健康科学・病態学	看護のための生物学	杉山大典（他）	2	春	1・2	講義
先端医療	遺伝と医療	武田祐子（他）	1	春	4	講義
基礎看護学	看護理論と実践	宮脇美保子	2	秋	1・2・4	講義
母性看護学 / 助産学	性と生殖における健康と権利 ★	藤井ひろみ（他）	2	秋	1・2・4	講義
母性看護学 / 助産学	助産理論 ★	辻恵子（他）	2	通年	4	演習
母性看護学 / 助産学	助産診断・技術学Ⅰ（ローリスク妊産婦の診断とケア）★	藤井ひろみ（他）	1	春	4	講義
母性看護学 / 助産学	助産診断・技術学Ⅱ（ハイリスク妊産婦の診断と治療）★	藤井ひろみ（他）	1	通年	4	講義
母性看護学 / 助産学	助産ケア学Ⅰ（ローリスクマタニティケア）★	藤井ひろみ（他）	1	春	4	演習
母性看護学 / 助産学	助産ケア学Ⅱ（ハイリスクマタニティケア）★	藤井ひろみ（他）	1	春	4	演習
母性看護学 / 助産学	助産管理 ★	原田通子（他）	2	通年	4	講義
母性看護学 / 助産学	助産実践 ★	藤井ひろみ（他）	11	通年	4	実習
在宅看護学	家族看護学	永田智子	1	春	4	講義
地域看護学	公衆衛生看護活動論 ☆	金子仁子（他）	2	秋	2	演習
地域看護学	公衆衛生看護管理展開論 ☆	金子仁子（他）	2	春	4	演習
地域看護学	公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）☆	金子仁子（他）	4	通年	4	実習
地域看護学	公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）☆	金子仁子（他）	1	春	4	実習
地域看護学	ヘルスプロモーション実践	石川志麻（他）	1	秋	1・2	実習
地域看護学	健康教育技法 ☆	金子仁子（他）	1	春	1・2	演習
グローバルヘルス	プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅰ（開発援助論）	小池智子（他）	2	秋	1・2・4	講義
グローバルヘルス	プライマリーヘルスケアと国際保健Ⅱ（海外研修）◎	小池智子（他）	2	秋	1・2・3	演習
看護・医療統合	先端看護学	藤井千枝子（他）	2	秋	2・4	講義
看護・医療統合	プロジェクトⅠ（基礎）	教授・准教授・専任講師	1	春	4	演習
看護・医療統合	プロジェクトⅡ（応用）	教授・准教授・専任講師	2	秋	4	演習

☆保健師選択コース必修 ★助産師選択コース必修 ◎成績評価がP・Fの科目

・「社会福祉原論」、「公衆衛生看護活動論」、「健康教育技法」、「性と生殖における健康と権利」は、コース選択者でなくても履修することができます。

選択科目（地区・信濃町）

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	設置学年	形態
制度・社会	法学基礎Ⅰ（法律理解への基礎知識）	三田奈穂	2	春	3	講義
制度・社会	法学基礎Ⅱ（法律理解への実践知識）	霞信彦	2	秋	3	講義
健康科学・病態学	看護のための栄養学	杉山大典	2	春	3	講義
健康科学・病態学	看護のための生化学・生理学	杉山大典	2	秋	3・4	講義
先端医療	救急医学・救急看護	小林正弘（他）	1	秋	3・4	講義
先端医療	クリニカルエンジニアリングと医療安全管理	小林正弘（他）	2	秋	3・4	講義
先端医療	先端医療技術	小林正弘（他）	2	秋	3・4	講義
基礎看護学	看護と哲学	宮脇美保子（他）	2	秋	4	講義
グローバルヘルス	臨床看護実践（海外研修）	新幡智子（他）	2	秋	4	実習
看護・医療統合	看護研究Ⅱ	戈木クレイグヒル滋子（他）	1	秋	3	講義

選択科目（総合政策・環境情報学部併設科目）（地区・SFC） ※ A 欄・専門教育科目として履修申告してください。

分野名	科目名	担当教員名	単位数	開講学期	設置学年	形態
情報技術	プログラミング入門Ⅰ	服部隆志（環境情報学部）（他）	2	春・秋	1・2・4※	演習
情報技術	プログラミング入門Ⅱ	服部隆志（環境情報学部）（他）	2	春・秋	1・2・4※	演習
ヒューマンケアリング	体育2	加藤貴昭（環境情報学部）（他）	1	春・秋	1・2・4	演習
ヒューマンケアリング	体育3	加藤貴昭（環境情報学部）（他）	1	春・秋	1・2・4	演習

※「プログラミング入門Ⅰ」「プログラミング入門Ⅱ」の総合政策・環境情報学部科目名は「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」です。

慶應義塾塾歌

(昭和15年作)

富田正文 作詞
信時 潔 作曲

力強く (♩=104)

みよ かげ になる わ が は た を に ひ
 じほ よす るあか つき の あらしのな
 かには た めき て ぶんかのま もりた
 か らか に つ らぬき た て し
 ほこりあり たてんかな このはた
 を つよ くををしく たてんかな あ
 あわがぎじゅく けいお けいお けいお

1.

見よ

風に鳴るわが旗を
 新潮寄するあかつきの
 嵐の中にはためきて
 文化の護りたからかに
 貫き樹てし誇りあり
 樹てんかな この旗を
 強く雄々しく樹てんかな
 あゝわが義塾
 慶應 慶應 慶應

2.

往け
 涯なきこの道を
 究めていよゝ遠くとも
 わが手に執れる炬火は
 叡智の光あきらかに
 ゆくて正しく照すなり
 往かんかな この道を
 遠く遙けく往かんかな
 あゝわが義塾
 慶應 慶應 慶應

3.

起て
 日はめぐる丘の上
 春秋ふかめ揺ぎなき
 學びの城を承け嗣ぎて
 執る筆かざすわが額の
 徽章の譽世に布かむ
 生きんかな この丘に
 高く新たに生きんかな
 あゝわが義塾
 慶應 慶應 慶應

若き血

(昭和2年作)

堀内敬三 作詞
作曲

力強く (♩=104)
Tempo di Marcia

わかきちにも
ゆるものこう—きみてるわれら—き
ぼ—の みよ—じよ—あをぎてここ
に—しよ—りにすすむわがちか—らつね
にあたら—し—みよせい—えいのつ
どうところれつじつのいきたからかにさえ
ぎるくもなきを—けいお—けい
お—りくのおうじゃけいお—

若き血に燃ゆる者
光輝みてる我等
希望の明星仰ぎて此処に
勝利に進む我が力
常に新し
見よ精鋭の集う処
烈日の意気高らかに
遮る雲なきを
慶應 慶應
陸の王者 慶應

丘の上

(昭和3年作)

青柳瑞穂 作詞
菅原明朗 作曲

- 丘の上には空が青いよ
ぎんなんに鳥は歌うよ歌うよ
あゝ美しい我等の庭に
知識の花を摘みとろう
- 窓を開けば海が見えるよ
朗らかに風は渡るよ渡るよ
あゝ劇囃と理想のラッパを
あなたの空に吹きならそう
- 新しい時代の鐘がひびくよ
若人の胸は躍るよ躍るよ
あゝ華やかに若き命を
声張り挙げて歌おうよ

Gaiment [♩=120]

1. おか—のうえに—はそらがあおい
よぎんなんにとりは—うたうようたう
よああうつくしいわれらのには
に—ちしきのはなを—つみとろ
う—て—うたおう—よ

慶應義塾看護婦の歌

富田正文 作詞
服部 正 作曲

$\text{♩} = 108$

Musical notation for the piano introduction, featuring a treble and bass clef with a key signature of two sharps (F# and C#) and a 4/4 time signature. The tempo is marked as quarter note = 108. The piece begins with a forte (f) dynamic.

慶應義塾看護婦の歌

富田正文 作詞

mf

Musical notation for the first line of the song, including vocal line and piano accompaniment. The dynamic is mezzo-forte (mf).

ふ き た つ み ど り ひ の ひ か り

1. ふきたつ緑 日の光
空はるかなるこの望み
明るき窓に倚りたてば
はばたく旗に響きあり
かがやきあれよ 慶應の
みとりの道にわれら在り

Musical notation for the second line of the song, including vocal line and piano accompaniment.

そ ら は る か な る こ の のぞ み あ

2. 捧ぐるまこと 人の世の
愁いを分つこの祈り
ひそかに神に通うとき
挿頭かざしのペンに光あり
かがやきあれよ 慶應の
みとりの道にわれら在り

Musical notation for the third line of the song, including vocal line and piano accompaniment.

か る き ま ど に よ り た て ば はば

3. みがけよ鏡 つつましく
豊かに匂えこのいのち
結ぶや堅き友垣の
誓いの梅に香あり
かがやきあれよ 慶應の
みとりの道にわれら在り

f

Musical notation for the fourth line of the song, including vocal line and piano accompaniment. The dynamic is forte (f).

た く は た に ひ び き あ り か が

Musical notation for the fifth line of the song, including vocal line and piano accompaniment.

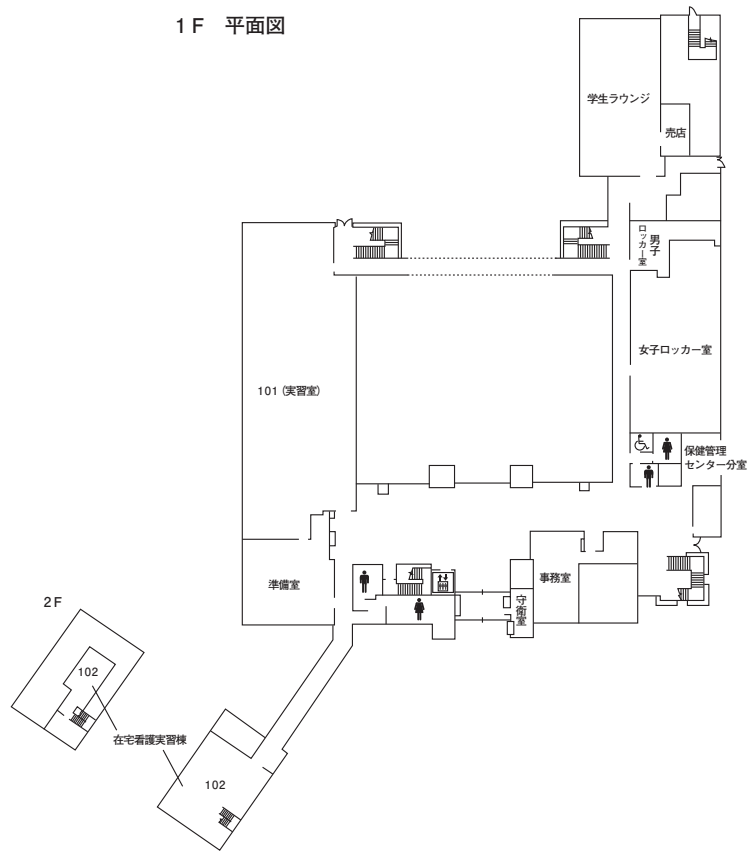
や き あ れ よ け い お う の み

Musical notation for the sixth line of the song, including vocal line and piano accompaniment.

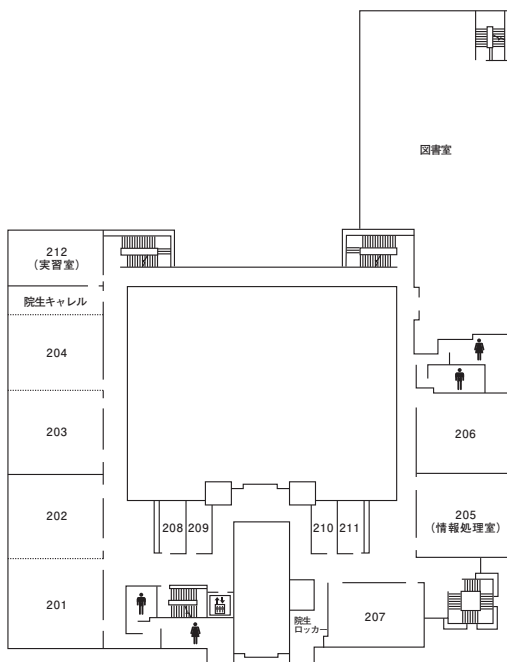
と り の み ち に わ れ ら あ り

施設案内図 (看護医療学部ゾーン)

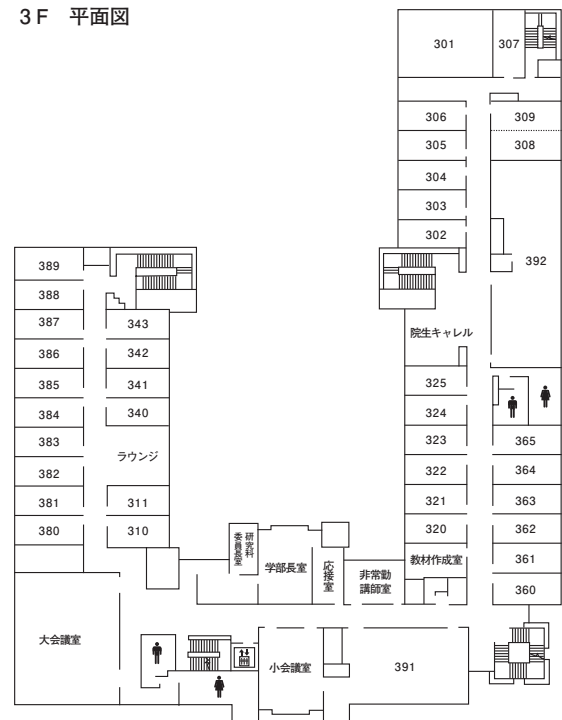
1F 平面図



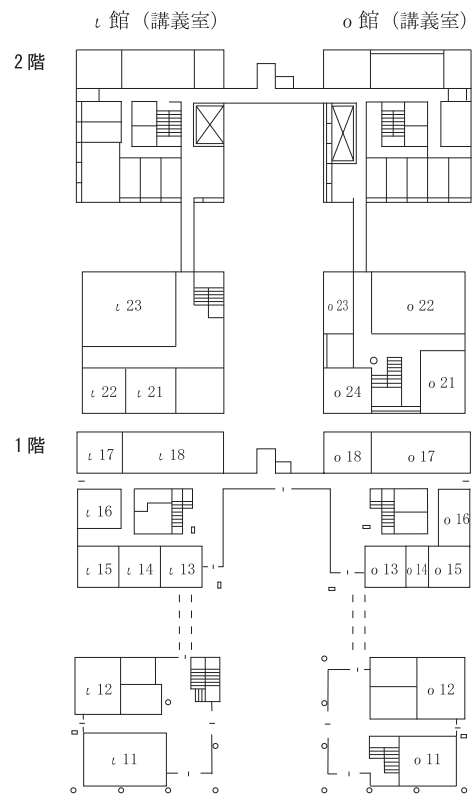
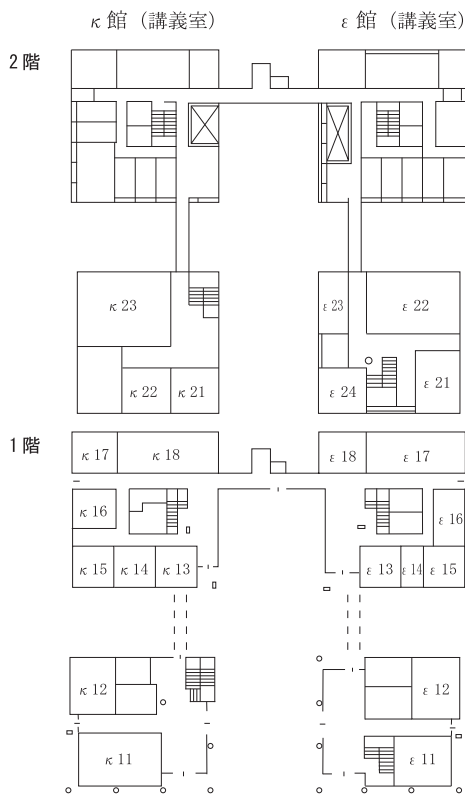
2F 平面図



3F 平面図

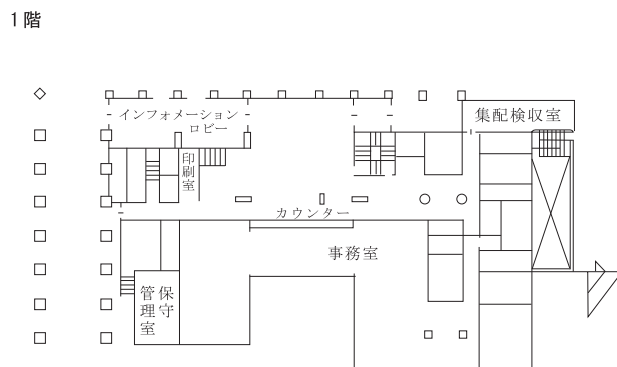
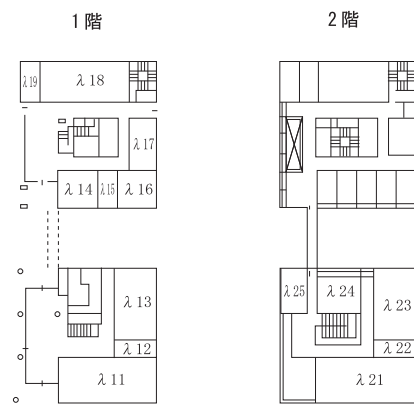
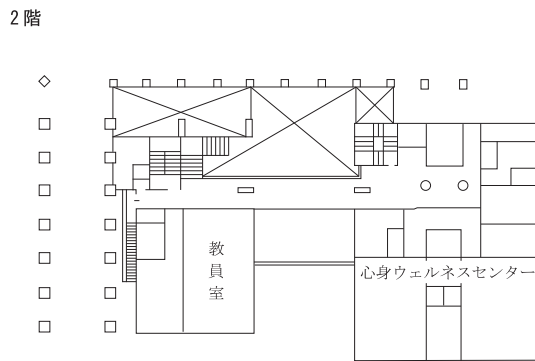


施設案内図 (総合政策学部・環境情報学部ゾーン)

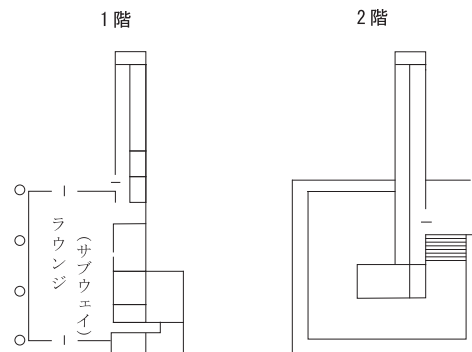


Α館 (事務室など)

λ館 (講義室)



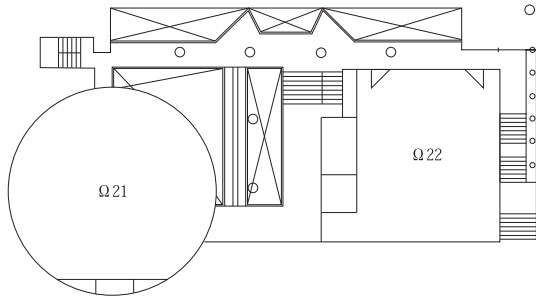
学生ラウンジ



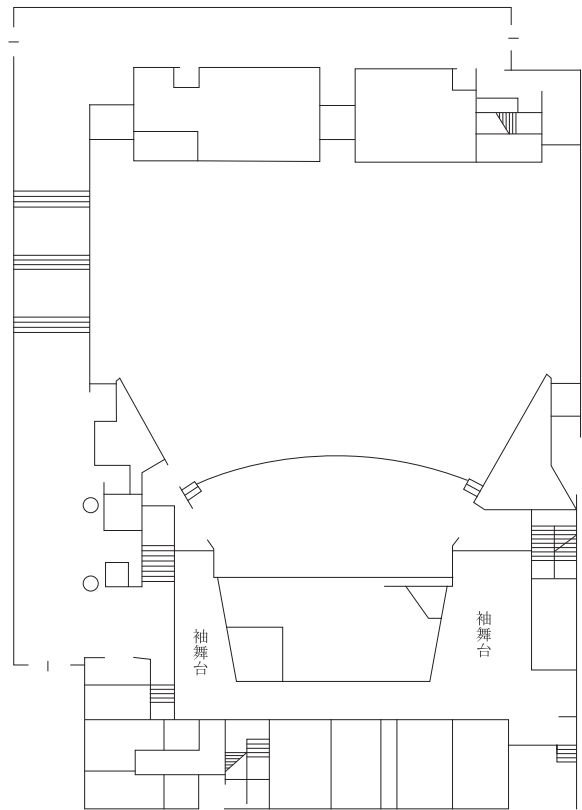
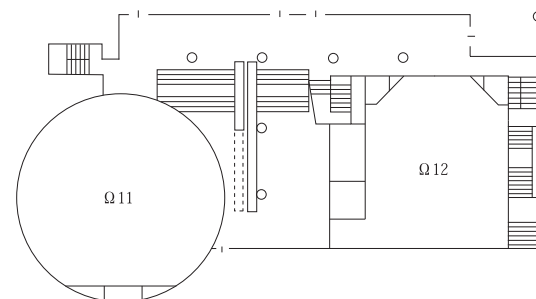
Ω館（大講義室）

θ館（大講義室）

2階



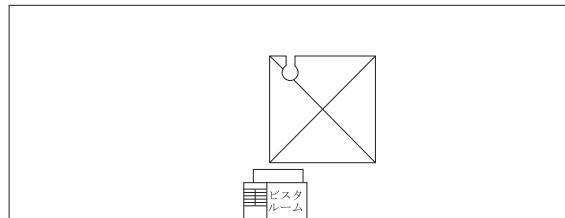
1階



M館（メディアセンター・ITC）

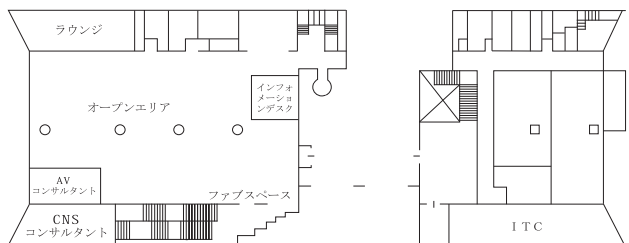
4階

ビスタルーム



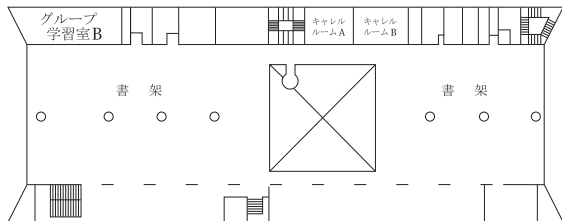
1階

オープンエリア



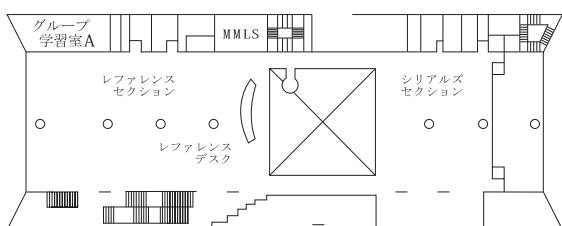
3階

ライブラリーエリア, キャレレ



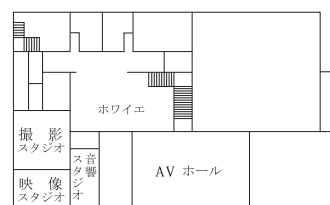
2階

ライブラリーエリア



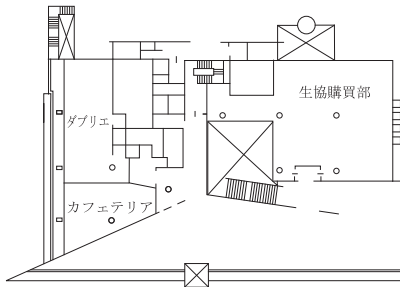
地階

スタジオエリア

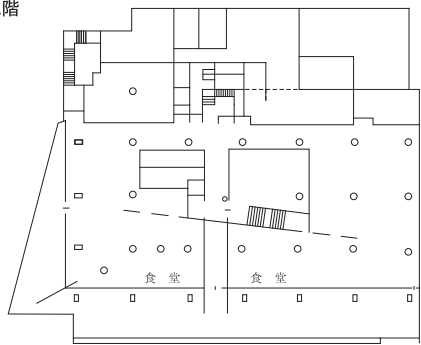


Σ館 (厚生施設)

1階

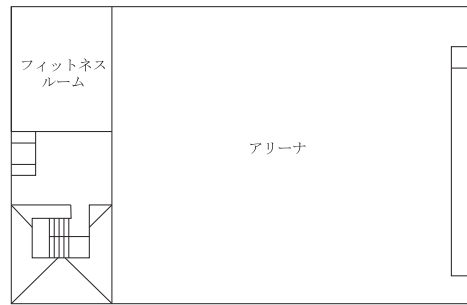


地階

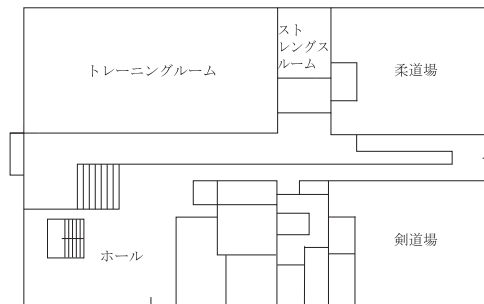


Γ館 (体育施設)

2階

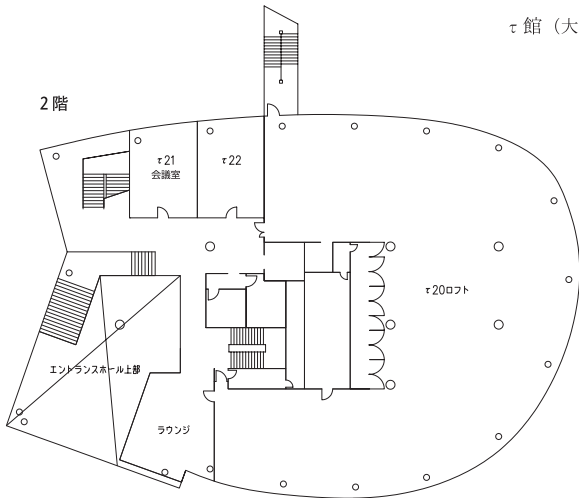


1階

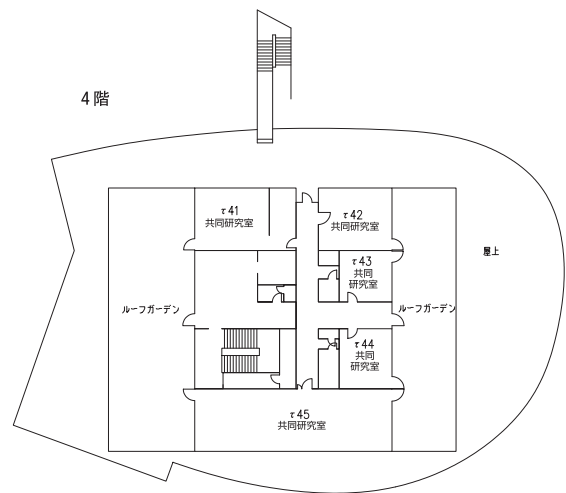


τ館 (大学院棟)

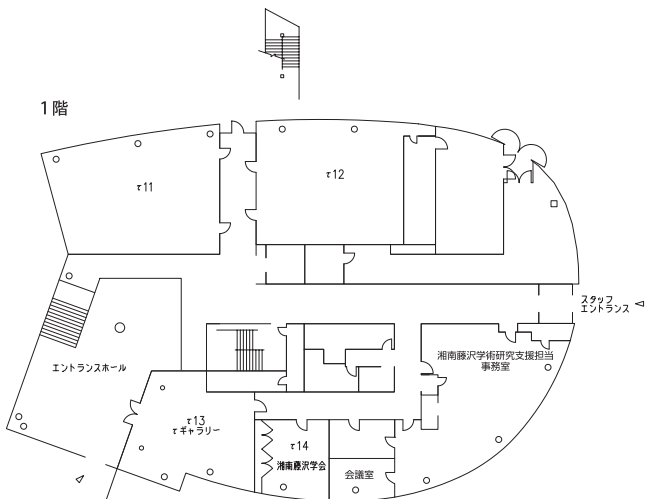
2階



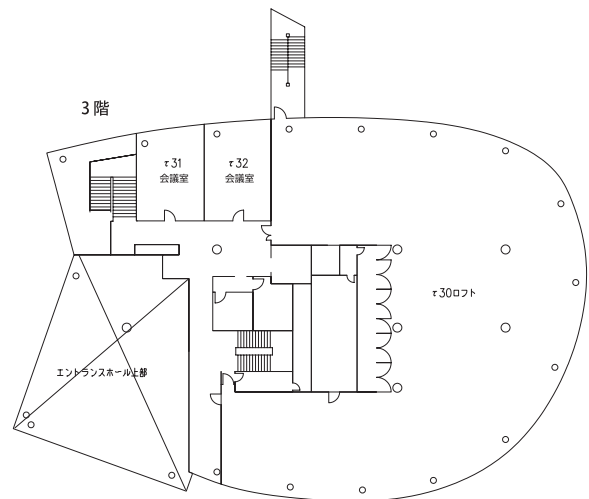
4階



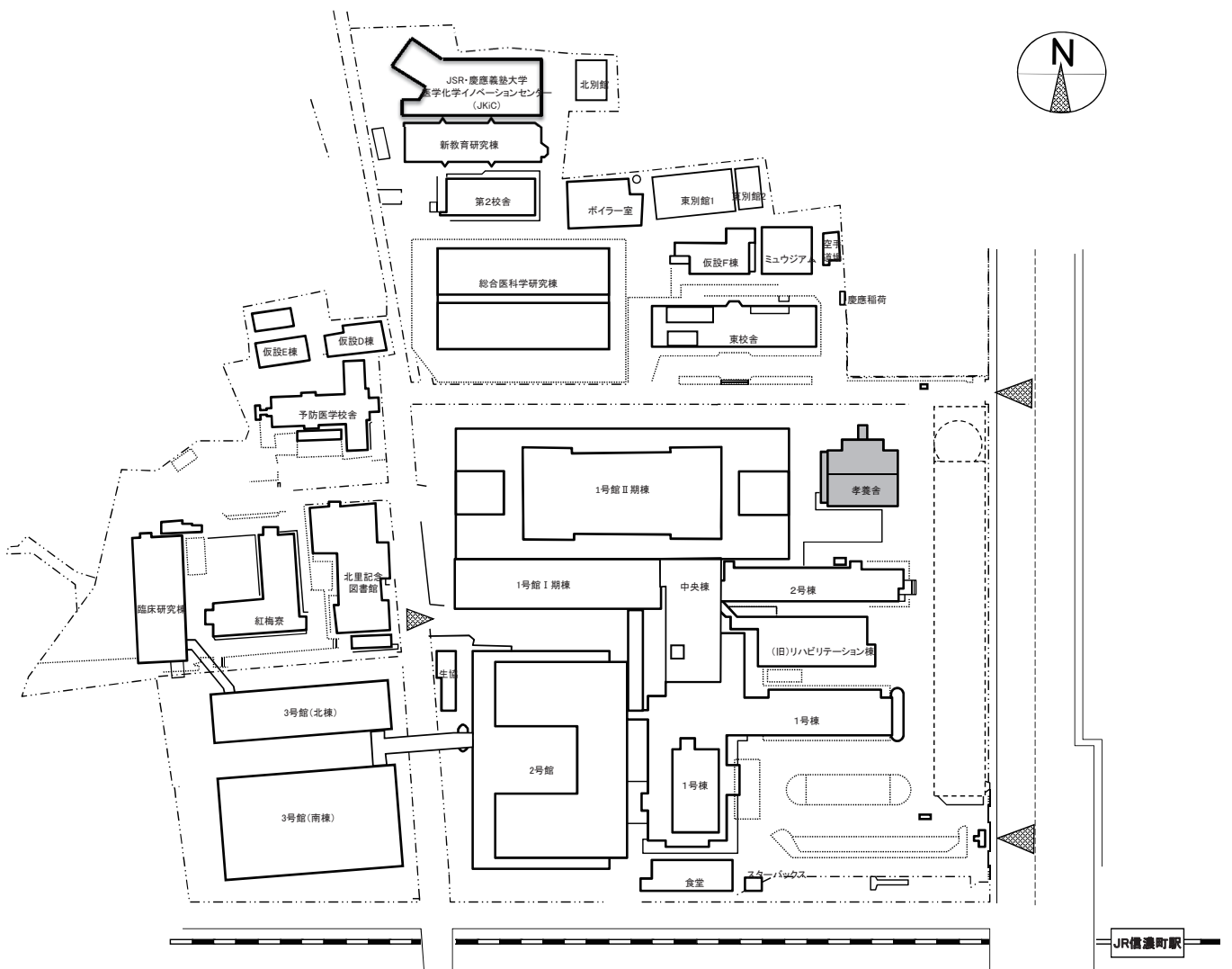
1階



3階

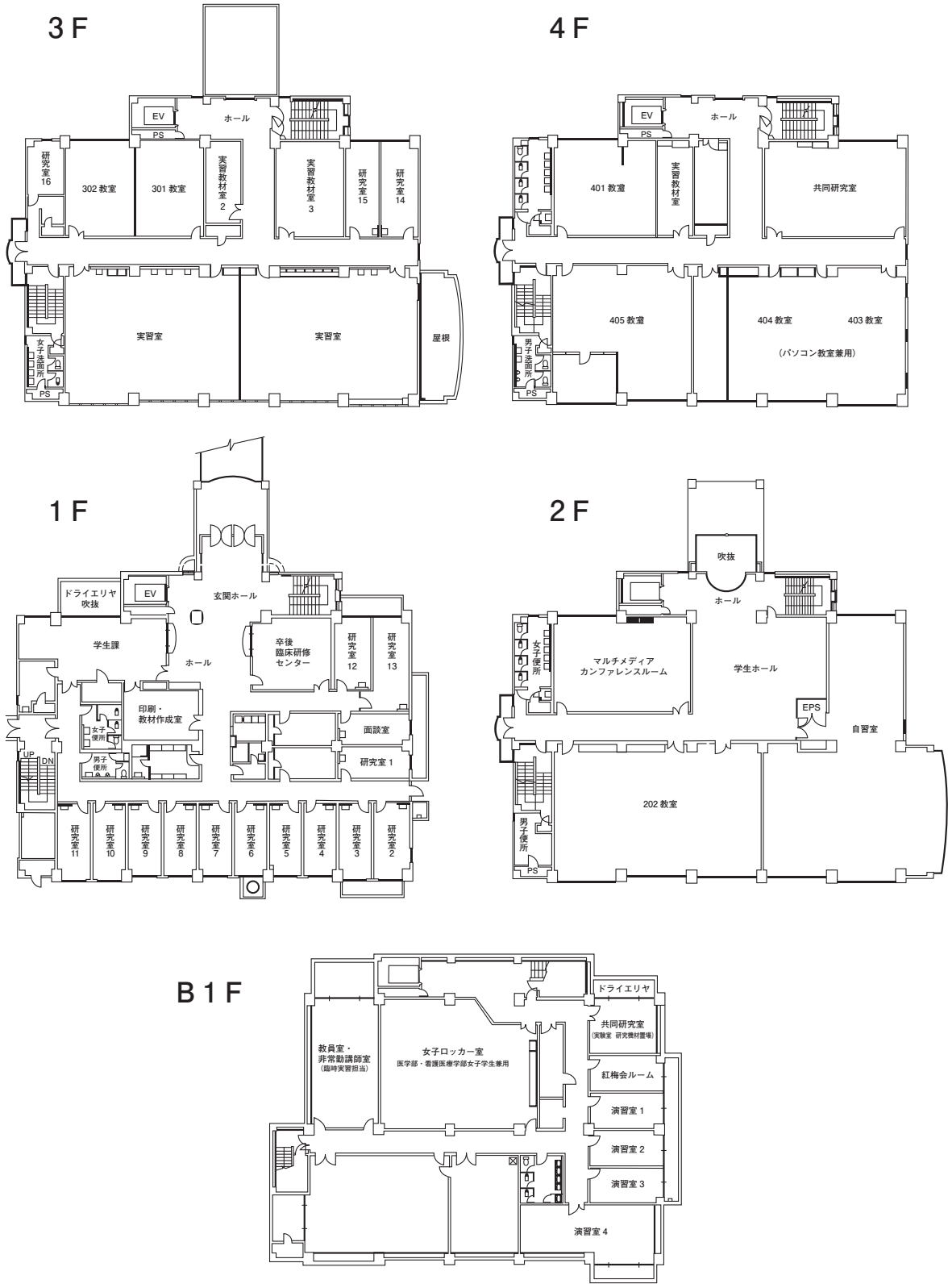


施設案内図 (信濃町キャンパス・孝養舎)

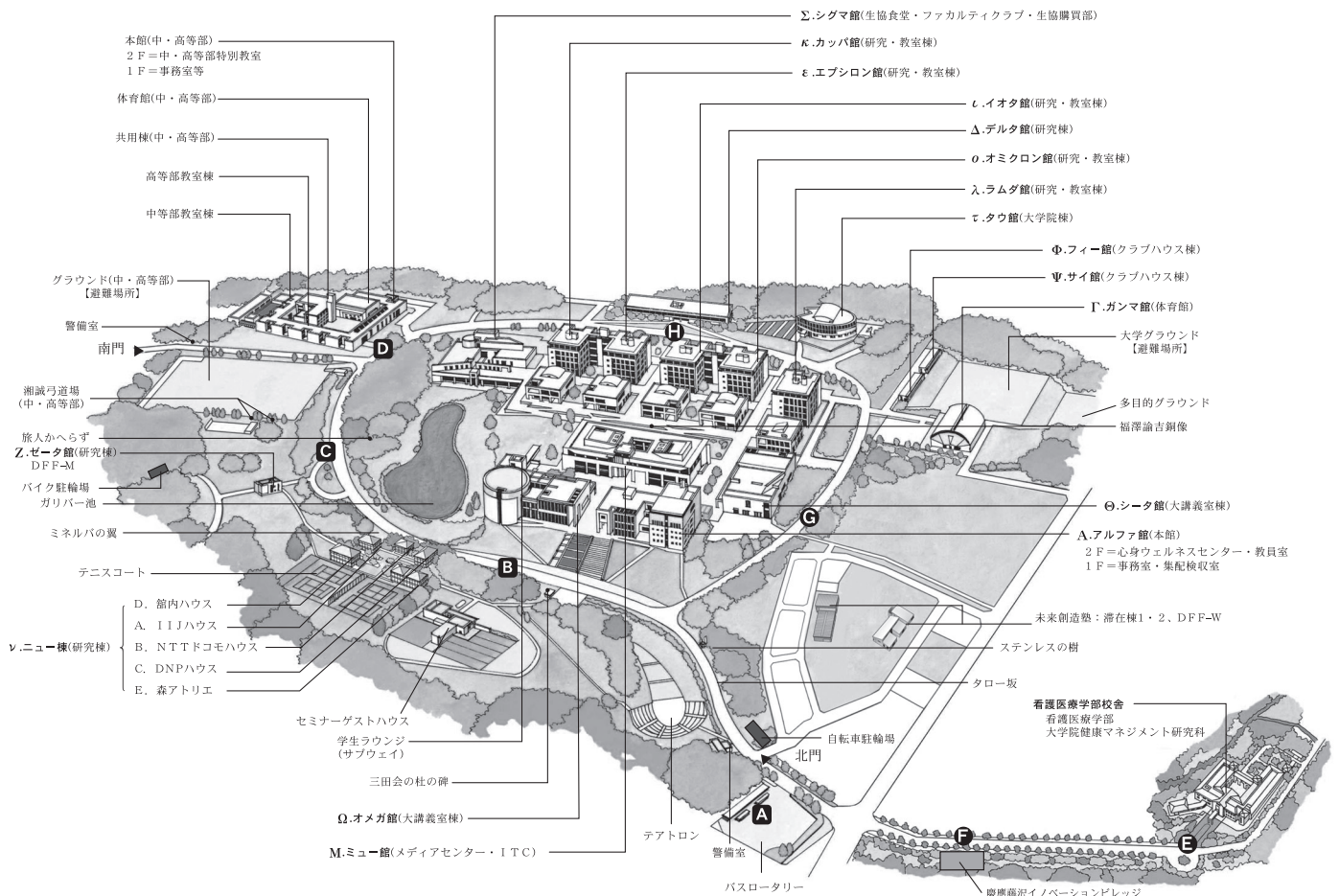


地図・案内図

孝養舎内配置図



慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスマップ



地図・案内図

キャンパス内バス停案内

神奈川中央交通バス停留所

- A** 慶応大学
- B** 慶応大学本館前
- C** 中高降車場
- D** 慶応中高等部前

鴨池急行 SoKanKan 停留所 (無料)

- E** 看護医療学部前
- F** SFC-IV
- G** A館 (本館北側)
- H** デルタ館

※湘南藤沢キャンパス内の巡回バスです。

湘南藤沢キャンパスへのアクセス

【湘南台駅より】

神奈川中央交通バス
 「湘南台駅西口」より「慶応大学」行き
 湘23、湘24、湘25 系統

【辻堂駅より】

神奈川中央交通バス
 「辻堂駅北口」より「慶応大学」行き
 辻34 系統

慶應義塾所在地および電話番号

三 田	〒 108-8345 東京都港区三田 2-15-45 • JR 山手線・JR 京浜東北線 田町駅下車 (徒歩 8 分) • 都営地下鉄浅草線・都営地下鉄三田線 三田駅下車 (徒歩 7 分) • 都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車 (徒歩 8 分)	03-5427-1517 (総務部)
日 吉	〒 223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 • 東急東横線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車 (徒歩 1 分)	045-566-1000 (運営サービス・総務)
矢 上	〒 223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1 • 東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車 (徒歩 15 分) • JR 横須賀線 新川崎駅下車、タクシーで約 10 分	045-566-1454 (総務課)
信 濃 町	〒 160-8582 東京都新宿区信濃町 35 • JR 総武線 信濃町駅下車 (徒歩 1 分) 都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅下車 (徒歩 5 分)	03-3353-1211 (代表)
湘南藤沢	〒 252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322 • 小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・ 横浜市営地下鉄ブルーライン 湘南台駅下車、西口よりバス「慶應大学行」約 15 分 • JR 東海道線 辻堂駅下車、北口バスより「慶應大学行」約 25 分	0466-49-3404 (総務担当) 0466-49-6200 (看護医療学部)
芝 共 立	〒 105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30 • JR 山手線・JR 京浜東北線 浜松町駅下車 (徒歩 10 分) • 都営地下鉄三田線 御成門駅下車 (徒歩 2 分) • 都営地下鉄浅草線・都営地下鉄大江戸線 大門駅下車 (徒歩 6 分)	03-3434-6241 (総務課)

看護医療学部ガイド 2019

発行日 2019年 4 月 1 日

発行者 慶 應 義 塾 大 学

編 集 湘南藤沢事務室
看護医療学部担当

制 作 有限会社 橋本写真館

DP1:基礎となる人間力

DP2:看護医療の専門的力

DP3:連携・協働する力

DP4:国際的に活動する力

DP5:変化を起こす力

人間・社会科学領域

保健統計学 (1)

健康科学領域

連伝と医療 (4)

看護科学領域

在宅看護実践 生命倫理
看護と哲学 (4) 家族看護学 (4)
臨床看護実践(海外研修) (4)

4 年 次

統合領域

医療システムアプローチ実践 移行期看護論
ナーシングマネジメント論
ナーシングマネジメント実践
研究デザイン法 (4) プロジェクト I (基礎) (4)
プロジェクト II (応用) (4)

人間・社会科学領域

法学基礎 I (法學理解への基礎知識) (3) △
法学基礎 II (法學理解への実践知識) (3) △

健康科学領域

急性期病態学総論 急性期病態学各論 精神病態学各論
終末期病態学 看護のための薬理学
看護のための栄養学 (3) 看護のための生化学・生理学 (3・4)
救急医学・救急看護 (3・4) 先端医療技術 (3・4)
クリニカルエビデンスと医療安全管理 (3・4)

看護科学領域

慢性期看護学・慢性期看護学演習 → 慢性期ケア実践 → 成人看護技術演習
急性期看護学・急性期看護学演習 → 急性期ケア実践
終末期看護学・終末期看護学演習 → 終末期ケア実践
小児看護学・小児看護学演習 → 小児看護ケア実践
精神看護学 → 精神ケア実践 → 精神看護学演習

3 年 次

人間・社会科学領域

保健医療福祉行政と政策
ヘルスケア情報学 (2・4)

健康科学領域

環境論 病態学入門
急性期病態学総論 精神病態学総論

看護科学領域

看護と倫理 母性発達援助論 → 母性発達援助実践
老年発達援助論 → 老年発達援助実践
在宅看護論 在宅看護技術演習 地域看護活動論 学校・産業保健
成人発達援助論 医療支援技術 看護基本技術
小児発達援助論 小児看護技術演習 地域看護活動論 学校・産業保健
公衆衛生看護活動論 (2) ☆

2 年 次

統合領域

先端看護学 (2・4)

人間・社会科学領域

看護情報リテラシー 情報とネットワーク
データサイエンス
心の理解と共有

健康科学領域

社会福祉原論 (1・2・4) ☆
世界の医療・保健制度 I (比較制度論) (1・2・4)
世界の医療・保健制度 II (海外研修) (1・2・3・4)
医療と経済 (1・2・4)

健康科学領域

人体探検
身体の構造と機能
健康論
看護のための生物学 (1・2)

看護科学領域

今日の看護医療 看護学原論 生活援助技術
基礎看護ケア実践 I ライフステージと発達看護論
看護理論と実践 (1・2・4) 地域看護論
ヘルスプロモーション実践 (1・2) 健康教育技法 (1・2) ☆
性と生殖における健康と権利(1・2・4) ★
プライマリヘルスケアと国際保健 I (開発援助論) (1・2・4)
プライマリヘルスケアと国際保健 II (海外研修) (1・2・3)

1 年 次



領域 □ 必修科目 □ 選択科目

→ 進級条件あり

→ 履修前提科目あり

☆ 保健師コース必修科目

★ 助産師コース必修科目

△ 養護教諭申請に必要な選択科目

○ 内の数字は選択可能学年

DP:ディプロマポリシー

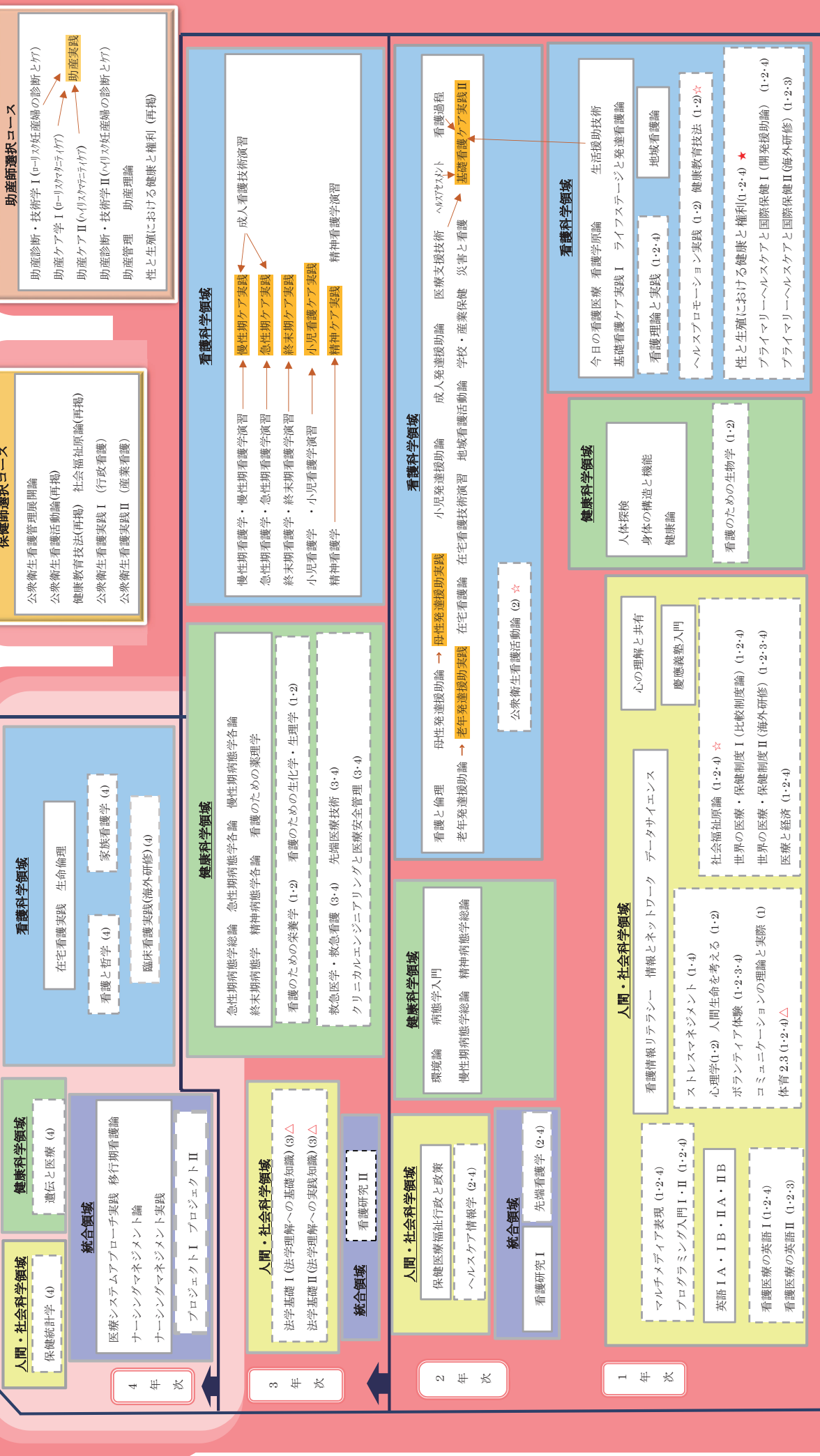
DP1: 基盤となる人間力

DP2: 看護医療の専門的力

DP3: 連携・協働する力

DP4: 国際的に活動する力

DP5: 変化を起こす力



助産師選択コース

助産診断・技術学 I (6-1) (分娩婦の診断とケア)
 助産ケア学 I (6-1) (分娩婦のケア)
 助産ケア学 II (6-1) (分娩婦のケア)
 助産診断・技術学 II (6-1) (分娩婦の診断とケア)
 助産管理 助産理論
 性と生殖における健康と権利 (再掲)

保健師選択コース

公衆衛生看護管理展開論
 公衆衛生看護活動論(再掲)
 健康教育技法(再掲) 社会福祉原論(再掲)
 公衆衛生看護実践 I (行政看護)
 公衆衛生看護実践 II (産業看護)